延岡市文化財調査報告書第24集

平成12年度　市内遺跡発掘調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

Yoshino
吉野遺跡（第６次）

Yoshino
吉野遺跡（第４次）

Nobeoka kofungun
延岡古墳群第16号墳

Tatara
多々羅第１遺跡

Shinguu
新宮遺跡

Yoshino
吉野遺跡（第７次）

2001.3
延岡市教育委員会

序　文

延岡市は宮崎県の北部に位置し、人口約12万8千人の中核都市として、県内随一、東九州地域においても有数の工業集積地であります。その一方では豊かな自然と歴史を併せ持った都市でもあります。近年は、産業の停滞・人口の減少・高齢化が市の抱える大きな課題となっています。

しかし、県北地域の大きなネックとなっていた道路問題が、国道10号延岡道路の着手や東九州自動車道の延岡・都農間に施工命令、蒲江・北川間が整備計画区間に格上げされるなど、高速道路建設に大きな拍車がかかってきました。これらに伴い市内でもインターへのアクセス道路が整備されています。

また、念願であった4年制大学「九州保健福祉大学」も開学し、着実に進展を見せております。

こうした地域振興を背景に、大規模な公共工事や民間開発が増加しています。このような状況に対応するため、市教育委員会では開発事業等の計画に際して、埋蔵文化財の確認調査等を実施しており、本書はその報告書であります。

本書が埋蔵文化財への理解を深める一助となることを願うとともに、研究資料としてご活用いただければ幸いです。最後になりますが、発掘調査にあたり県教育委員会文化課をはじめ、地権者の方々にご協力得ました。記して感謝いたします。

平成13年　3月31日

延岡市教育委員会
教育長　牧野　哲久

例　言

1. 本書は延岡市教育委員会が国・県補助を受けて、平成12年度に実施した市内遺跡発掘調査報告書である。
2. 本年度は吉野遺跡(第4次)、延岡古墳群第16号墳、多々羅遺跡(第2次)、新宮遺跡(第1次)、上無田遺跡(第3次)、赤木遺跡(第7次)の発掘調査を実施した。
3. 本書に使用した遺構・遺物の実測・トレース・図面作成は、山田 聡、尾方農一、高浦 哲、久米田有美、敷石サヨ子、藤本千鳥、、山本偉津子、山本敬子があたった。
4. 現場での写真撮影は各担当者が、遺物の写真撮影は、尾方、高浦があたった。
5. 方位は磁北を示し、本書に使用したレベルはすべて海抜高である。
6. 出土遺物は内藤記念館で保管しており、今後展示公開の予定である。

Fig.1　延岡市位置図

本 文 目 次

第1章　はじめに
1. はじめに …… 1
2. 調査の記録 …… 3
第2章　調査の記録
1. 吉野遺跡(第6次) …… 3
2. 吉野遺跡(第4次) …… 8
3. 延岡古墳群第16号墳 …… 27
4. 多々羅第1遺跡 …… 31
5. 新宮遺跡 …… 33
吉野遺跡(第7次) …… 35

挿 図 目 次

Fig. 1　延岡市位置図
Fig. 2　平成12年度市内遺跡発掘調査遺跡分布図 …… 2
Fig. 3　吉野遺跡(第6次)位置図 …… 3
Fig. 4　吉野遺跡(第6次)調査区配置図 …… 3
Fig. 5　吉野遺跡(第6次)住居跡・土坑実測図 …… 4
Fig. 6　吉野遺跡(第6次)出土遺物実測図1 …… 5
Fig. 7　吉野遺跡(第6次)出土遺物実測図2 …… 6
Fig. 8　吉野遺跡(第6次)出土遺物実測図3 …… 7
Fig. 9　吉野遺跡(第4次)位置図 …… 8
Fig. 10　吉野遺跡(第4次)調査区配置図 …… 9
Fig. 11　吉野遺跡(第4次)1・2・3トレンチ土層断面図 …… 10
Fig. 12　吉野遺跡(第4次)3トレンチ検出遺構分布図 …… 11
Fig. 13　吉野遺跡(第4次)集石遺構実測図 …… 12
Fig. 14　吉野遺跡(第4次)出土遺物実測図1 …… 14
Fig. 15　吉野遺跡(第4次)出土遺物実測図2 …… 15
Fig. 16　吉野遺跡(第4次)接合資料分布図 …… 16
Fig. 17　吉野遺跡(第4次)接合資料模式図 …… 17
Fig. 18　吉野遺跡(第4次)出土遺物実測図3 …… 17
Fig. 19　吉野遺跡(第4次)出土遺物実測図4 …… 19
Fig. 20　吉野遺跡(第4次)出土遺物実測図5 …… 20
Fig. 21　吉野遺跡(第4次)出土遺物実測図6 …… 21
Fig. 22　吉野遺跡(第4次)出土遺物実測図7 …… 22
Fig. 23　延岡古墳群第16号墳位置図 …… 27
Fig. 24　延岡古墳群第16号墳調査区配置図 …… 27
Fig. 25　延岡古墳群第16号墳出土遺物実測図 …… 29
Fig. 26　多々羅第1遺跡位置図 …… 31
Fig. 27　多々羅第1遺跡調査区配置図 …… 31
Fig. 28　多々羅第1遺跡2トレンチ土層断面図 …… 32
Fig. 29　新宮遺跡位置図 …… 33
Fig. 30　新宮遺跡調査区配置図 …… 33
Fig. 31　吉野遺跡(第7次)位置図 …… 37
Fig. 32　吉野遺跡(第7次)周辺遺跡分布図 …… 38
Fig. 33　吉野遺跡(第7次)調査区配置図 …… 39
Fig. 34　吉野遺跡(第7次)グリット図及び土層図 …… 40
Fig. 35　吉野遺跡(第7次)集石遺構実測図 …… 41
Fig. 36　吉野遺跡(第7次)出土遺物及び接合資料分布図(旧石器) …… 42
Fig. 37　吉野遺跡(第7次)出土遺物実測図1 …… 44
Fig. 38　吉野遺跡(第7次)出土遺物実測図2 …… 45
Fig. 39　吉野遺跡(第7次)出土遺物実測図3 …… 46
Fig. 40　吉野遺跡(第7次)接合資料実測図1 …… 48
Fig. 41　吉野遺跡(第7次)接合資料実測図2 …… 49
Fig. 42　吉野遺跡(第7次)接合資料実測図3 …… 50
Fig. 43　吉野遺跡(第7次)接合資料実測図4 …… 51
Fig. 44　吉野遺跡(第7次)接合資料実測図5 …… 52
Fig. 45　吉野遺跡(第7次)接合資料実測図6 …… 53
Fig. 46　吉野遺跡(第7次)出土遺物実測図4 …… 62
Fig. 47　吉野遺跡(第7次)出土遺物実測図5 …… 63
Fig. 48　吉野遺跡(第7次)出土遺物分布図(縄文) …… 64

表 目 次

第1表　平成12年度市内遺跡発掘調査遺跡一覧表 …… 1
第2表　吉野遺跡(第4次)出土遺物観察表1 …… 15
第3表　吉野遺跡(第4次)出土遺物観察表2 …… 22
第4表　吉野遺跡(第7次)出土遺物観察表1～8(旧石器) …… 54～61
第5表　吉野遺跡(第7次)出土遺物観察表1～3(縄文) …… 65～67
第6表　報告書抄録 …… 71

写真図版目次

PL. 1　吉野遺跡(第6次)住居跡・土坑検出状況 …… 4
PL. 2　吉野遺跡(第6次)出土遺物 …… 7
PL. 3　吉野遺跡(第4次)調査地近景 …… 8
PL. 4　吉野遺跡(第4次)1トレンチ調査風景 …… 8
PL. 5　吉野遺跡(第4次)1トレンチ完掘状況 …… 11
PL. 6　吉野遺跡(第4次)2トレンチ土層断面 …… 11
PL. 7　吉野遺跡(第4次)3トレンチ遺物出土状況 …… 11
PL. 8　吉野遺跡(第4次)集石遺構3炭化材検出状況 …… 11
PL. 9　吉野遺跡(第4次)集石遺構1検出状況 …… 13
PL. 10　吉野遺跡(第4次)集石遺構4検出状況 …… 13
PL. 11　吉野遺跡(第4次)集石遺構2・3検出状況 …… 13
PL. 12　吉野遺跡(第4次)集石遺構3配石検出状況 …… 13
PL. 13　吉野遺跡(第4次)出土遺物及び接合資料 …… 23
PL. 14　吉野遺跡(第4次)出土遺物 …… 24
PL. 15　延岡古墳群第16号墳調査風景 …… 28
PL. 16　延岡古墳群第16号墳出土遺物 …… 30
PL. 17　多々羅第1遺跡調査地近景 …… 31
PL. 18　多々羅第1遺跡2トレンチ土層断面 …… 32
PL. 19　新宮遺跡調査風景 …… 33
PL. 20　吉野遺跡(第7次)調査地近景 …… 36
PL. 21　吉野遺跡(第7次)土層堆積状況 …… 39
PL. 22　吉野遺跡(第7次)集石遺構検出状況 …… 41
PL. 23　吉野遺跡(第7次)調査風景 …… 69
PL. 24　吉野遺跡(第7次)A1グリット遺物出土状況 …… 69
PL. 25　吉野遺跡(第7次)B2グリット遺物出土状況 …… 69
PL. 26　吉野遺跡(第7次)遺物出土状況 …… 69
PL. 27　吉野遺跡(第7次)出土遺物 …… 69
PL. 28　吉野遺跡(第7次)接合資料 …… 70

第Ⅰ章 はじめに

1. はじめに

延岡市は、日向灘に面した宮崎県の北部に位置し、東経131度32分45秒～131度50分20秒、北緯32度43分32秒～32度29分11秒の間にあり、面積は283.81kmである。人口は12万8千人を数え、宮崎県北部の中核都市であり、また県下最大の工業集積地である。

これまで工業都市として認識されてきた本市であるが、「内藤家伝来の能面展」や「のべおか天下一薪能」、「城山かぐら祭」等を開催し、全国に文化都市「のべおか」を情報発信している。

現在の延岡市は、念願だった4年制大学「九州保健福祉大学」の開学、「国道延岡道路」の着手、東九州自動車道の延岡・都農間施工命令、蒲江・北川間の整備計画格区間格上げなど、これまでの大きな課題であった道路問題に対しても大きく前進している。このような背景のなか、公共・民間を問わず開発事業が増加し、それに伴い埋蔵文化財の調査も増加している。

今年度の調査は民間事業に伴うもが主であり、これら開発事業と埋蔵文化財保護との調整資料を得るために、下記の6箇所で確認・試掘調査を実施した。なお、昨年度末に調査した吉野遺跡(第6次)を巻頭に報告する。また、引き続き吉野遺跡(第7次)の本調査を行ったため巻末に報告する。

年度末調査の上無田遺跡(第3次)、赤木遺跡(第7次)は割愛させていただき次年度報告とする。

遺跡名	所在地(延岡市)	調査原因	調査面積	調査期間
吉野遺跡（第6次）	吉野町字吉野	宅地造成	386.0㎡	平成12年2月8日～3月7日
吉野遺跡（第4次）	吉野町字吉野	宅地造成	124.5㎡	平成12年1月13日～2月25日 平成12年4月6日～28日
延岡古墳群第16号墳	大門町字五領	社改築工事	147.3㎡	平成12年4月6日～12日 平成12年6月7日～12日
多々羅第1遺跡	舞野町字多々羅	携帯無線基地局	45.0㎡	平成12年5月23日～24日
新宮遺跡	高千穂通字新宮	公園整備	9.6㎡	平成12年10月16日～17日
上無田遺跡（第3次）	西階町字上無田	宅地造成	84.0㎡	平成13年2月13日～22日 平成13年3月15日～30日
赤木遺跡（第7次）	舞野町字赤木	宅地造成	150.0㎡	平成13年2月16日～3月28日

第1表 平成12年度 市内遺跡発掘調査遺跡一覧表

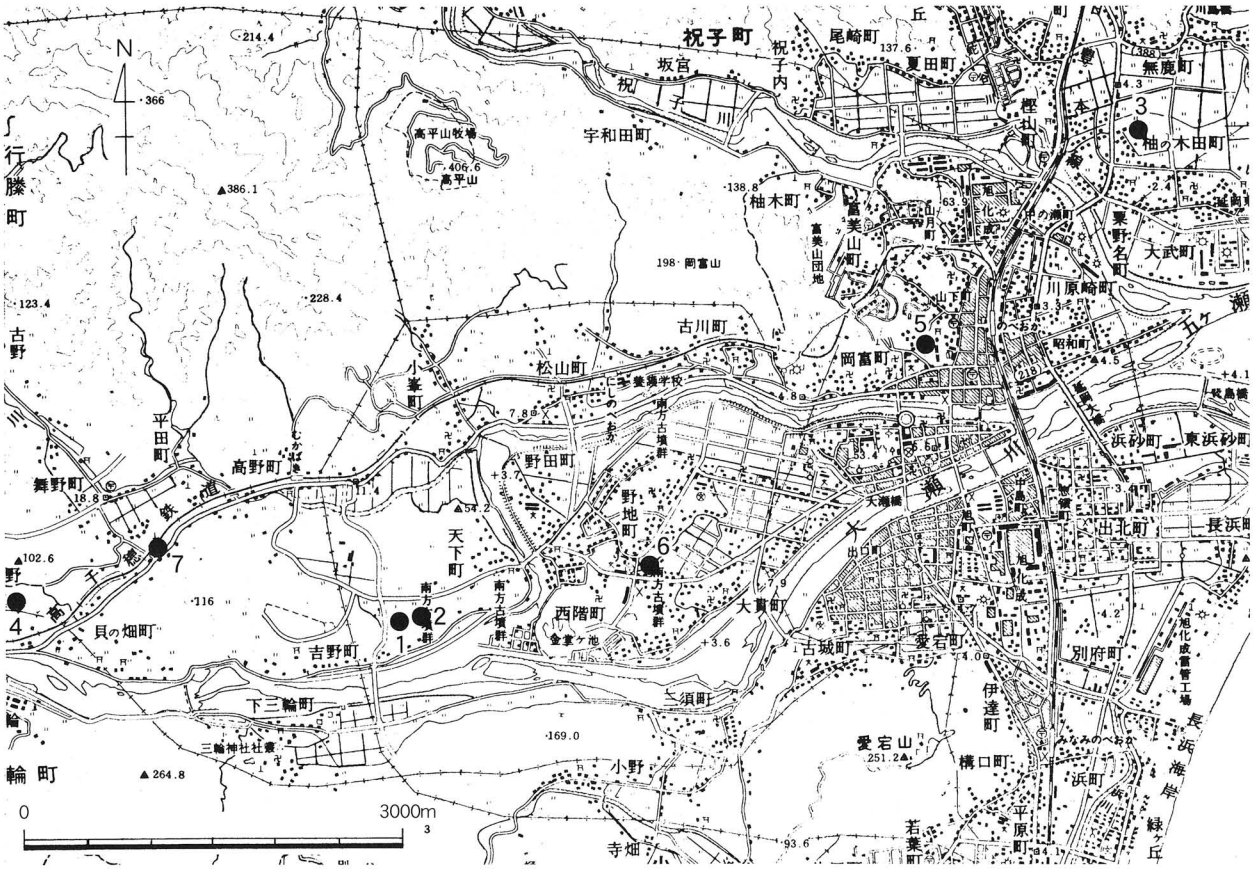
2. 調査の組織

調査主体　　延岡市教育委員会

教育長	牧野哲久
文化課長	酒井修平
課長補佐兼文化振興係長	黒木育朗
文化財係長	高久昌一

庶務担当	文化課主査	稲 田 芳 子
調査担当	文化課主任主事	山 田　聡
	文化課主事	尾 方 農 一
	文化課主事	高 浦　哲
発掘作業員	安藤登美子、稲垣広宣、小野愛子、甲斐カツキ、甲斐　栄、甲斐正子 甲斐如高、川名千代子、黒水克哉、工藤今朝子、工藤須実子、久保利男 酒井　巌、酒井清子、酒井正志、中岩房子、中島千賀、中川イツ子 林田裕子、松崎辰磨	
資料整理	久米田有美、敷石サヨ子、藤本千鳥、山本偉津子、山本敬子	

発掘調査の事前協議等において、市街路公園課、市開発公社に御協力をいただいた。また、土地所有者の宮崎県北部農業共済組合、高橋賢勇氏、九州セルラー電話株式会社、御陵神社、大崎 清氏、㈲三晃建設、森 勝氏の方々には、調査の課程において便宜をはかっていただいた。記して感謝します。



1．吉野遺跡（第６・７次）　2．吉野遺跡（第４次）　3．延岡古墳群第16号墳　4．多々羅第１遺跡
5．新宮遺跡　6．上無田遺跡（第３次）　7．赤木遺跡（第７次）

Ｆｉｇ．２　平成12年度市内遺跡発掘調査遺跡分布図（１/60,000）

第Ⅰ章　調査の記録

1. 吉野遺跡(第6次)

所 在 地	延岡市吉野町1526番地	調査面積	386 ㎡
調査原因	宅地造成	担 当 者	尾方・高浦
調査期間	000208～000307	処　　置	本調査

(1) 位置と環境

当遺跡は、五ヶ瀬川と大瀬川との分流点付近から上流へ約300m上流の左岸丘陵上に位置する。

西側には広域農道が南北に走り。さらに奥には平成10年に開校した九州保健福祉大学が望める。この付近は円墳7基からなる国史跡南方古墳群や文明14年(1482年)に延岡地域を支配していた土持氏一族が建たとされる卒塔婆がみられる

調査地から南に延びる丘陵は以前は連続していたとみられるが広域農道で分断されている。この丘陵は広域農道建設の発掘調査により旧石器時代の石器や、縄文時代の集石遺構、弥生時代の土壙墓、中世の建物跡や道路跡が確認されている。

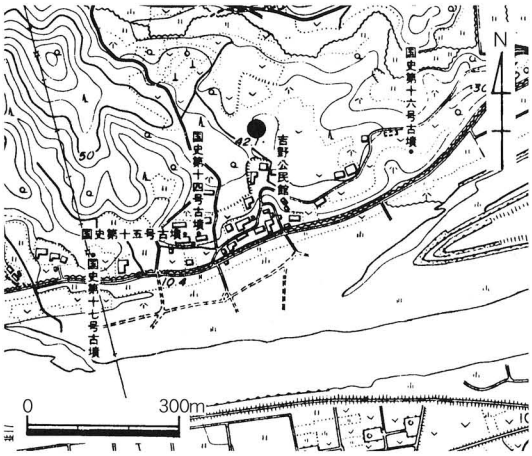


Fig.3　吉野遺跡（第６次）位置図（1/15,000）

(2) 調査の概要

調査地は付近の道路整備により掘削を受けており非常に細い丘陵となっていた。以前は耕作が営まれていたとのことであるが、現在は樹木が生い繁っている。調査は重機によるトレンチ法を採用し実施した。調査前の踏査では、旧石器時代から古墳時代の遺物が表採できた

トレンチは丘陵尾根筋に5ヶ所、斜面に2ヶ所設定した。丘陵頂に設定したトレンチ1からは、石器約100点が出土した。丘陵中央のトレンチ3からは住居跡2軒、土坑1が検出された。トレンチを拡張し調査したがその他の発見には至らなかった。トレンチ2・4・7からは良好な土層堆積が確認されたものの、遺構の検出はなく、また遺物量も少量であった。斜面に設定したトレンチ5・6からは、遺構・遺物は確認されなかった。

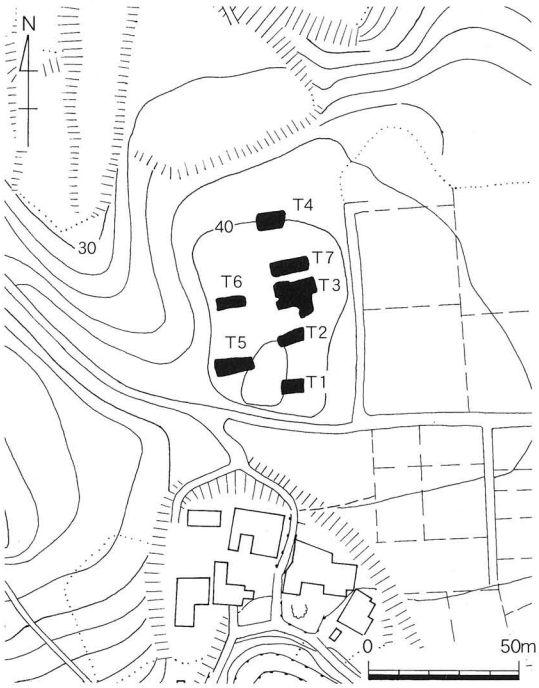


Fig.4　吉野遺跡（第６次）調査区配置図（1/2,500）

(3) 検出遺構

住居跡

トレンチ3より切り合った住居跡2軒が検出された。ここは以前の耕作・樹木等による攪乱により、住居の下面付近のみの検出であった。焼土が2ヶ所確認された。支柱穴については木根や攪乱が激しく、不明であった。住居跡の時期についても出土遺物が少量であったため些か不明な点が多いが、弥生後期～終末のものと思われる。

土坑

トレンチ3より検出された。一部住居跡に切られていた。出土遺物から縄文晩期のものと思われる。

PL.1　吉野遺跡（第6次）住居跡・土坑検出状況

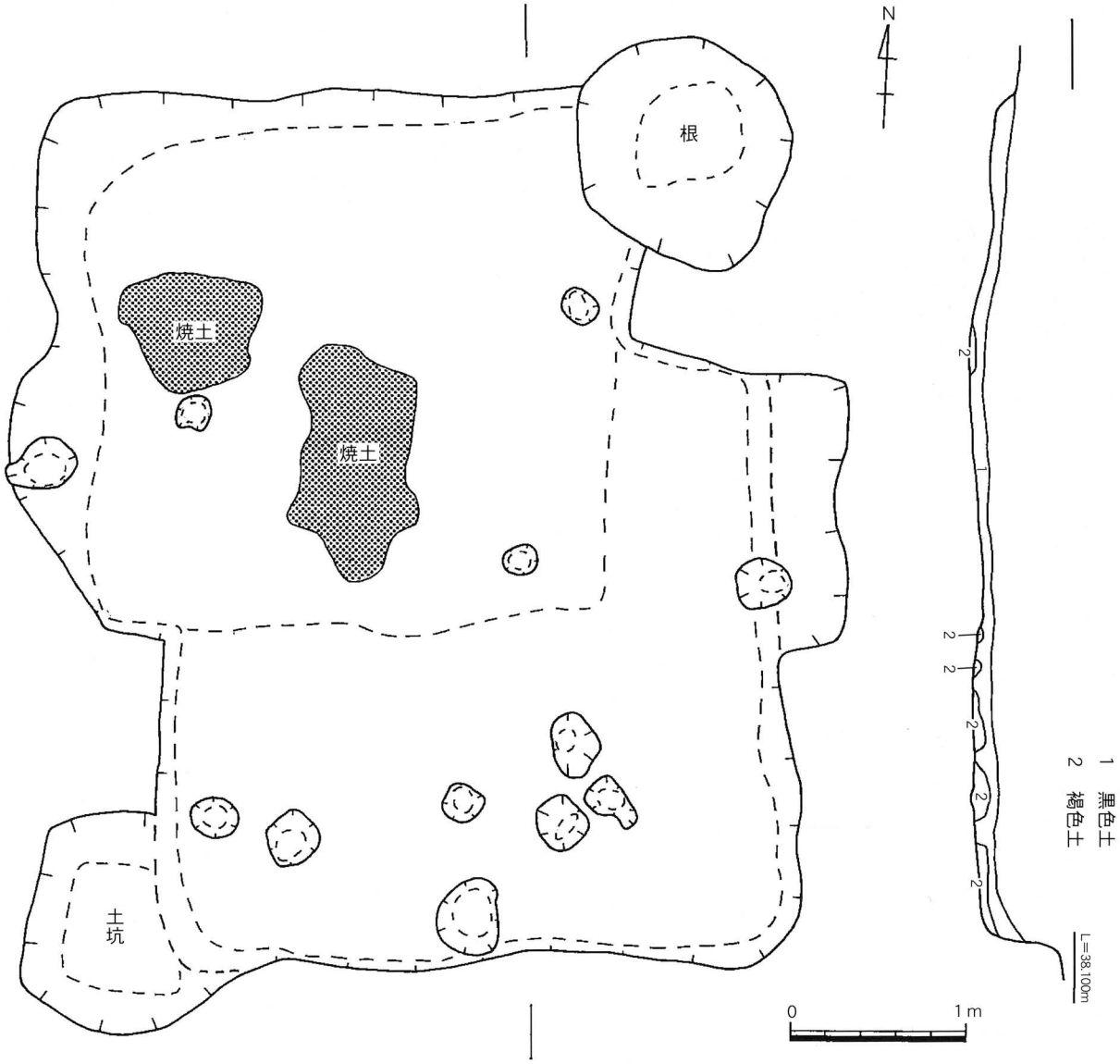


Fig.5　吉野遺跡（第6次）住居跡・土坑実測図（1/40）

(4) 出土遺物

トレンチ6を除くすべてのトレンチから遺物が出土している。数量は石器約200点、縄文土器片約300点、弥生～古墳時代の土器片約150点である。この他、表採資料として須恵器片、古銭、の資料を得た。

1～10の遺物はトレンチ3より出土したものである。1は黒曜石の剥片である。2は黒色摩研土器の浅鉢であると思われるが、風化が激しい。口縁部の内外に沈線が一条めぐっている。3～6は土坑内より出土している。3は深鉢と思われ外面口縁部下に三角形の突帯を貼り付ける。内外面ともナデ調整。4は黒色磨研の浅鉢である。外面はやや風化しているが内外面丁寧なヘラ磨きである。5は深鉢で口縁部下に三角形の突帯を貼り付ける。内外面は不定方向のナデ調整である。6は深鉢で口縁部下付近に一条の沈線をめぐらす。7～10は住居内から出土している。8は鉢と思われ外面口縁下に三角形の突帯を貼り付ける。8は甕で口縁部が「く」の字に外反する。内面胴部には指押圧痕が残っている。9は黒色摩研の浅鉢で口縁部の内面に浅い一条の沈線をめぐらせる。10は二重口縁の壷と思われ、内外面とも丁寧なヘラ磨きがみられる。11～13はトレンチ5より出土したものである。11は表採資料で、流紋岩製のスクレイパーである。主要剥離面より加工が施され、下縁に刃部を造り出している。12はチャート製の石鏃である。基部が欠損している。13はホルンフェルス製の礫器である。刃部は片側にのみ造り出している

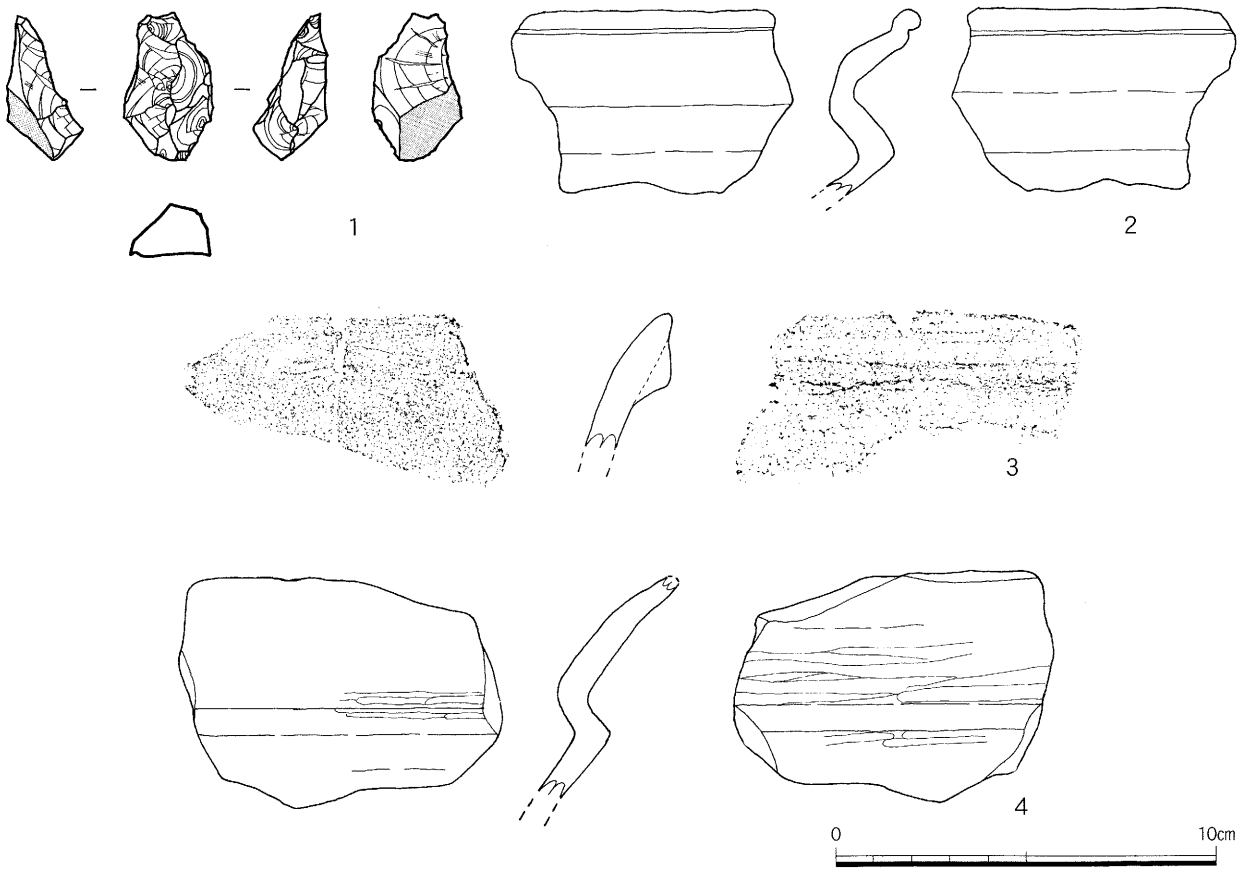


Fig.6 吉野遺跡（第6次）出土遺物実測図1 (1/2)

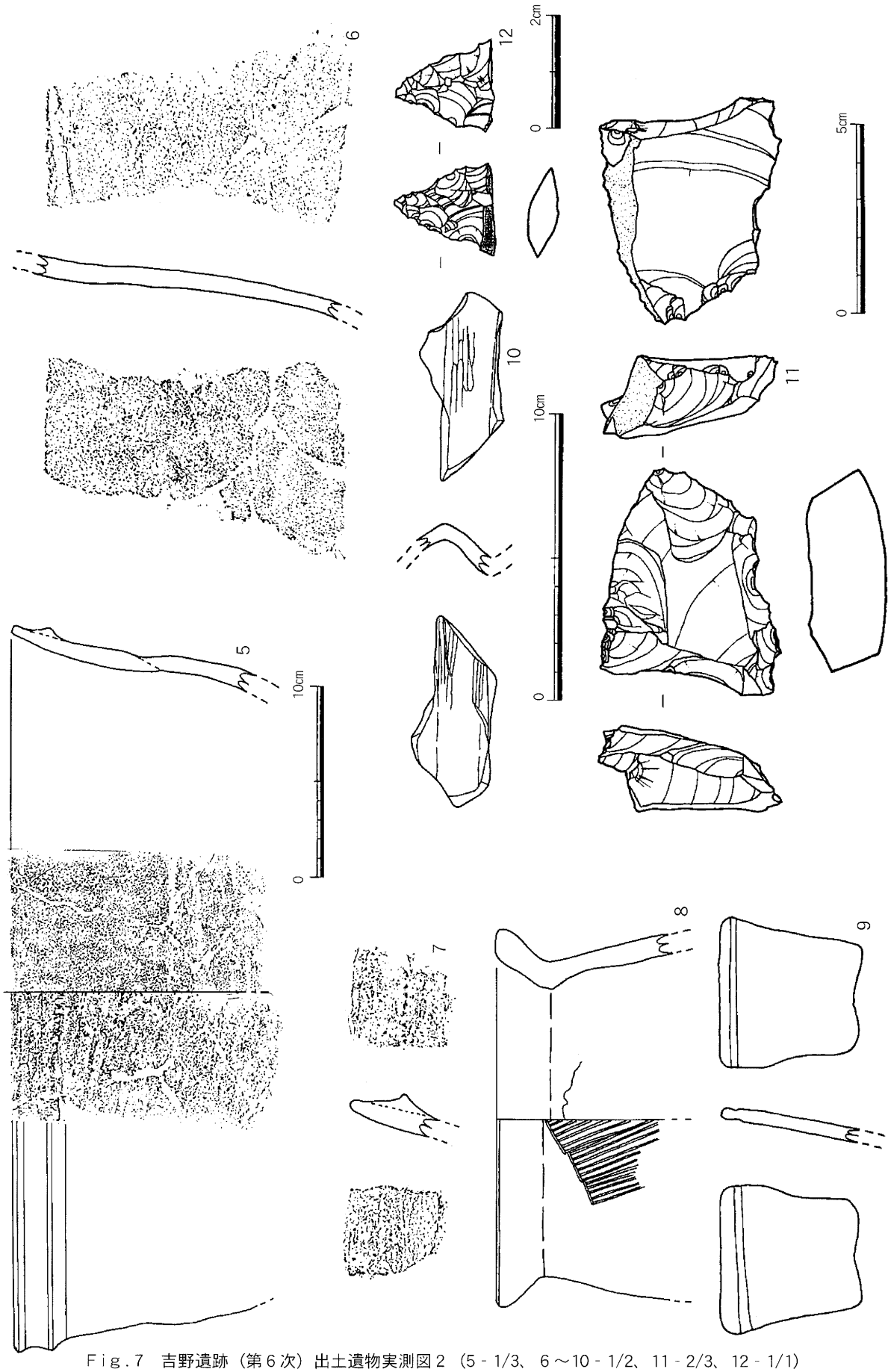
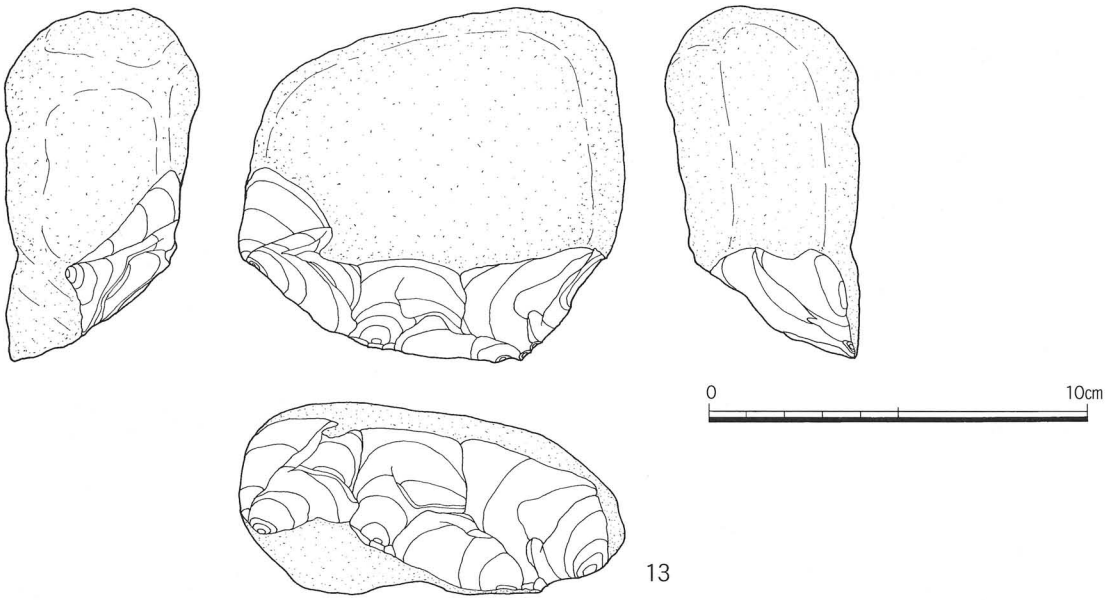
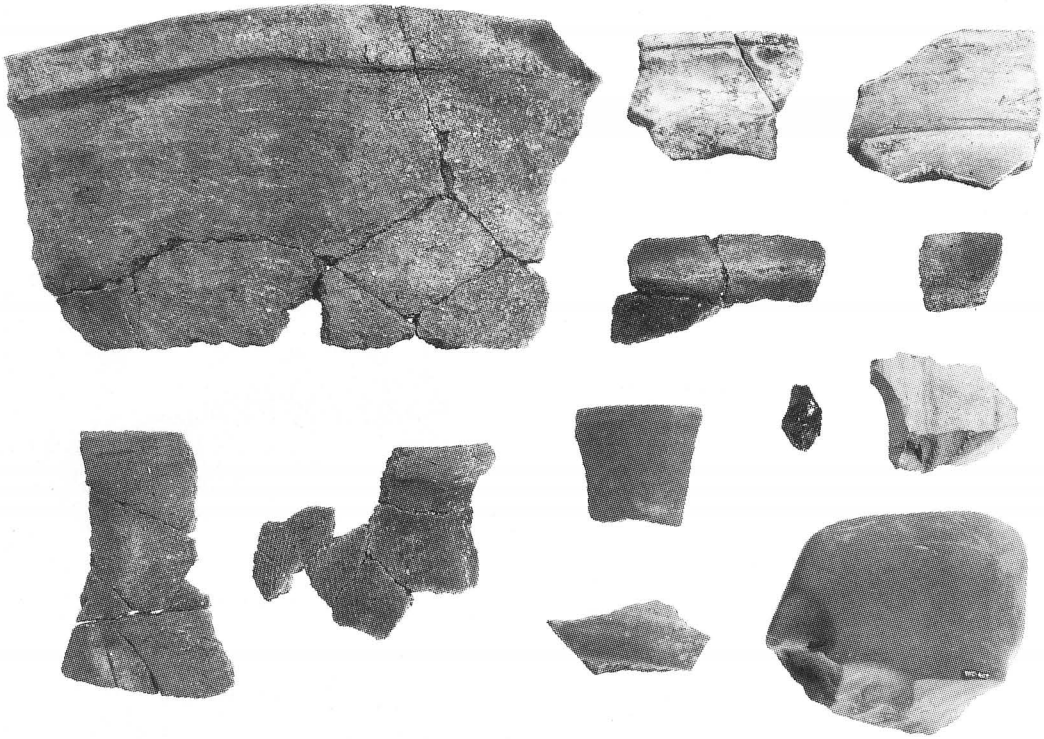


Fig.7　吉野遺跡（第6次）出土遺物実測図2（5 - 1/3、6～10 - 1/2、11 - 2/3、12 - 1/1）



Ｆｉｇ．８　吉野遺跡（第６次）出土遺物実測図３（1/2）



ＰＬ．２　吉野遺跡（第６次）出土遺物

(5) まとめ

吉野地区は古墳群をはじめ、数多くの遺跡が確認されている。吉野町は高速道路建設やクレアパーク延岡(企業誘致造成)建設、その他これらに関連する事業が増加している地区である。今後も周辺の開発の際には、慎重な調査が必要である。

なお、今回の調査から当該地区に埋蔵文化財が確認されたため関係箇所と協議を行った。結果、石器が集中して出土したトレンチ1付近の発掘調査を実施することとなった。

2. 吉野遺跡(第4次)

所 在 地	延岡市吉野町1527-1・1527-2	調査面積	124.5㎡
調査原因	個人住宅建設	担 当 者	山田
調査期間	000113～000225 000406～000428	処　　置	調査後破壊

(1) 位置と環境

本遺跡は、延岡市の西部に位置する吉野丘陵沿いに位置し、標高は約40mを測る。この付近はは昭和63年の吉野地区土地改良事業によって本遺跡を除外して基盤整備が実施されている。したがって、雑木林及び竹林として自然地形が残存し、緩やかなピークを観察することができる。周辺は、吉野第2遺跡(4053)として周知の埋蔵文化財包蔵地になっており、国史跡南方古墳群の吉野支群や東に約100mの地点に延岡(県)地方を支配していた土持氏の卒塔婆（文明十四年・1482市指定有形文化財）が所在し、光福寺跡伝承地(詳細不明)ともなっている。また、地元の話として基盤整備前には土盛りや祠が存在していたとのことで、未確認古墳の存在が推定されている。発掘調査は、平成4年に対象地の東側に隣接する畑地陥没に伴う調査が実施されている。今回は、予定地東側に計画されている国道10号延岡道路建設にかかる個人住宅移転に伴うもので、平成12年1月4日付けで地権者から依頼を受け、仲介した市土地開発公社を交えて協議を行った。その結果、住宅予定地と道路面との段差解消のため削平はやむを得ないとの結論に達し、市教委において削平を受ける箇所の発掘調査を実施することになった。調査は、年度末でもあったことから翌年度に跨るものとなった。

(2) 調査の概要

調査は、調査時期の関係もあり昨年度及び今年度の2カ年にわたり実施した。昨年度調査は、以前開墾され荒れ地となっている箇所に1・2トレ

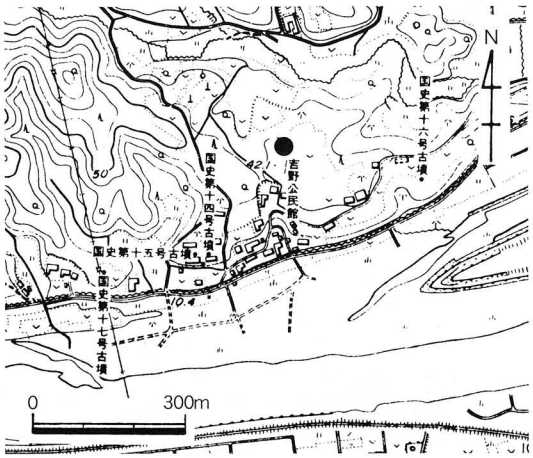


Fig.9 吉野遺跡（第４次）位置図（1/15,000）

PL.3 吉野遺跡（第４次）調査地近景

PL.4 吉野遺跡（第４次）１トレンチ調査風景

ンチ、自然地形が残る西側に3トレンチを設定して行い、今年度は3トレンチの残存箇所の調査を実施した。1・2トレンチは、東西方向に長軸を設定し、表土層及びその2・3層から縄文早期から近代に至る遺物が一括して検出された。アカホヤはごく僅かに検出される程度で層位的には確認されなかった。また、AT層は全面から検出されたが、旧石器類は検出されなかった。土層観察では、1層下位において年代は不明であるが南北方向に溝状の落ち込みが確認された。3トレンチは、雑木及び竹根による腐植及びカクランが進み、土層観察から良好な層位関係は認められなかったが、旧石器類をはじめ縄文早期の押型文土器、無文土器、石鏃、チャートの接合資料、弥生土器、須恵器などが検出された。また、最高位より若干北側地点の約4m四方から縄文早期の集石遺構が4基確認された。そのうち3号集石から炭化材が検出され、分析の結果マツ科植物であることが確認され、放射性炭素年代測定によりBC7540±90の鑑定が得られた。

(3) 出土遺構

いずれも3トレンチ北東側の約4m四方から集石遺構が4カ所検出された他、時期不明のピット群、1・2トレンチから南北方向に連続すると推定される溝状遺構が検出された。

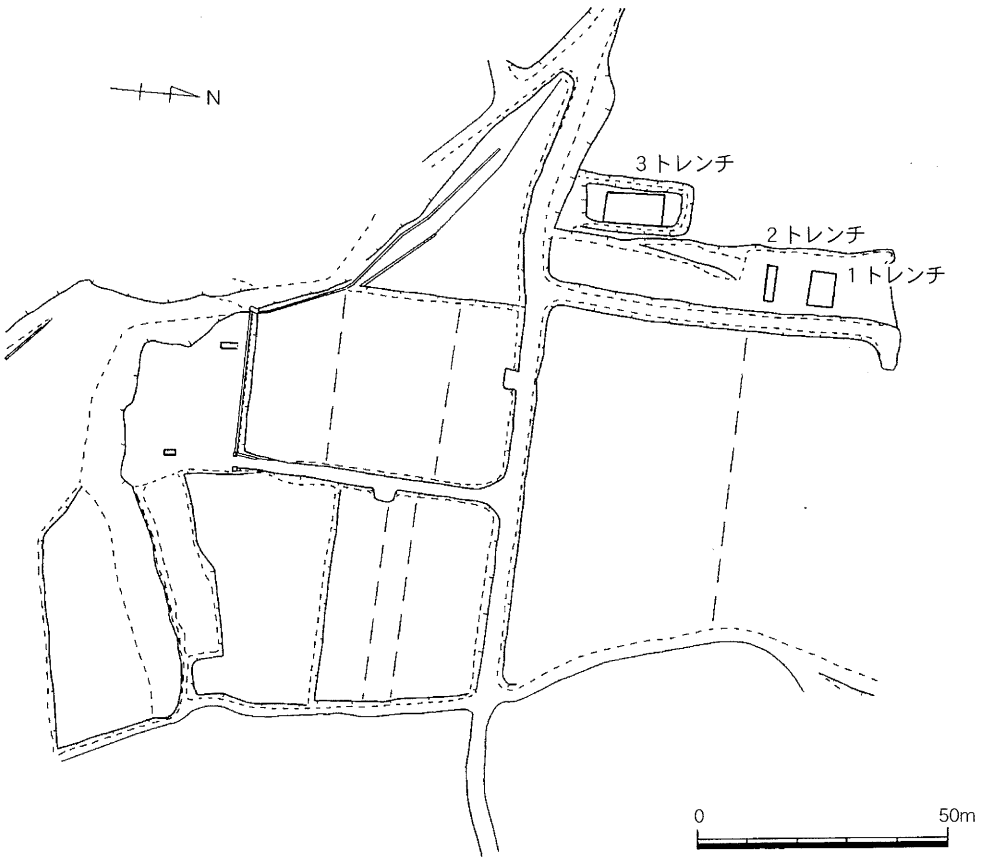
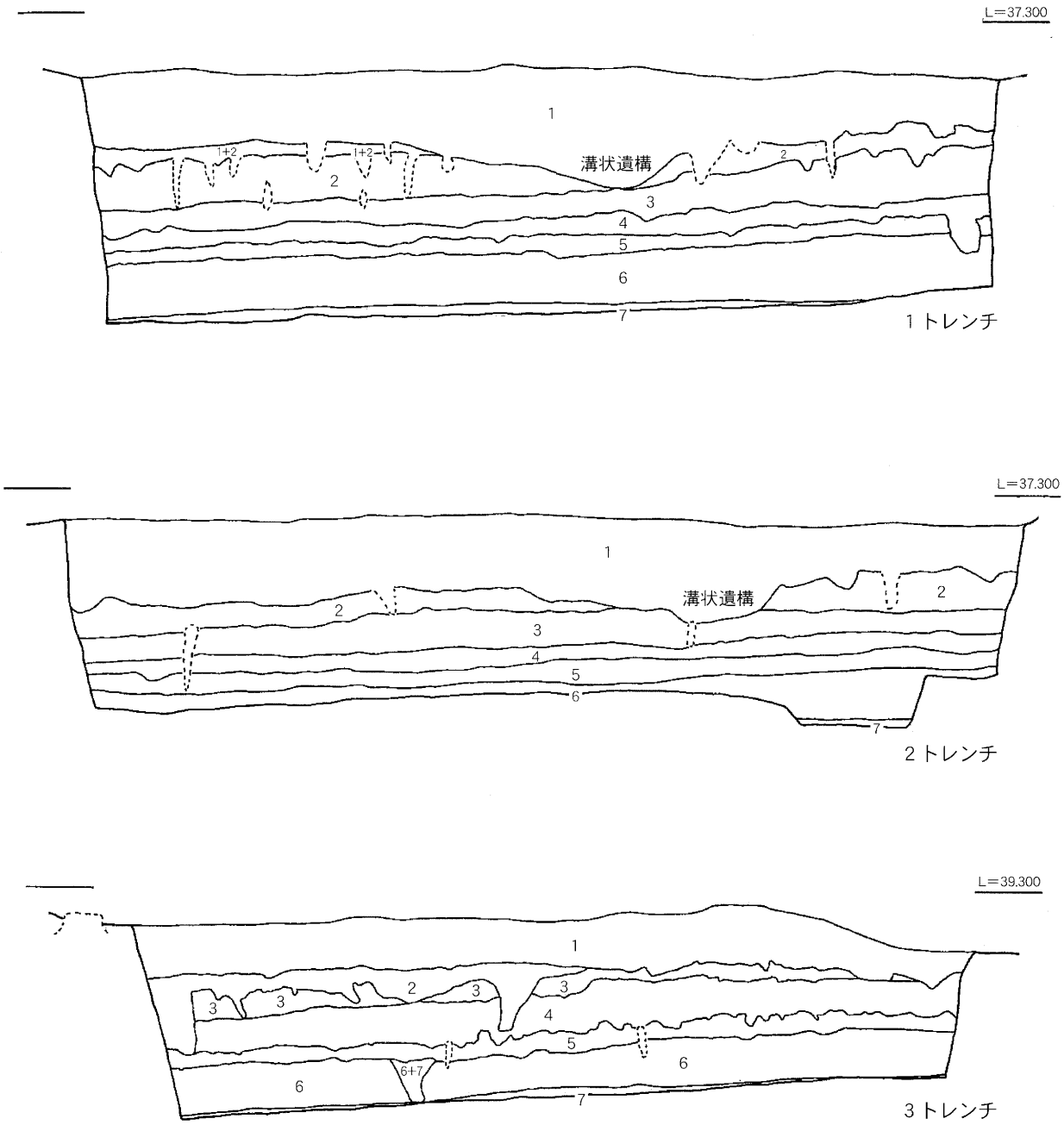


Fig.10 吉野遺跡（第4次）調査区配置図（1/1,500）



1　表　土
　竹、雑木等の根株が多く腐食が進み２層との区別不明瞭

2　黒褐色土
　若干粘性があり、黒みが強い

3　暗茶褐色粘質土
　表土と４層との漸移層で、粘性があり粒子細かい

4　暗褐色ローム
　粘性があり、乾燥すると５～10㌢のブロック状に割れる遺物包含層

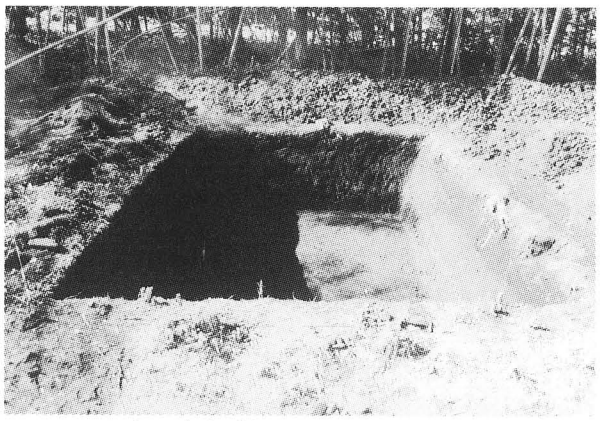
5　暗黄褐色土
　ＡＴ層、一部ブロック状に分割される。２～５センチの赤色岩粒混じる

6　暗茶褐色粘質土
　粘性高く、ブロック状に割れる

7　明茶褐色粘土
　粘性高く、粒子細かい

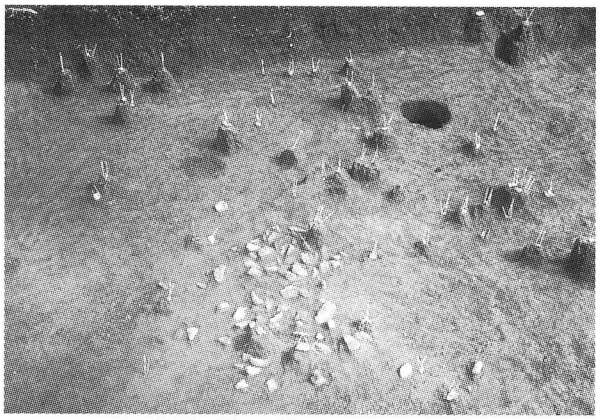
0　3m

Ｆｉｇ．11　吉野遺跡（第４次）１・２・３トレンチ　土層断面図（1/50）



PL.5　吉野遺跡（第４次）１トレンチ　完掘状況

PL.6　吉野遺跡（第４次）２トレンチ　土層断面



PL.7　吉野遺跡（第４次）3トレンチ　遺物出土状況

PL.8　吉野遺跡（第４次）集石遺構３　炭化材検出状況

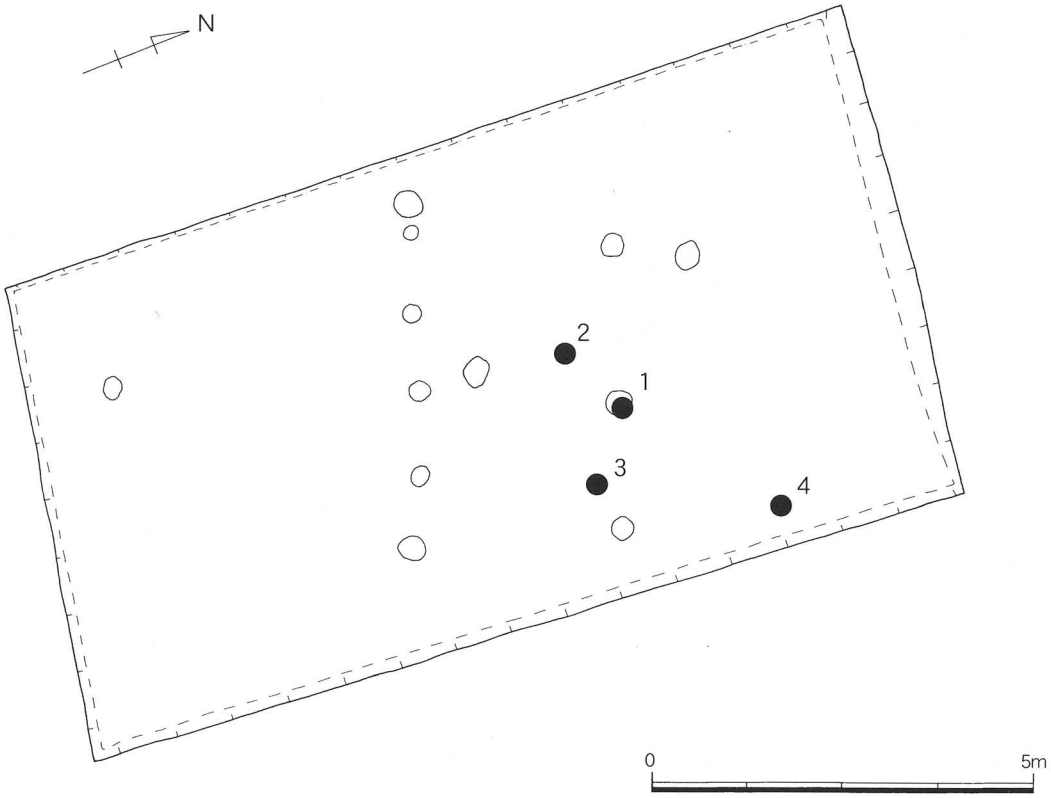
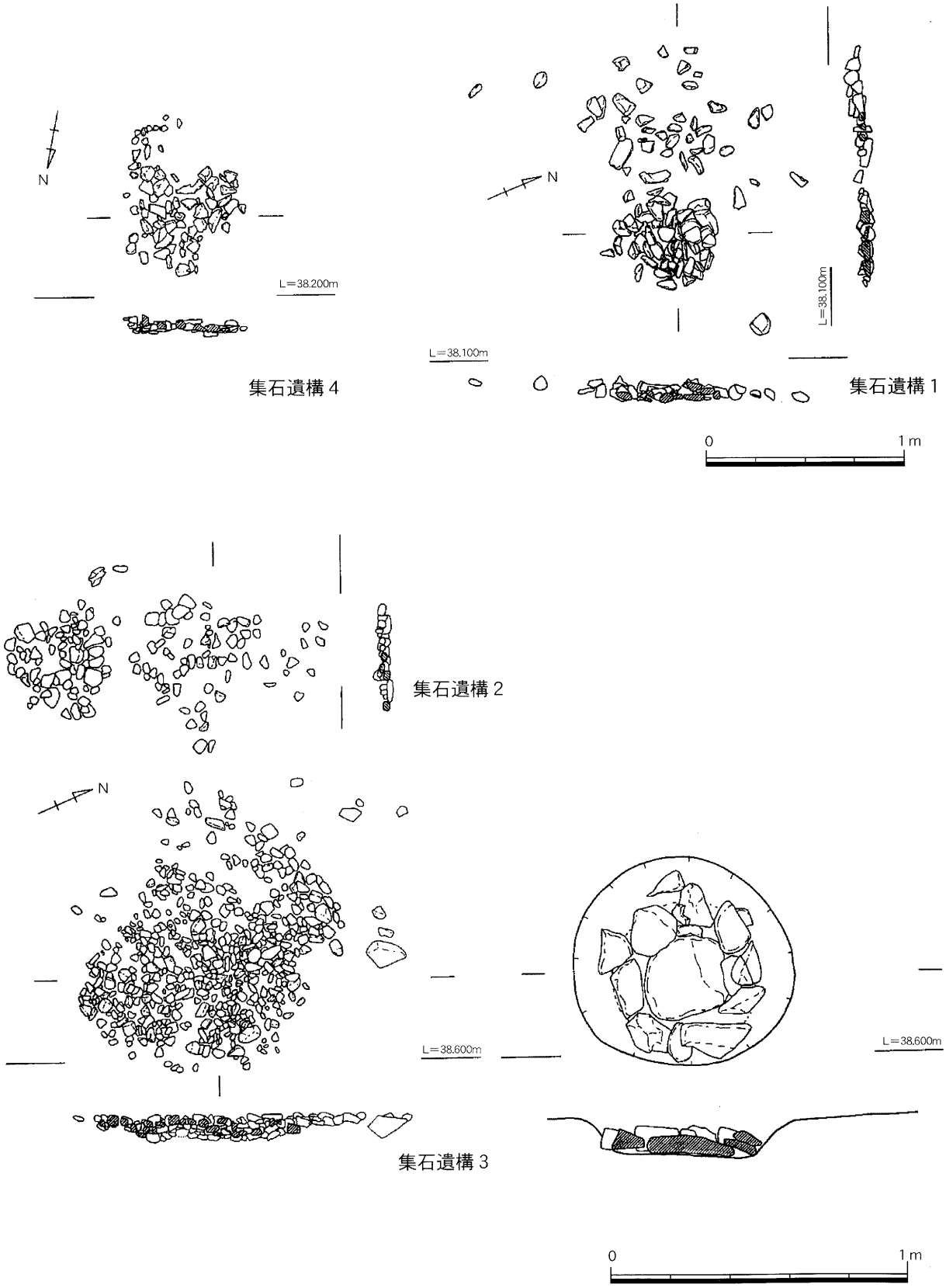


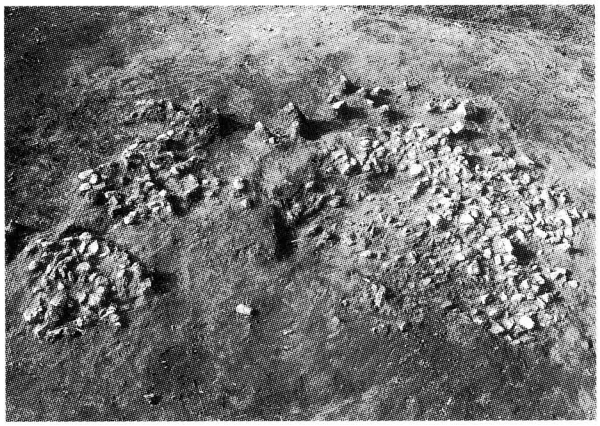
Fig.12　吉野遺跡（第４次）３トレンチ　検出遺構分布図（1/100）



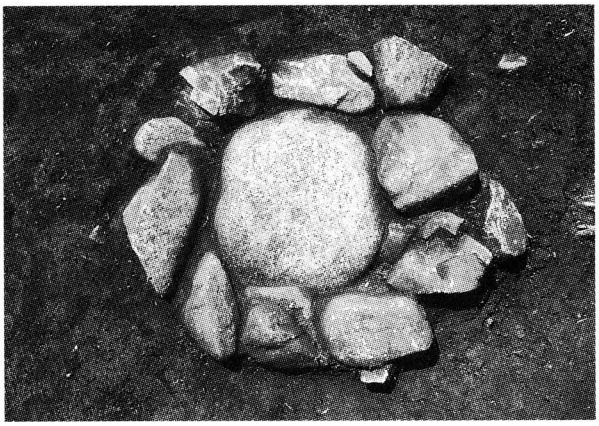
Ｆｉｇ．13　吉野遺跡（第４次）集石遺構実測図（１・４－1/30）（２・３－1/20）

ＰＬ．9　吉野遺跡（第４次）集石遺構１　検出状況

ＰＬ．10　吉野遺跡（第４次）集石遺構４　検出状況



ＰＬ．11　吉野遺跡（第４次）集石遺構２・３　検出状況



ＰＬ．12　吉野遺跡（第４次）集石遺構３　配石検出状況

集石遺構１

4層上位より検出され、約50～60cmの円形状に河原石を集積している。受熱により破砕しているものが多く、拳大の河原石を多用し、破砕した一部の礫は西方向に散乱している。僅かに掘り込みが確認される。

集石遺構２

4層上位より検出され、約40～50cmの範囲に河原石及び角礫を敷き詰めている。中央部付近は木根による攪乱を受けている。一様に受熱による赤化が見受けられる。本集石遺構のすぐ北側にも集石遺構の痕跡とみられる焼礫の破砕礫が散在している。掘り込みは殆ど見られない。

集石遺構３

4層上位から検出され、約1mの方形状に河原石を集積している。元々拳大の礫を使用していたが受熱による破砕が進み約5cm程度になっているものが多い。掘り込みがあり、本調査で唯一となる直径約60cm四方の配石を有しており、上部集石の中心より約20cm南側にずれている。配石は、直径約25cmの平坦で滑らかな花崗斑岩を使用し、周囲を拳大の礫で丁寧に敷き詰めている。また、上部集石と配石との間からマツ科の炭化材が検出され、本市内出土の集石遺構初となる放射性炭素年代測定によりBC7540±90(別途記載)の鑑定が得られた。

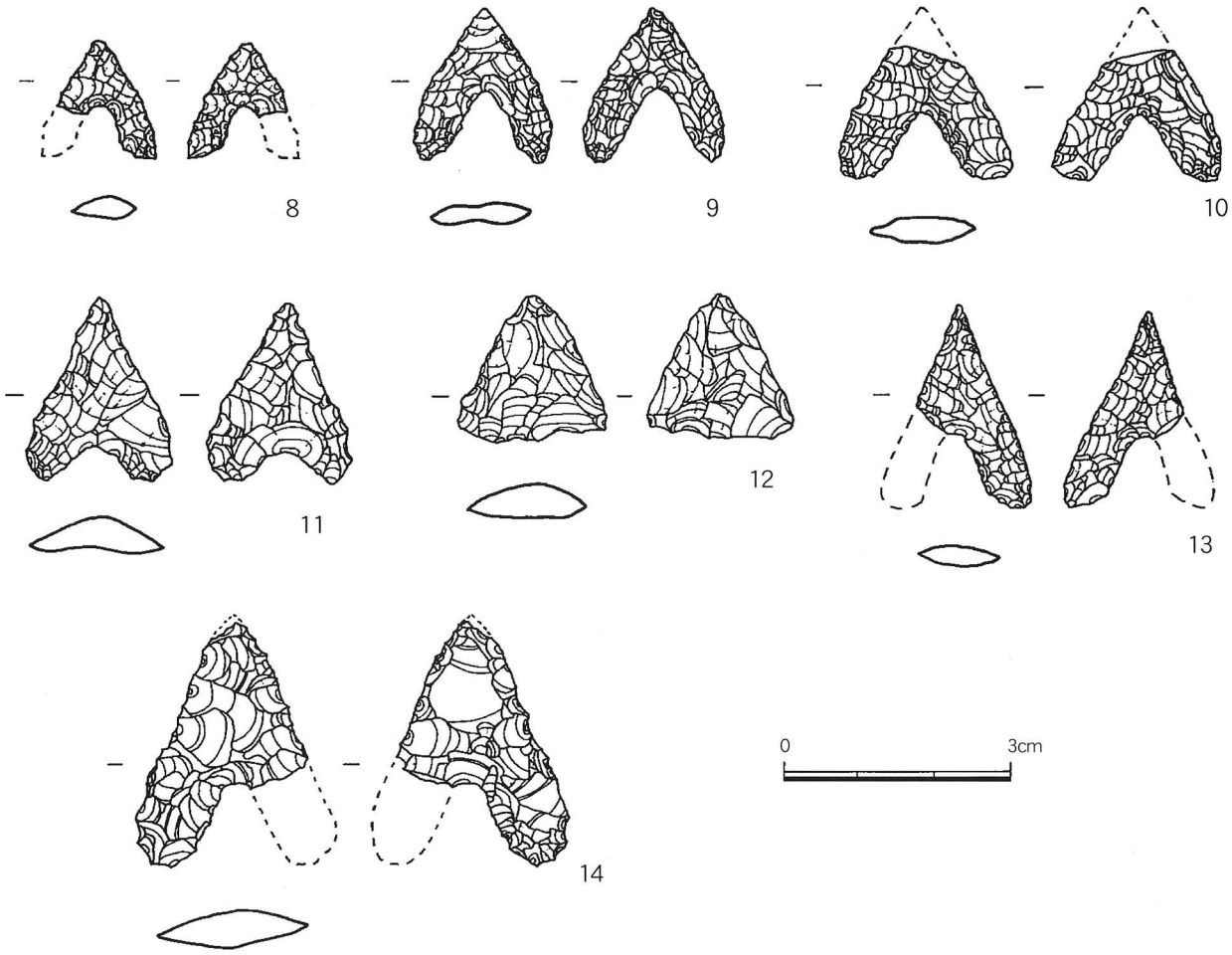
集石遺構４

3層下位より検出され、攪乱の影響で約60cmの不定形にまとまっている。約5～10cmの河原石を敷き詰め、何れも受熱により破砕が進んでいる。掘り込みは確認されない。

Ｆｉｇ．14　吉野遺跡（第４次）出土遺物実測図１　石器（１～６ - 1/2、７ - 1/1）

No.	図面番号	調査区	出土層位	器　種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	備　考
一括	1	3	4　層	スクレーパー	流紋岩	8.3	5.8	1.4	65.0	
98	2	3	4　層	使用痕のある剥片	流紋岩	6.5	2.3	0.8	10.0	
39	3	3	4　層	二次加工剥片	流紋岩	8.2	4.2	1.2	31.2	
46	4	3	4　層	二次加工剥片	流紋岩	8.6	3.7	1.6	40.0	
3	5	3	4層上	磨　石	砂　岩	9.1	7.0	4.0	270.0	磨滅激しい
83	6	3	4層上	磨　石	砂　岩	6.1	3.9	3.1	108.0	
一括	7	3	表　採	細石刃	流紋岩	1.7	0.8	0.2	0.3	一部欠損
一括	8	3	4層上	石　鏃	頁　岩	1.5	1.3	0.2	0.2	
一括	9	3	3　層	石　鏃	チャート	2.0	1.8	0.3	0.7	
一括	10	3	4層上	石　鏃	チャート	1.7	2.3	0.3	0.8	
61	11	3	4層上	石　鏃	チャート	2.4	1.9	0.4	1.2	
一括	12	3	4層上	石　鏃	チャート	2.0	1.9	0.5	1.3	
一括	13	3	表　採	石　鏃	チャート	2.7	1.2	0.3	0.7	
207	14	3	4層上	石　鏃	チャート	3.2	2.3	0.4	2.0	
25.27.30.34.35.47.51.52.53.54.58.60.64.65.70.72.73.74.75.77.79.81.82.85.90.96.103.126.127.129.130.135.136.137	15	3	4層上	接合資料	チャート				1087.5	接合資料1・34点接合
68.69.80.86.99		3	4層上	接合資料	チャート				49.5	接合資料2・5点接合
71.93		3	4層上	接合資料	チャート				25.5	接合資料3・2点接合

第２表 吉野遺跡（第４次）出土遺物観察表１



Ｆｉｇ．15　吉野遺跡（第４次）出土遺物実測図２　石鏃（1/1）

●接合資料１
▲接合資料２
△接合資料３
○その他の同一個体資料

Ｆｉｇ．16　吉野遺跡（第４次）接合資料分布図（1/75）

溝状遺構

1・2トレンチの土層断面観察により1層及び2層から確認された。幅約2.0～2.4m、深さ約30～40cmを測り、東側にテラス状の段が1段見受けられる。表土及び2層から検出され、縄文早期から現代に至る遺物が混在するため時期は不明である。

(4) 出土遺物

1～4・7は旧石器である。1はスクレーパーである。縦長剥片を使用し、両側辺及び縁部にブランティング加工が認められる。2・3は、使用痕を有す

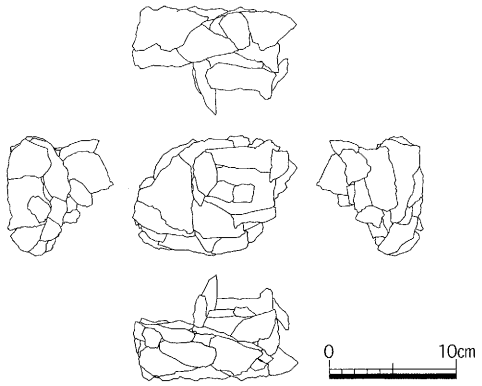


Fig.17 吉野遺跡（第４次）接合資料模式図（1/6）

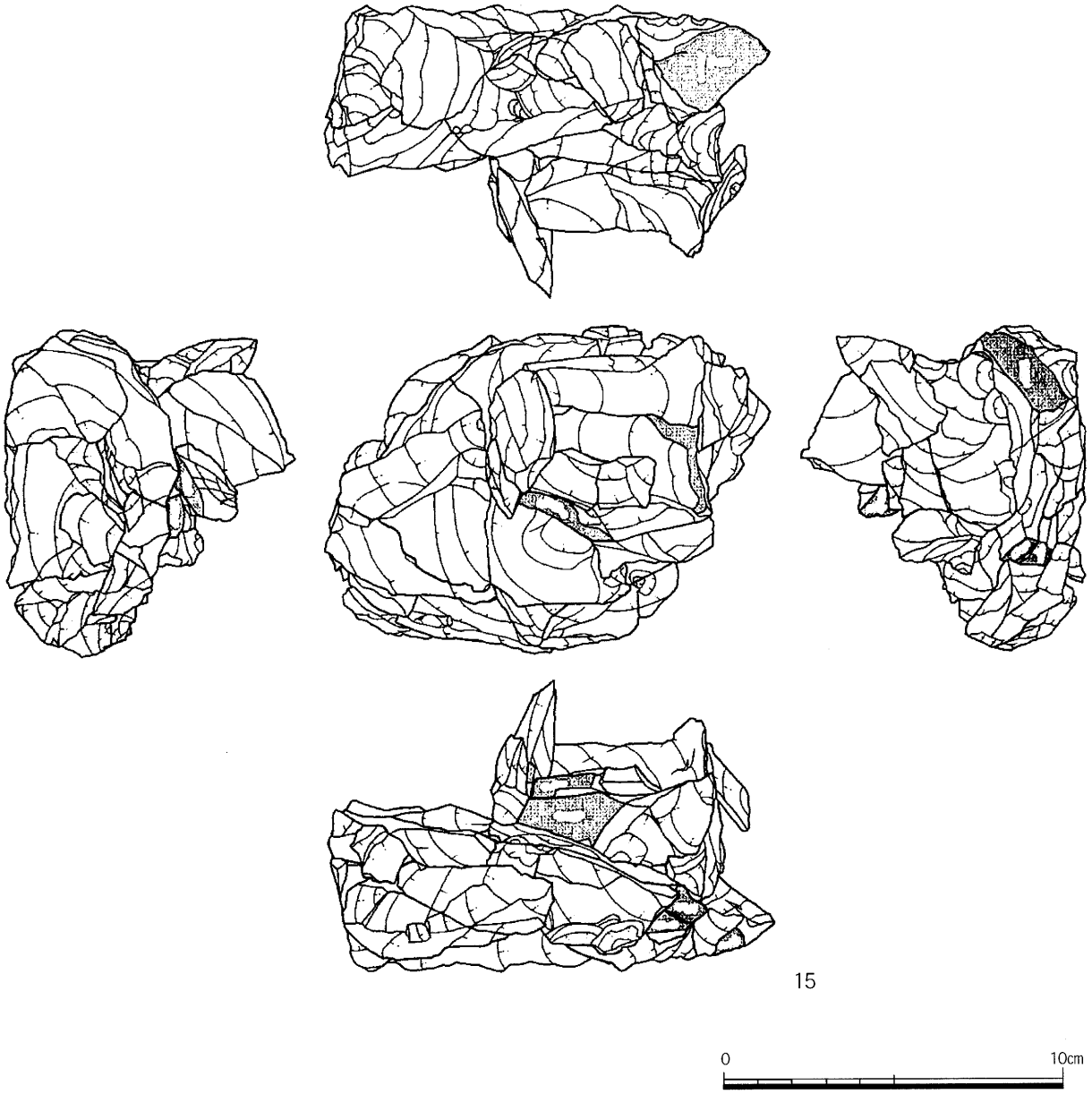


Fig.18 吉野遺跡（第４次）出土遺物実測図３ 接合資料（1/2）

る剥片である。一側縁部に使用痕による刃こぼれが観察される。4は剥片で自然面を有している。7は細石刃である。5・6は敲石である。5は砂岩製で風化がみられるが側縁部のほぼ全面にわたって敲打痕がみられる。6は花崗班岩製でやや小型である。8～14は石鏃である。8・9は全体形が正三角形を呈し、基部は凹基式の深い抉りを持つ。側辺は外湾し脚端は尖っている。8は唯一流紋岩製でその他はチャート製である。10の全体形は正三角形を呈し、側辺は直線的で基部は山形状の抉りを持ち、脚端は丸みをもつ。11は全体形が二等辺三角形を呈し、基部は凹基式の浅いアーチ状の抉りを持つ。12は全体形が正三角形を呈し、基部は円基式である。13は全体形が二等辺三角形を呈し、凹基式のアーチ状の抉りを持つ。側辺は外湾し、脚端は若干丸みを持つ。14は全体形が二等辺三角形を呈した剥片鏃である。基部は凹基式でアーチ状の抉りを持つ。

接合資料

15は、3トレンチの3層から検出されたもので、約5m四方の範囲に濃緑色系のチャート製剥片、砕片類の34点(重量1087.5g)が接合している。接合はしないが同一個体と考えられるものを含めると73点(1242.5g)を数える。母岩は拳大よりやや大きめのもので、不純物や摂理が見受けられ、良質な石材とはいえないようである。自然面を有する剥片が若干見受けられ、分布状況からこの付近において加工が行われたようである。剥片剥離は、全方位から満遍なく行われており、定型化された剥片剥離技術に基づいていないようである。資料は、大まかに以下のとおり接合別に分類した。接合資料として図化されたもの（接合資料1・図面番号15)、接合資料１には接合できないが同一個体の剥片・砕片が接合されたもの（接合資料2・接合資料3)、同一個体であるが接合できない剥片・砕片（接合資料4)。

縄文土器

16～25は楕円押型文土器である。16は、表面に大きめの楕円押型文、内面には原体条痕を施す。口縁部は外反している。17は、表面に楕円押型文を施し、口縁部は外反している。18・19は、表面に横方向のやや細長い楕円押型文を施し、内面口縁部付近は原体条痕がみられる。20・22～25は、表面にやや細長い楕円押型文を施している。21は、表面に凹凸の大きな楕円押型文を施している。26・27は、山形押型文土器である。何れも横方向に施文している。28～36は無文土器である。28は、内外面に指オサエがみられ、口縁部が若干外反する。29は、内面に粘土の継ぎ目があり、内外面に指オサエがみられる。外面には、繊維状の圧痕が残っている。30は、外面に粘土の継ぎ目がみられる。31は、内外面に指オサエがみられ、口唇部は若干外反する。32は、外面にナデがみられる。33は、外面にヘラ状工具によるナデがみられる。35は、外面にナデがみられる。34は、胴部の屈曲部にあたり、内面にく字状ラインが残っている。36は、内外面に指オサエ・ナデがみられる。37は、縄文土器である。外面に2列の山形文が施されている。38・39は須恵器の甕である。、38は外面に格子目タタキが施されている。39は、内外面に平行タタキがみられる。

(5) まとめ

今回の調査では、小規模調査であったものの自然科学分析によって詳細な年代観が判定された縄文早期の集石遺構をはじめ、接合資料など多くの成果を得ることができたといえよう。

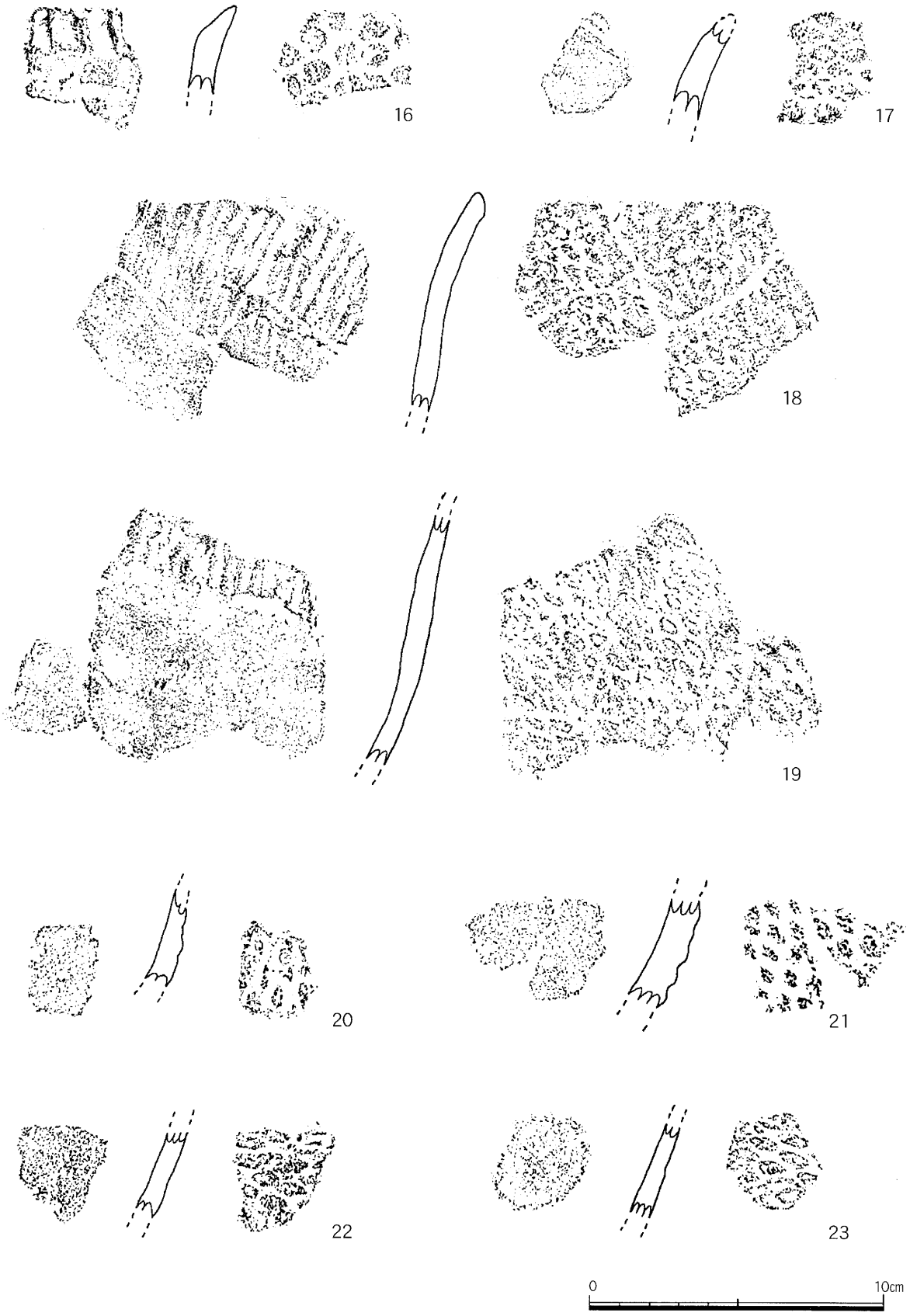
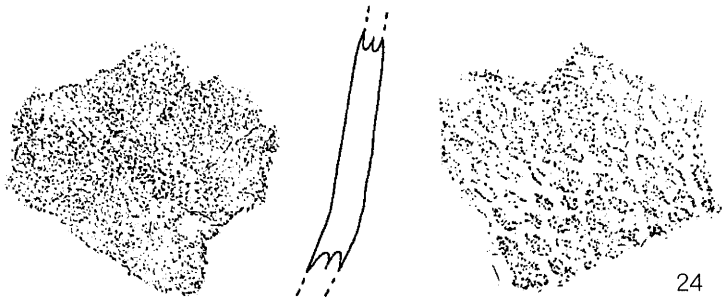
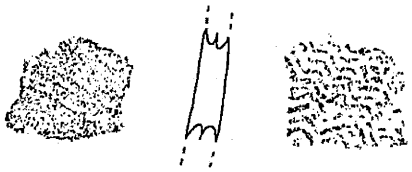
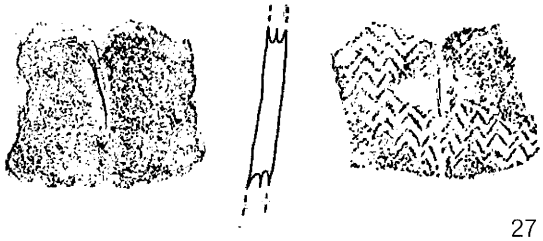
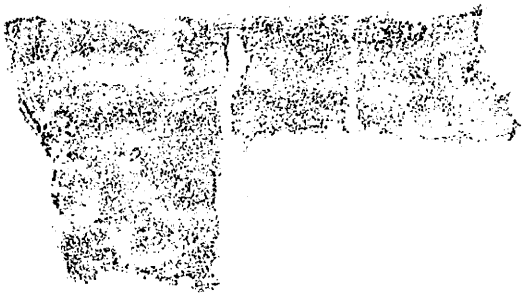


Fig.19　吉野遺跡（第４次）出土遺物実測図４　縄文土器（1/2）



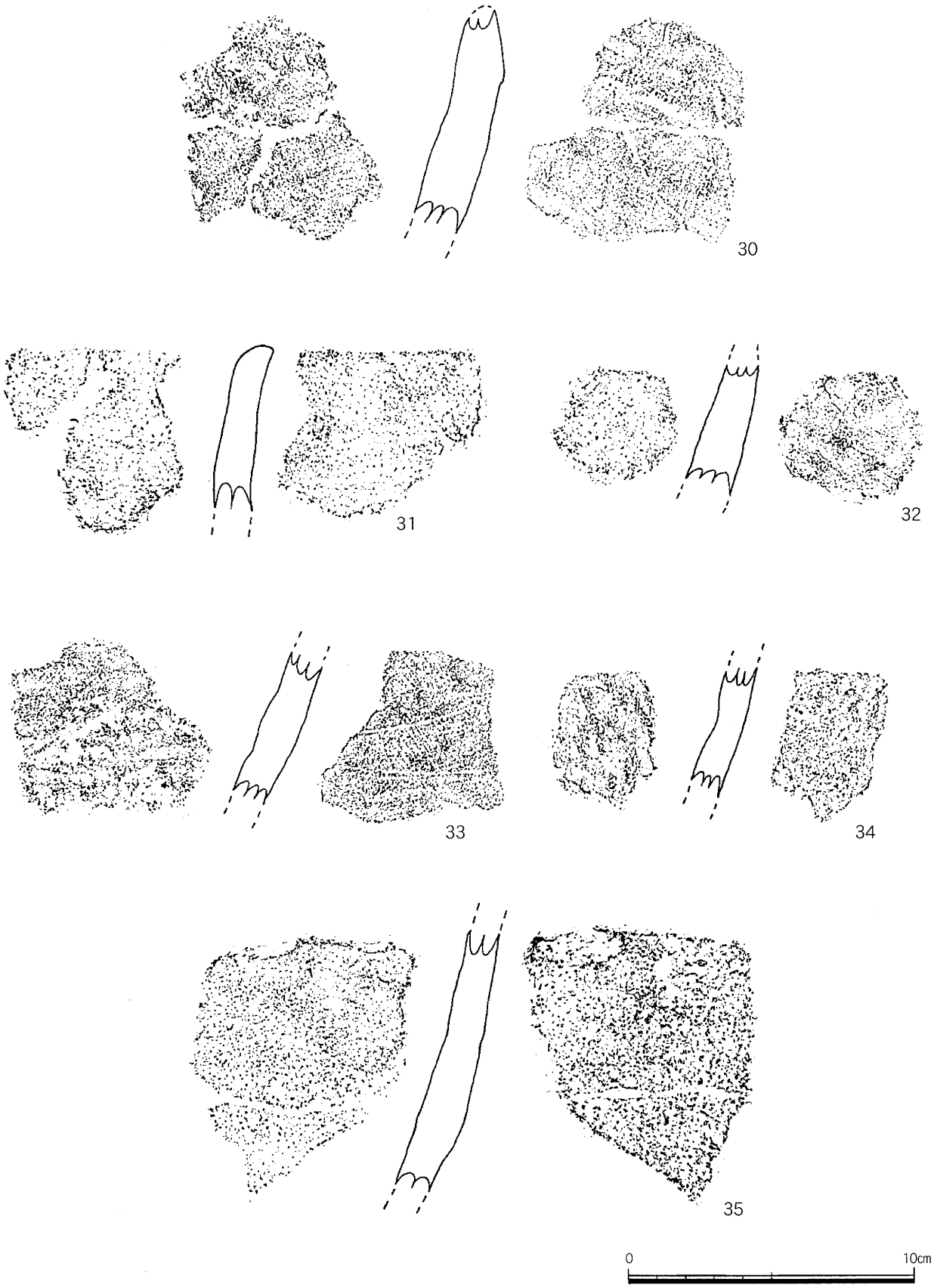






0 10cm

Fig.20　吉野遺跡（第４次）出土遺物実測図５　縄文土器（1/2）



Ｆｉｇ．21　吉野遺跡（第４次）出土遺物実測図６　縄文土器（1/2）

No.	図面番号	種　別	器種	出土トレンチ	出土層位	文様・調整 外　面	文様・調整 内　面	色　調 外　面	色　調 内　面	備　考
一括	16	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文	口縁部は原体条痕	明茶褐色	暗茶褐色	
一括	17	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文		淡赤茶褐色	赤茶褐色	
一括	18	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文	上位は原体条痕	暗茶褐色	暗茶褐色	
一括	19	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文	上位は原体条痕	暗赤茶褐色	暗茶褐色	
一括	20	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文		暗赤茶褐色	暗茶褐色	
一括	21	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文		暗赤茶褐色	暗赤褐色	
一括	22	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文		暗赤茶褐色	暗黒茶褐色	内面にスス付着
一括	23	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文		淡茶褐色	暗黒茶褐色	内面にスス付着
一括	24	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	楕円押型文	ナデ	暗赤茶褐色	暗茶褐色	
一括	25	縄文土器	深鉢	3トレンチ	4層上	楕円押型文		暗赤茶褐色	暗茶褐色	
	26	縄文土器	深鉢	3トレンチ	表採	山形押型文	ナデ	暗赤茶褐色	暗赤茶褐色	
	27	縄文土器	深鉢	3トレンチ	表採	山形押型文	ナデ	淡黄褐色	暗黄褐色	
	28	縄文土器	深鉢	1トレンチ	表採	無文・指オサエ・ナデ	指オサエ・ナデ	淡赤茶褐色	淡赤茶褐色	口縁部は若干外反
一括	29	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	無文・指オサエ・ナデ 粘土紐の継ぎ目あり 繊維質の圧痕あり	指オサエ・ナデ	淡赤茶褐色	淡赤茶褐色	
7	30	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	指オサエ 粘土紐の継ぎ目あり	指オサエ	赤茶褐色	赤茶褐色	
4	31	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	指オサエ・ナデ	指オサエ・ナデ	赤茶褐色	赤茶褐色	口唇部は外反する
	32	縄文土器	深鉢	1トレンチ	表採	ナデ		赤茶褐色	赤茶褐色	
一括	33	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	ヘラナデ 指オサエ	指オサエ・ナデ	暗赤茶褐色	暗赤茶褐色	
一括	34	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	ナデ	く字状に屈曲する	暗赤茶褐色	暗赤茶褐色	
一括	35	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	ナデ	ナデ	暗茶褐色	赤茶褐色	
一括	36	縄文土器	深鉢	3トレンチ	3層	ナデ	ナデ	赤茶褐色	淡赤茶褐色	
一括	37	縄文土器？	深鉢	3トレンチ	3層	3条の山形文		淡茶褐色	暗茶褐色	
	38	須恵器	大甕	1トレンチ	表採	格子目タタキ	ナデ	淡青灰色	淡青灰色	
	39	須恵器	大甕	1トレンチ	表採	平行タタキ	平行タタキ	青灰色	青灰色	

第3表 吉野遺跡（第4次）出土遺物観察表2

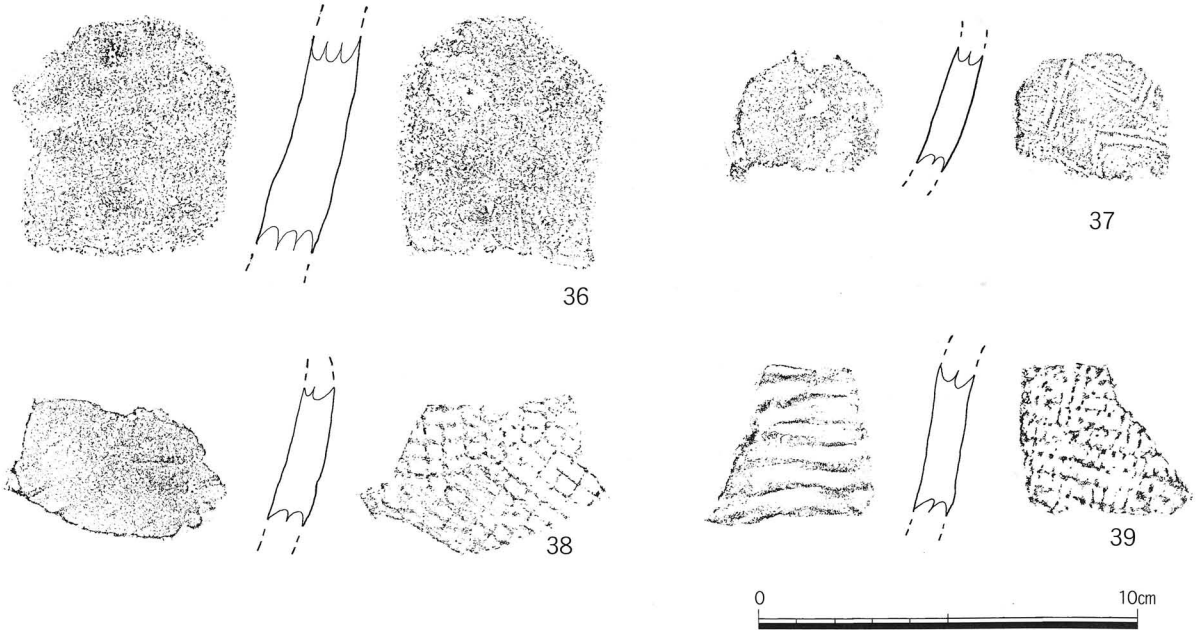


Fig.22　吉野遺跡（第4次）出土遺物実測図7　縄文土器・須恵器（1/2）

ＰＬ．13　吉野遺跡（第４次）出土遺物及び接合資料

ＰＬ．14　吉野遺跡（第４次）出土遺物

吉野遺跡（第４次）調査における自然科学分析

株式会社 古環境研究所

Ⅰ．吉野遺跡（第４次）調査における放射性炭素年代測定

１．試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
№.1	縄文早期集石遺構３	炭化物	酸-アルカリ-酸洗浄，ベンゼン合成	β線計数法

２．測定結果

試料名	^{14}C年代 (年BP)	δ^{13}C (‰)	補正^{14}C年代 (年BP)	暦年代 (西暦)	測定№. (Beta-)
№.1	8480±90	−26.5	8450±90	交点：cal BC 7540 １σ：cal BC 7580～7470 ２σ：cal BC 7600～7320	153036

１）^{14}C年代測定値

試料の^{14}C/^{12}C比から単純に現在（AD1950年）から何年前かを計算した値。^{14}Cの半減期は国際慣例に従って5568年を用いた。

２）δ^{13}C測定値

試料の測定^{14}C/^{12}C比を補正するための炭素安定同位体比（^{13}C/^{12}C）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。

３）補正^{14}C年代値

δ^{13}C測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、^{14}C/^{12}Cの測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

４）暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中^{14}C濃度の変動を較正することにより算出した年代。較正には年代既知の樹木年輪の^{14}Cの詳細な測定値、およびサンゴのU-Th年代と^{14}C年代の比較により作成された較正曲線を使用した。最新のデータベース（"INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration" Stuiver et al, 1998, Radiocarbon 40(3)）により、約19,000年BPまでの換算が可能となっている。

暦年代の交点とは、補正^{14}C年代値と暦年代較正曲線との交点の暦年代値を意味する。１σ（68％確率）および２σ（95％確率）は、補正^{14}C年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の１σ・２σ値が表記される場合もある。

Ⅱ．吉野遺跡（第４次）調査における樹種同定

１．はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質の特徴から概ね属レベルの同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

２．試料

試料は、縄文早期の集石遺構３から採取された炭化材１点である。

３．方法

炭化材を割折して新鮮な基本的三断面（木材の横断面、放射断面、接線断面）を作製し、落射顕微鏡によって75～750倍で観察した。同定は解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

４．結果

結果の結果、マツ科のマツ属複維管束亜属（Pinus subgen. Diploxylon）と同定された。以下に同定根拠となった特徴を記し、各断面の顕微鏡写真を示す。

仮道管、放射柔細胞、放射仮道管及び垂直、水平樹脂道を取り囲むエピセリウム細胞から構成される針葉樹材である。

横 断 面：早材から晩材への移行は急で、垂直樹脂道が見られる。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は窓状である。放射仮道管の内壁には鋸歯状肥厚が存在する。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型であるが、水平樹脂道を含むものは紡錘形を呈する。

５．所見

同定の結果、縄文早期の集石遺構３から採取された炭化材は、マツ属複維管束亜属と同定された。マツ属複維管束亜属には、二次林を形成するアカマツと海岸林を形成するクロマツがあり、どちらも北海道南部、本州、四国、九州に分布する常緑高木である。マツ属は樹脂を多く含み、燃料に適する。

文献

佐伯　浩・原田　浩（1985）針葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.20-48.

佐伯　浩・原田　浩（1985）広葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.49-100.

島地　謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧，雄山閣，296p.

3. 延岡古墳群第16号墳

所 在 地	延岡市大門町301番地 他	調査面積	147.3㎡
調査原因	社改築工事	担 当 者	尾方・高浦
調査期間	000406～000412 000607～000612	処　　置	協議

(1) 位置と環境

延岡古墳群第16号墳は、県史跡に指定されている。市内を流れる祝子川と北川に挟まれた下流域の沖積平野に位置し、遺跡周辺は延岡平野として米作が盛んに行われている。

遺跡周辺の粟野名町、柚の木田町、大門町には延岡古墳群(県指定12、13、14、15号墳)円墳5基が点在している。市内にある古墳のほとんどは丘陵上に築造されているのに対し、16号墳を含むこの地区のものは平地にあり、神社として祀られているものが多い。16号墳も御陵神社として祀られており社が築造されている。その際、削平を受けたのか、現在では墳丘は残っていない。

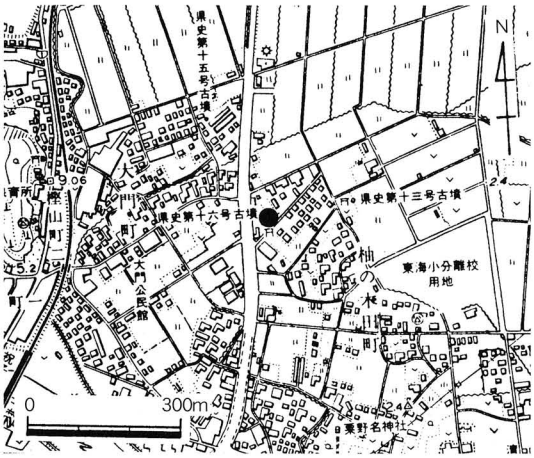


Fig.23　延岡古墳群第16号墳位置図（1/15,000）

遺跡周辺は近年、宅地開発が盛んに行われ、その影響から擂り鉢状の土地に変化し、台風等の雨水流入による被害が激しくなっている。

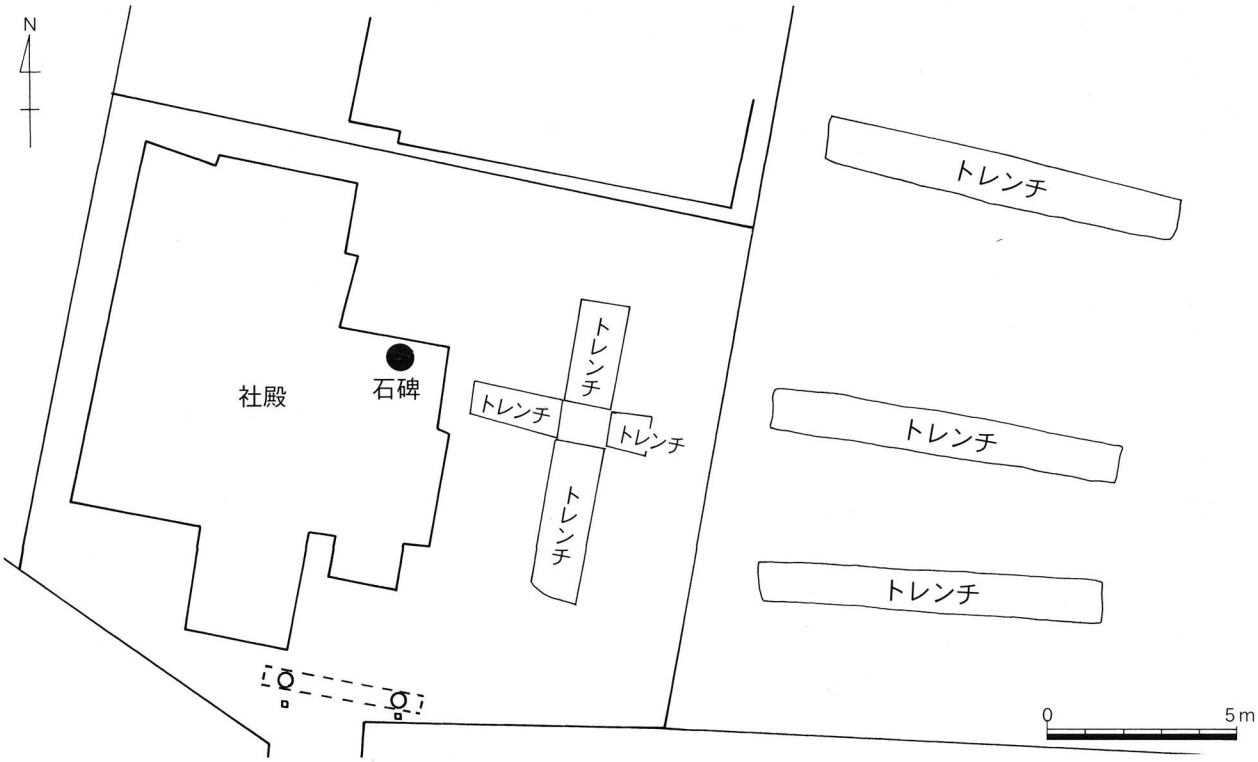


Fig.24　延岡古墳群第16号墳調査区配置図（1/200）

(2) 調査の概要

県文化課及び社所有者と協議を行い、社東のスペースにトレンチを設定し古墳の範囲確認及び遺構検出と土層観察に主眼をおき実施した。

結果、約15cmの客土確認し、その下層は砂の堆積層であった。一部樹木の攪乱はあったが、弥生土器、須恵器、土師器、中世の土器、陶磁器の破片が出土した。遺物の出土はあるものの、古墳の盛土、版築状況等は認められなかった。

調査中に県文化課と調査状況や今後の事業の取扱について協議を行った。その結果、古墳の範囲確認を神社東に広がる畑地の試掘調査を実施するととなった。

調査は、土地所有者と協議し休耕中に行うこととした。調査の方法は、神社に直行するトレンチを3本設定し実施した。

PL.15　延岡古墳群第16号墳調査風景

その結果、前回同様、耕作土下より砂層を確認し、弥生土器、須恵器、土師器、中世の陶磁器の破片が出土した。ここでも、古墳の盛土状況、範囲確認に至る結果は得られなかった。

また発掘調査の前に、御陵神社御神体の調査を行った。御神体は石碑を祀ってあり、石碑の建立は江戸時代のものであると思われた。文字が刻まれていたが、建物の下に鎮座されており正確な文字の確認ができなかった。

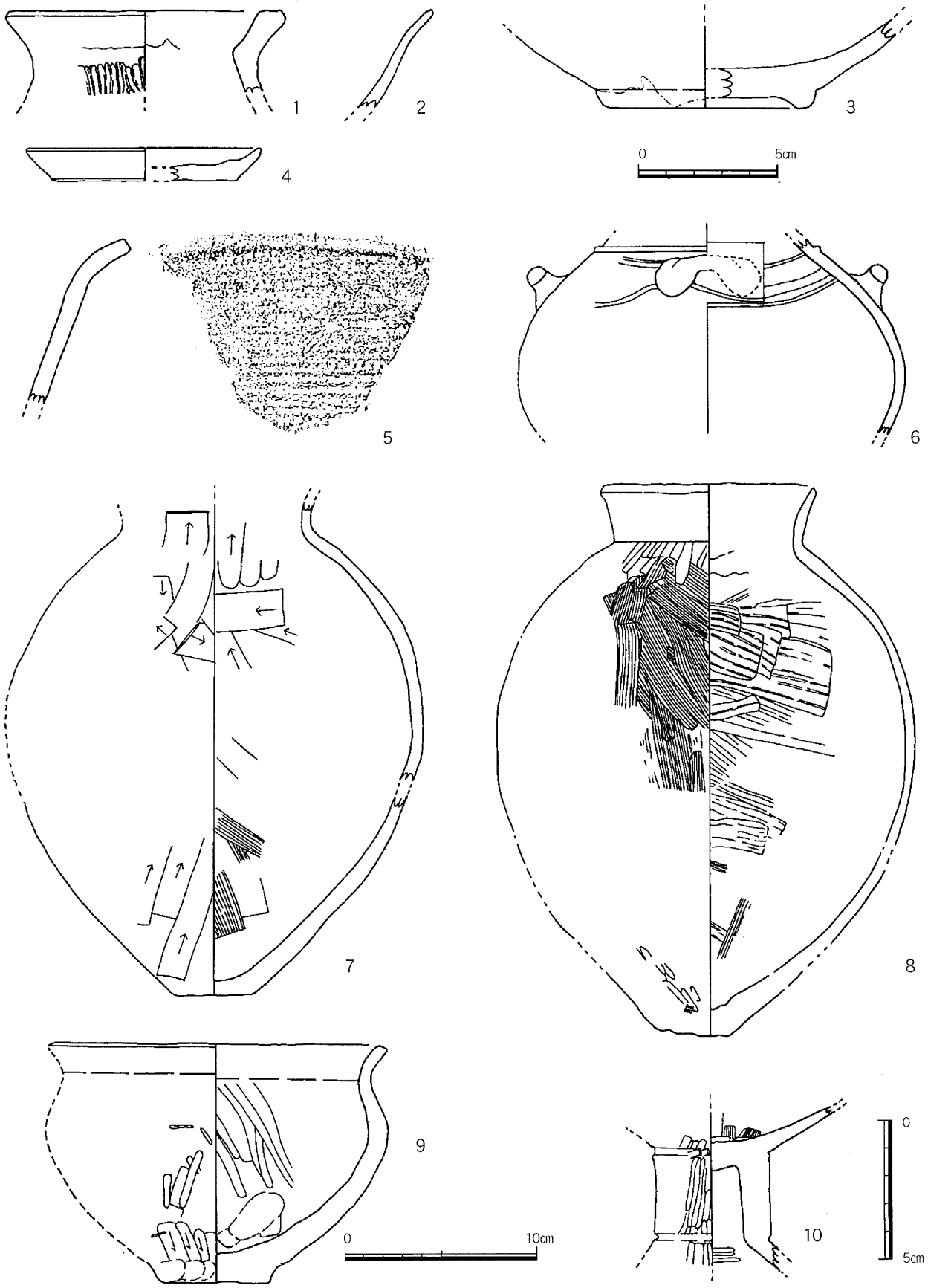
(3) 検出遺構

石碑

社下に祀ってある石碑を確認した。石碑の1/4程はコンクリートで固められていた。文字が刻まれていたが、社下であるため正確に読みとれなかったが、江戸時代のものと思われる。

(4) 出土遺物

調査から弥生時代～中世の遺物が出土している。1は古代の壷の口縁で、内外面風化が著しい。外面にはハケ目調整が施されている。2は白磁の碗で口縁部の一部が残存している。中国製のもので12～13Cのものと見られる。3は玉縁の白磁の碗である。中国製で12～13Cのものと見られる。高台の殆どは露胎であるが一部施釉されている。4は小形で浅い土師器の皿で、一部ススが付着している。底部はヘラ切りである。5は土師器の甕で、外面に工具による格子目のタタキ痕が残る。6は四耳壷で、肩に横形の耳を付す。破片のため耳の数は不明であるが、3～4個付くと思われる。肩部の外面にはヘラ描きの波状の沈線を有する。光沢のない緑色釉を外面に施す。7～9は弥生終末～古墳の土器である。7は壷で口縁部及び胴～底部が欠損している。胴部中央で最大径を測る。内面ナデと一部ハケ目、外面ハケ目調整である。8は壷で胴部～底部の約1/2が欠損している。胴部中央で最大径を測る。内外面丁寧なヘラミガキであるが、一部ナデ、ハケ目調整が施される。9は甕で約1/2が欠損している。胴部中央よりやや上部で最大径を測る。外面ナデ、底部に指押さえ痕、内面は指押さえ痕、ヘラ状工具による調整痕が見られる。10は土師



Ｆｉｇ．25　延岡古墳群第16号墳出土遺物実測図（１～４・10 - 1/2、５～９ - 1/3）

器の高坏で柱部が残存している。杯部及び脚部と柱部の繋ぎ部に一条の沈線が施されている。全体的に丁寧なヘラミガキ調整である。

(5) まとめ

16号墳を含む大門地区には5基の古墳が点在しており、社として祀られているが墳丘はすべて消滅している。今回の調査から古墳に伴う遺構等の確認が期待されたが、裏付ける結果は得られなかった。遺物も弥生終末から古墳時代のものが若干出土したものの、古代以降の遺物が多かった。古墳としては残存しないものの、包含層が確認されていることから、当該地の開発計画には慎重に対応しなければならない。

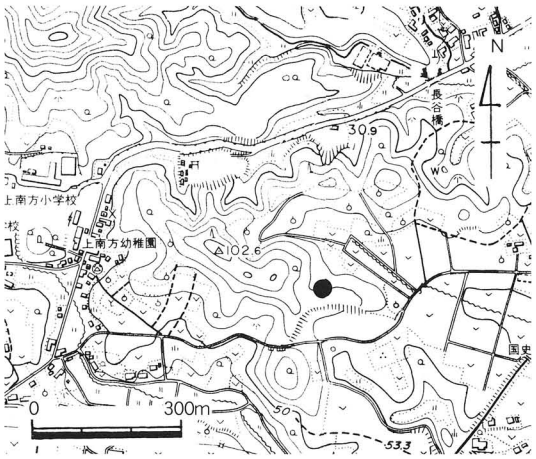
PL.16　延岡古墳群第16号墳出土遺物

4. 多々羅第１遺跡

所 在 地	延岡市舞野町1515-84	調査面積	45.0㎡
調査原因	携帯電話無線基地局建設	担 当 者	山田
調査期間	000523～000524	処　　置	調査後破壊

(1) 位置と環境

本遺跡は、舞野町西部に広がる丘陵地の周辺部に位置し、北側に面した傾斜地にあたる。対象地の北側丘陵は畑地造成が行われ、大きく地形が改変されている。一帯は、良好な畑地として土地利用が行われている。古くから表採資料が紹介されており、旧石器～古墳時代の複合遺跡として多々羅第1遺跡、赤木遺跡などの周知の埋蔵文化財蔵文化財包蔵地になっている。なかでも、本地域最初の本格調査となった赤木遺跡(第1次)は、瀬戸内技法の影響を受けたナイフ形石器群と細石器群の2文化層が確認され、東九州における指標遺跡として位置づけられている。また、本地区には東西方向に高千穂方面へ通じる往還道が残っており、現在の国道218号線開通までの主要道路でもあった。本地域では、近年になって移動体通信事業等による埋蔵文化財発掘調査が数回実施されており、対象地の北東約300mの赤木遺跡(第5・6次)ではナイフ形石器などの旧石器類が出土している。

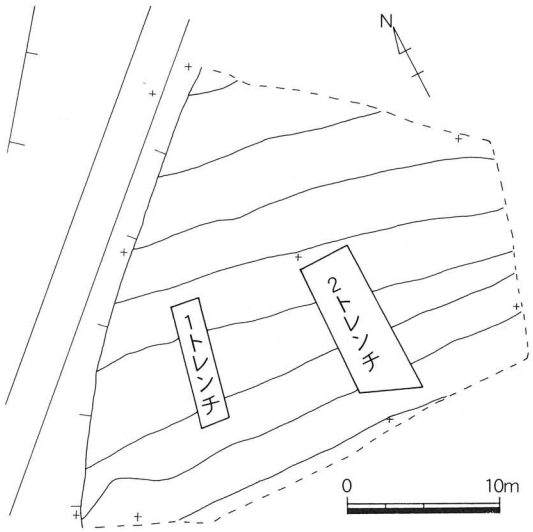


Ｆｉｇ．26　多々羅第１遺跡位置図（1/15,000）

ＰＬ．17　多々羅第１遺跡調査地近景

(2) 調査の概要

調査は、対象地が傾斜地になるため、傾斜に並行するようにトレンチを2カ所設定し、アカホヤ面を遺構検出面として実施した。調査の結果、表土下よりアカホヤが層厚20～40㎝確認されたが、遺構は検出されず、遺物についても、姶良丹沢火山灰層下まで掘り下げたが全く確認されなかった。



Ｆｉｇ．27　多々羅第１遺跡調査区配置図（1/500）

(3) 検出遺構

なし

(4) 出土遺物

なし

(5) まとめ

今回の調査では、地形的要因もあり遺構、遺物等は確認されていないが、近年の移動体通信事業の活性化と共に通信エリア拡大に伴う同様の開発事業が予想されることから、事業計画の早期把握や調査等の迅速な対応強化が必要になろう。

PL.18　多々羅第1遺跡2トレンチ土層断面

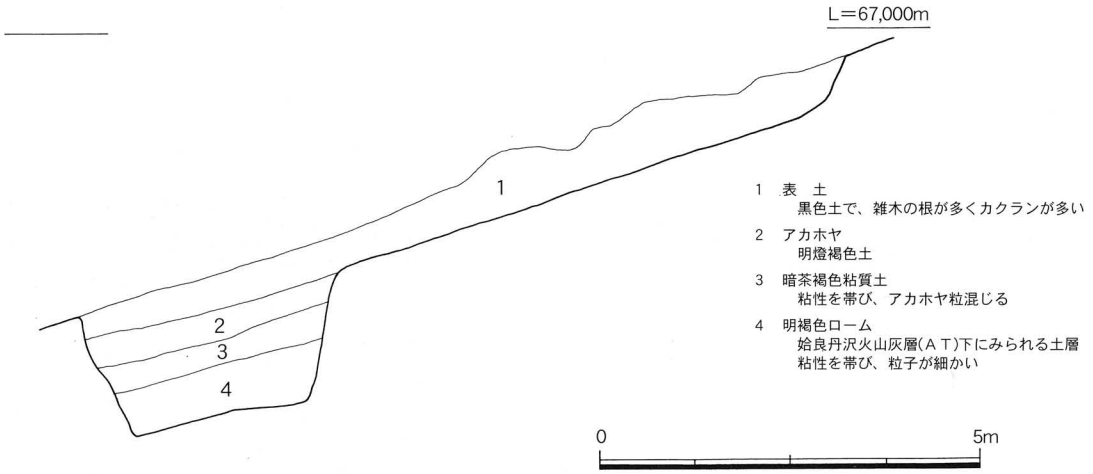


Fig.28　多々羅第1遺跡2トレンチ土層断面図（1/40）

5. 新宮遺跡

所 在 地	延岡市高千穂通3804-3	調査面積	9.6㎡
調査原因	駐車場・園路整備	担 当 者	高浦
調査期間	001016～001017	処　　置	調査後破壊

(1) 位置と環境

当遺跡は、延岡市の中心部、市街地を一望する今山の今山八幡神社社殿の西側丘陵に位置し、標高は約40mを測る。現在は山頂に鎮座する弘法大使像へ参拝するため社殿から園路が抜け、調査地である丘陵の大部分が掘削されている。

今山八幡宮は、延岡城鎮守社として崇敬されており、明暦2年(1656年)には時の藩主有馬安純が梵鐘を寄進している。この鐘に刻まれている銘に「日州延岡」の文字があり、延岡の名がみられる最古の史料である。

また、今山中腹には延岡地方において最古の寺院と考えられる善龍寺が創建されていたとされ、平成10年度に実施した確認調査で、基壇の痕跡が一部確認されている。

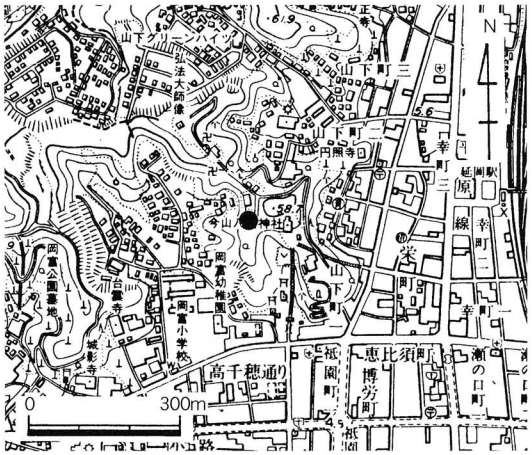


Fig.29　新宮遺跡位置図（1/15,000）

(2) 調査の概要

整備地の大部分が掘削を受けていることから、駐車場予定地に僅かに残っている旧地形地に2本のトレンチを設定し調査を行った。　表土の約20cm下から地山が検出された。

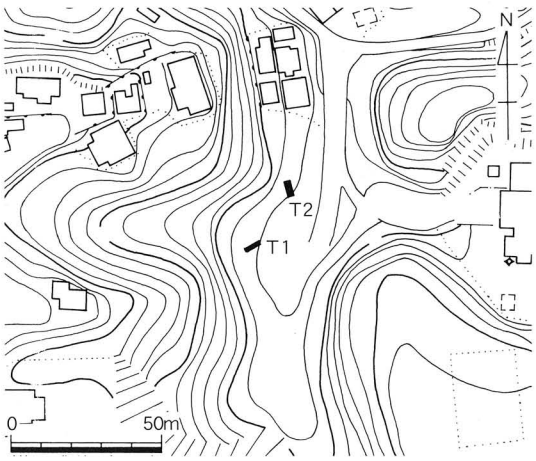


Fig.30　新宮遺跡調査区配置図（1/2,500）

(3) 検出遺構

なし。

(4) 出土遺物

なし。

(5) まとめ

今回の調査では、埋蔵文化財は確認されなかった。今山は、平成9年～15年にかけ公園整備事業が実施されることから、周辺に残る遺跡について慎重に対応を進めなければならない。

PL.19　新宮遺跡調査風景

吉野遺跡（第7次）

宮崎県北部農業共済組合

家畜診療所兼事務所建設に伴う発掘調査報告書

第1章 はじめに

第１節　調査に至る経緯

平成11年11月10日付で宮崎県北部農業共済組合より、延岡市吉野町1526番地について『文化財所在の有無について(照会)』があった。開発目的は家畜診療所兼事務所の建設であった。当地は埋蔵文化財包蔵地隣接地及び、付近の文化財発掘調査結果から当該地区において埋蔵文化財の所在が考えられたため確認調査を実施した。

確認調査（吉野遺跡第6次調査）は地権者の都合により、平成12年2月8日～同3月7日の期間で行った。調査地は丘陵尾根筋にあたり、南から北、東から西への傾斜を呈している。予定地内に7ヶ所のトレンチを設定し、遺跡の範囲確認と文化層の依存状況に主眼を置き実施した。土層の残りは概ね良好であったが、当該地区特有のアカホヤ火山灰は以前営まれていた耕作、樹木等の攪乱により流失していた。これにより調査地の基本層状は次のとおりである。第１層 耕作土(攪乱層)、第２層 褐色ローム、第３層 上位白斑ローム、第４層 姶良丹沢火山灰(ＡＴ)層、第５層 白斑ローム、第６層 黄白色粘質土。各トレンチの第１～３・５層から合計約200点の石器類が出土した。特に調査区内丘陵頂付近に設定したトレンチ1・2からは集中して石器が出土した。また、丘陵中腹に設定したトレンチ3からは住居跡2軒が検出された。樹木等の攪乱から住居下面付近のみの検出であったため、詳細については些か不明であるが、出土した遺物等から弥生終末から古墳初頭と見られる。付近を拡張して調査を行ったが、その他について発見はできなかった。

以上の結果から建設予定地内に埋蔵文化財が確認され、平成12年3月16日付延教文第78号『文化財所在の有無について(回答)』において協議を依頼した。協議の結果、石器の集中して出土した丘陵頂付近約175㎡を対象に本調査を行い、記録保存後に建設を行うこととなった。なお、年度末であったため本調査は12年度に行うことで合意した。

発掘調査（吉野遺跡第7次調査）は、平成12年4月25日～5月18日の期間で実施した。

ＰＬ.20　吉野遺跡（第７次）調査地近景

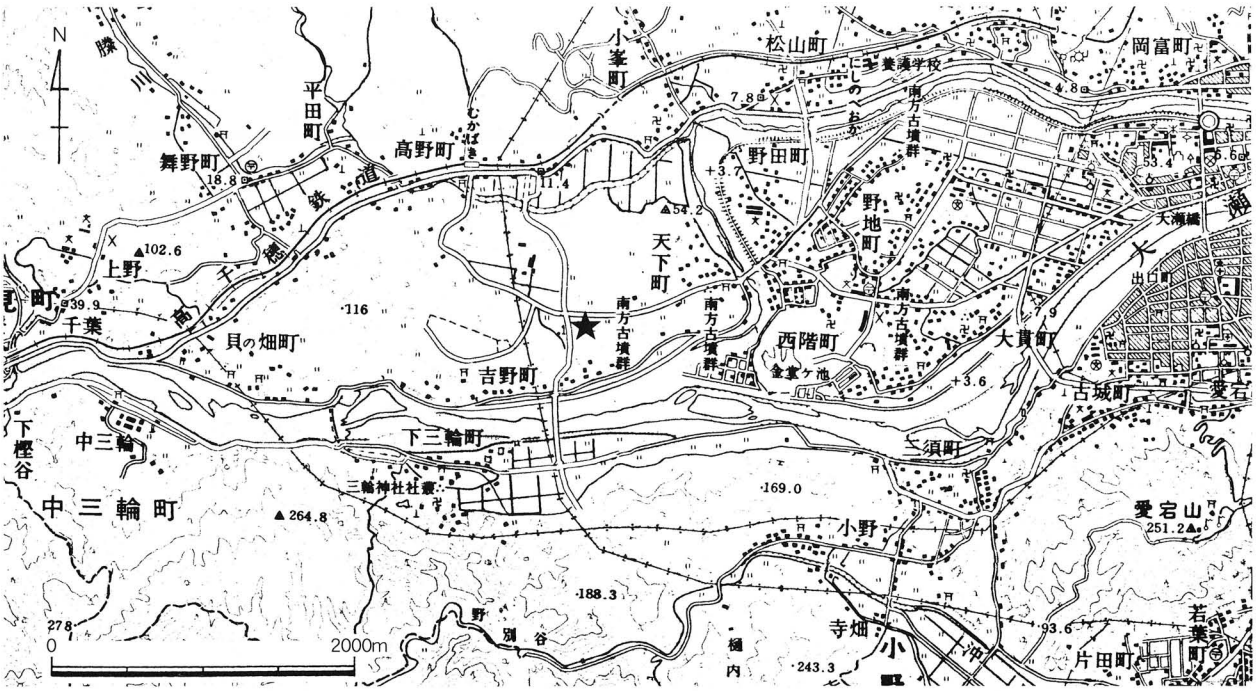
第２章　遺跡の概要

第１節　遺跡の立地

吉野遺跡は、延岡市吉野町に所在する。遺跡は行縢山(標高831m)から南東に派生する丘陵が、五ヶ瀬川に沿って東へ延びる平坦な台地の南端部に位置する。標高は約42mを測り、五ヶ瀬川との比高差は約35mの微高地である。ここからは県指定名勝の行縢山の頂が眺望できる。

遺跡のある吉野町は、市街地に近い未開発の地域であったが、平成3年に広域農道接続のための市道吉野天下2号線道路改良工事を契機に、県北地区念願であった4年制大学「九州保健福祉大学」建設(平成10年開学)、大学へ繋がる市道高野天下線道路改良工事等、開発の波が押し寄せている地域である。さらに、延岡市景気低迷の大きな要因であった道路問題に対し、高速道路整備計画が進められ、ここ吉野町の一部はこの路線上に位置している。このような背景の中、延岡市では企業誘致を目的とした工業団地「クレアパーク延岡」の造成を一部開始している。

このような付近の開発により遺跡の立地する丘陵は路線により分断され、独立した小丘陵となっている。



Ｆｉｇ．31　吉野遺跡（第７次）位置図（1/50,000）

第２節　遺跡の歴史的環境

吉野町付近の歴史的な環境をみると、旧石器時代から古墳時代の遺跡が多い。ここ吉野町と隣接する天下町、大瀬川と分岐した五ヶ瀬川を隔てた野地・野田地区、西部に位置する舞野町一帯には、国指定史跡南方古墳群が分布している。

吉野遺跡の周辺に展開する台地上には、南方古墳群吉野支群第11～16号墳(円墳6基)が分布している。また付近の歴史的調査は古い時期から行われており記録が残っている。

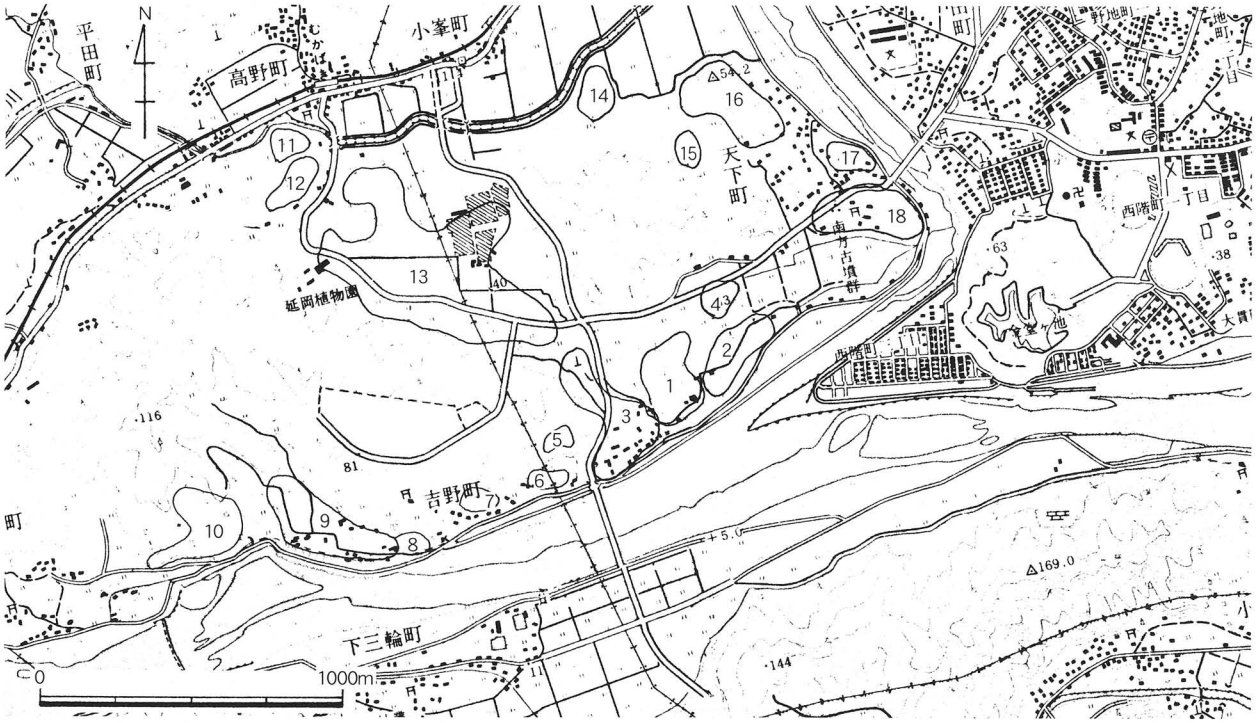
遺跡の南にある14号・15号墳は、大正14年東京帝国大学講師鳥居龍蔵氏により発掘調査された。

14号墳は現存径約22m、高さ約4mの円墳で、阿蘇溶結凝灰岩製の市内初となる舟形石棺が確認されている。蓋身の短辺両端には縄掛突起をもち、石棺内には成人男性が葬られていた。直刀2、鉄剣1、鉄鏃30が副葬されており、鉄鏃は二段逆刺鏃が数本含まれていたのが特徴である。棺外からは、蓋石の上に鏡を思わせる扁平な丸石、棺の下に刀剣、脇には砥石が置いてあるなど、注目される遺物の出土状態が報告されている。

遺跡の南西に広がる台地には、昭和初頃当時教員をしていた故有馬七蔵氏により表採が行われていた。記録によると、弥生土器・打製石器・石鏃・須恵器等採集したとある。「延岡附近神代遺蹟と傳説」からは、石斧・石匙・石鏃・石玉・アイヌ式土器・弥生式土器・同窯跡・石器製作所跡・是材料等あらゆる遺物豊富なりと記録が残っている。

また、遺跡の立地する丘陵は南西に延びていたが、平成3年市道天下吉野2号線道路改良により分断されている。この道路改良に伴う発掘調査により、吉野遺跡と同上の丘陵からは旧石器時代の石器、縄文時代の集石遺構、弥生時代の土壙墓、平安期の道路跡等の遺跡が確認されている。

以上、吉野遺跡周辺に所在する遺跡を中心に紹介したが、本遺跡周辺は開けた台地と五ヶ瀬川によって恵まれた環境にあり、先土器時代以降、各時代の遺跡が数多く点在しており、現在も畑作等の農耕が盛んな地域である。



1．吉野第２遺跡　2．鬼黒遺跡　3．吉野第１遺跡　4．船岩遺跡　5．角力田第３遺跡　6．角力田第２遺跡
7．角力田第１遺跡　8．中仙寺遺跡　9．上野原遺跡　10．下貝遺跡　11．高野貝塚　12．長谷遺跡
13．今井野遺跡　14．荒田遺跡　15．井ノ迫遺跡　16．天下城山遺跡　17．天下第２遺跡　18．天下第１遺跡（南方古墳群）

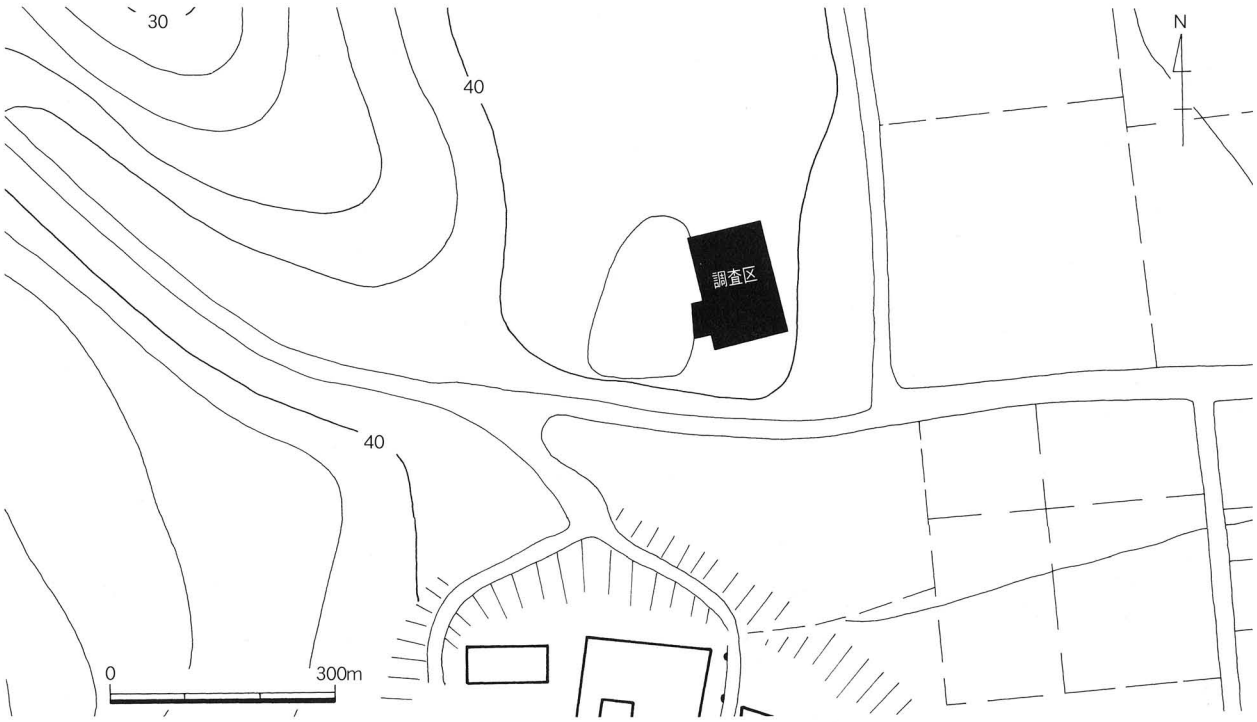
Ｆｉｇ．32　吉野遺跡（第７次）周辺遺跡分布図（1/25,000）

第３章　調査の概要

第1節　調査区の設定

確認調査の結果を基に、遺物の集中して出土した現存する丘陵頂付近、約175㎡を対象に調査を実施した。調査はグリッド法を採用し、5m×5mのグリッドを設定した。南→北にA～C、東→西に１～2の記号を付け、その交差による組み合わせで各グリッドの名称を付けた。

遺物出土位置の記録は、各グリッド内1m×1mの小グリッドに細分し、各小グリッドの中心点を原点とし、東西方向、南北方向それぞれにcm単位で計測し、1/20の図面に記録し



Ｆｉｇ．33　吉野遺跡（第７次）調査区配置図（1/1,000）

第2節　遺跡の層位

本遺跡では、おおよそ4層の遺物包含層が確認された。基本層序は以下のとおりである。

１層 黒色土(攪乱層)
２層 茶褐色土(褐色ローム)
３層 暗茶褐色土(上位白斑ローム)
４層 黄褐色土(姶良Tn火山灰)
５層 黒褐色土(白斑ローム)
６層 黄白色粘質土(地山)

１層～３層及び５層より、縄文早期～旧石器時代の遺物が出土した。

ＰＬ．21　吉野遺跡（第７次）土層堆積状況

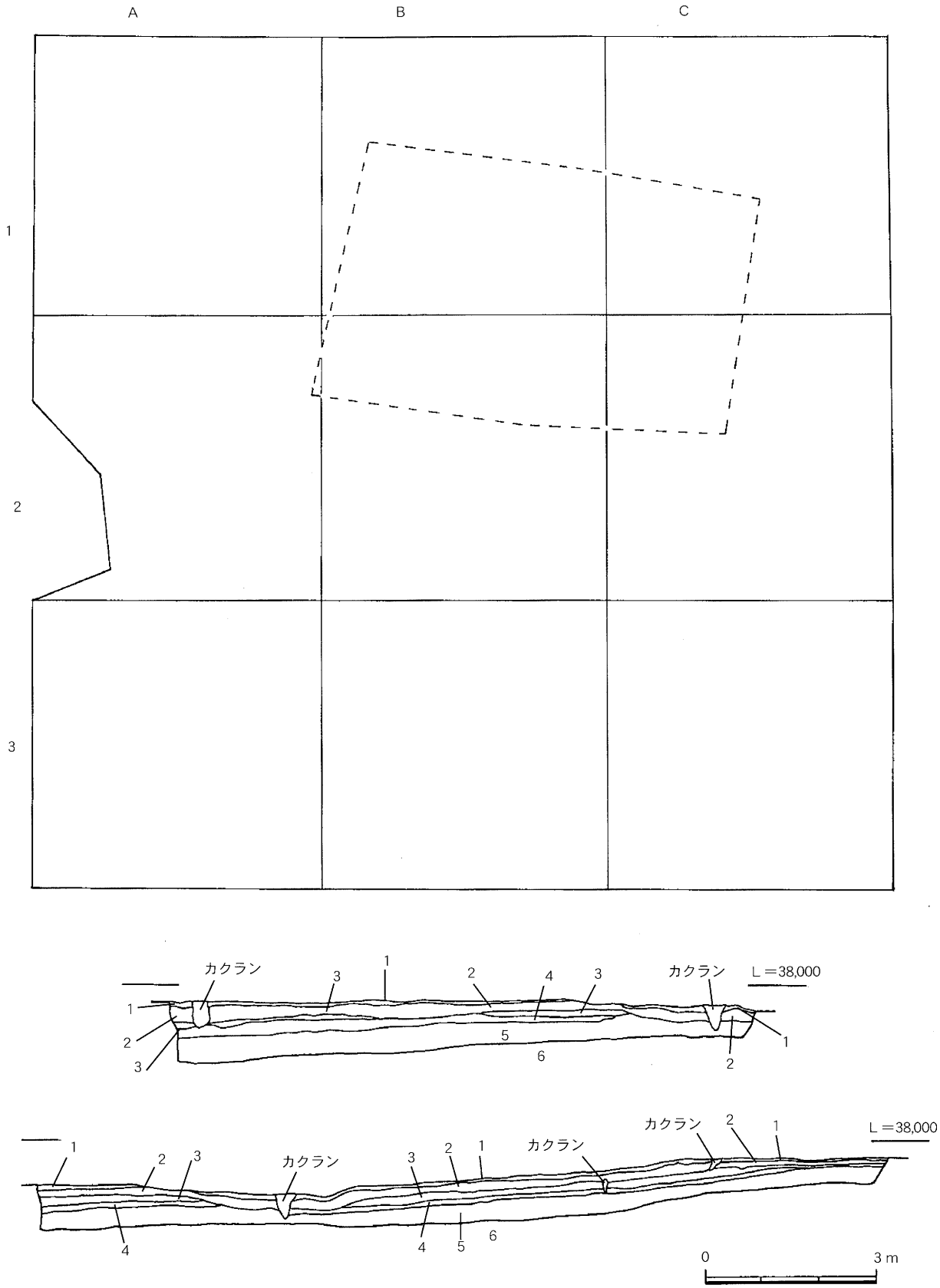


Fig.34　吉野遺跡（第７次）グリット図及び土層図（1/100）

第４章　調査の記録

第1節　旧石器時代の遺構と遺物

(1)　調査区概要

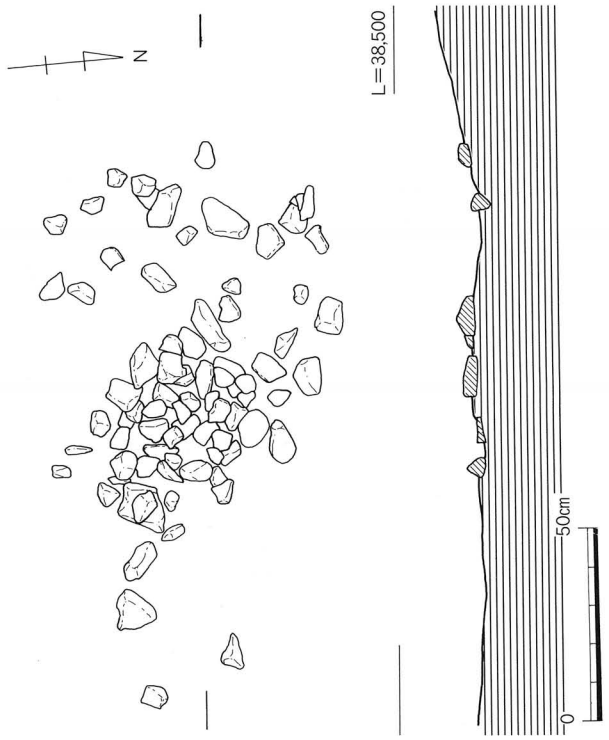
Ａ地区は調査区の東側で丘陵の尾根筋にあたり、南から北への緩やかな傾斜がみられる。Ａ2グリッドは巨木根により調査区が一部狭幅された。Ａ1グリッドは丘陵頂付近にあたるため、土層の堆積が不安定であった。Ａ1～Ａ3に向かい土層の堆積が厚くなっている。

Ｂ地区は調査区の西側で丘陵のやや斜面地にあたる。南から北、東から西への緩やかな傾斜がみられる。Ｂ1グリッドは巨木根により調査区が一部狭幅された。また、Ｂ1・2グリッドは、第6次(確認調査)調査で一部調査が行われている。丘陵斜面地付近にあたるため、土層の堆積がやや不安定であった。Ｂ1～Ｂ3に向かい土層の堆積が厚くなっている。

Ｃ地区は6次調査による地点である。東から西への緩やかな傾斜がみられる。

(2)　集石遺構

調査区北側にあたる、Ａ3グリッドの南東より検出された。第2層上位を基底面としており、遺構に伴う掘り込みの痕跡は認められなかった。構成する礫は10～15cm程度の拳大程の砂岩質円礫と砂砕礫を主としている。礫表面は赤変化していたが、基底面等に焼土の痕跡は確認できなかった。



Ｆｉｇ．35　吉野遺跡（第７次）集石遺構実測図（1/20）

ＰＬ．22　吉野遺跡（第７次）集石遺構検出状況

△細石刃　★ナイフ形石器　☆スクレイパー　石　核
○二次加工剥片　▽使用痕剥片　▽礫　器　●剥片・チップ・レキ
■敲　石　台　石　磨　石

Fig.36　吉野遺跡（第７次）出土遺物及び接合資料分布図（旧石器）（1/80）

(3) 出土遺物

A地区で238点、B地区で188点、C地区で8点の合計434点の石器を取り上げている。

グリッド別では、A1グリッド99点、A2グリッド135点、A3グリッド4点、B1グリッド76点、B2グリッド88点、B3グリッド24点、C1グリッド4点、C2グリッド4点である。

層序的に見ると2層上面から5層にかけて出土している。

ナイフ形石器 (Fig.37)

5　A1グリッドより出土している。接合するため接合資料で報告する。

126　A2グリッドより出土している。頁岩製で幅広の剥片を素材とし、一側縁にのみブランティングが施されている。加工は主要剥離面より行われているが、基部のみ背面からも認められる。

132　A2グリッドより出土した、流紋岩製の切出形ナイフである。ブランティングが主要剥離面より施されている。

194　A2グリッドより出土した、流紋岩製の切り出し形ナイフで、ブランティングが主要剥離面より施されており、先端部では一部背面からも認められる。

剥片尖頭器 (Fig.37)

347　B2グリッドより出土している。流紋岩製で主要剥離面より両側縁に加工を施し、基部を作り出している。

二次加工剥片 (Fig.37)

256　B1グリッドより出土。石材は流紋岩で、上面から右側縁及び下縁にかけて二次的な加工が認められる。打面は消失している。

使用痕剥片 (Fig.37)

205　A2グリッドより出土している。石材は流紋岩である。右側縁に微少剥離痕が認められる。左側面には一部自然面を残す。

敲石 (Fig.38)

380　B2グリッドより出土している。砂岩製である。

石核 (Fig.38、39)

250　B1グリッドより出土した流紋岩の石核。上面を打面とし一定方向に加撃を与え剥片を作出している。

395　B2グリッドより出土した流紋岩の石核。上面を打面とし一定方向に加撃を与え剥片を作出した後、打面を転移し下面より剥片を作出している。

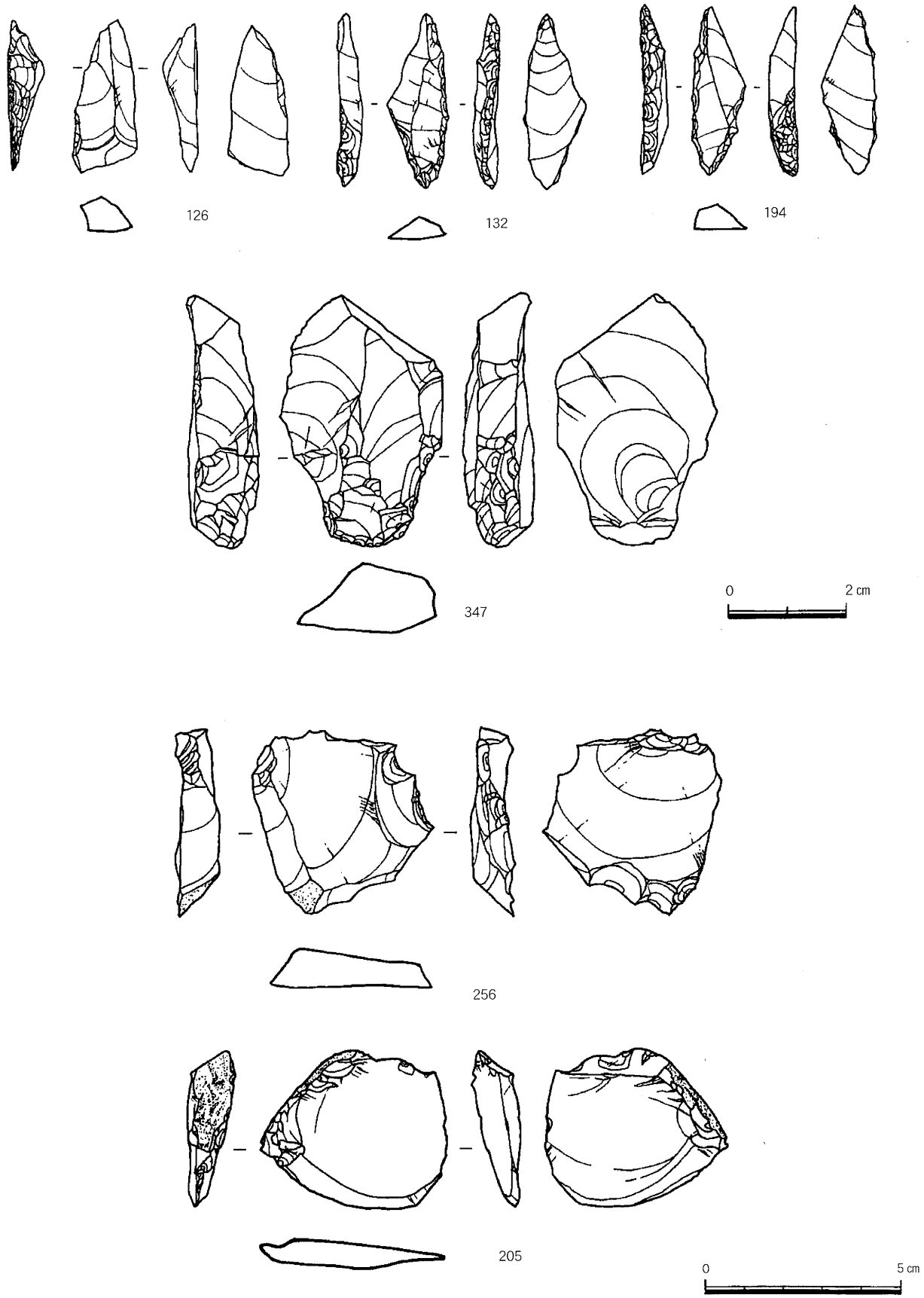


Fig.37　吉野遺跡（第７次）出土遺物実測図１（126～347 - 1/1、256・205 - 2/3）

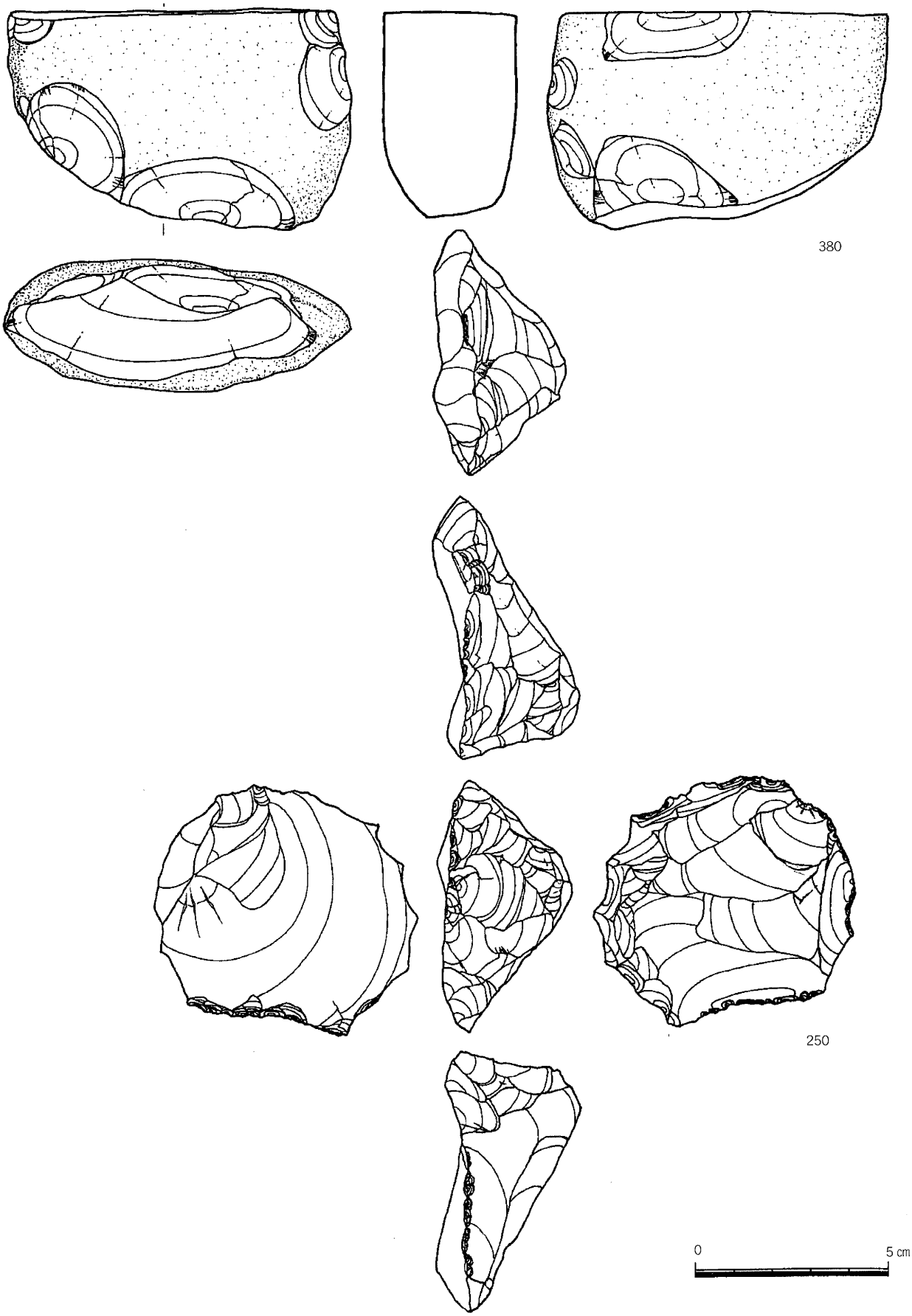


Fig.38　吉野遺跡（第７次）出土遺物実測図２　(2/3)

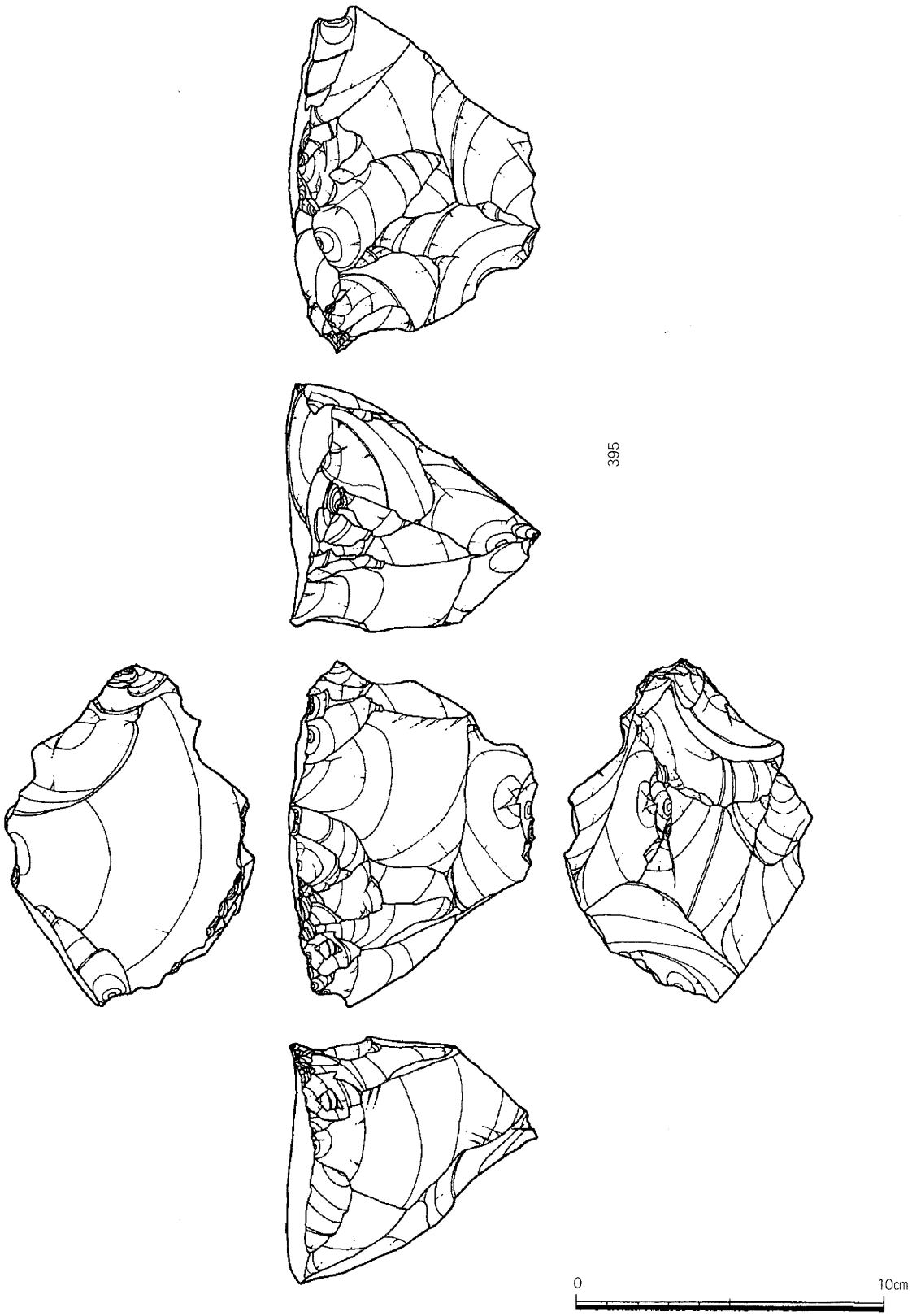


Fig.39　吉野遺跡（第７次）出土遺物実測図３　（1/2）

第２節　接合資料

6次調査で取り上げたものを含め、本遺跡では16個体の接合資料が得られた。資料の点数としては、48点を数える。このうち、2点接合が6個体、3点接合が8個体、5点接合が1個体、7点接合が1個体であった。ここでは7個体、石器点数26点を図示する。

① 2点接合 (Fig.40)

234は7次調査で出土しＡ2グリッドにあたる。267は6次調査で出土し、Ｂ1グリッドにあたる。流紋岩製の細石刃である。

② 3点接合 (Fig.40)

すべてＢ3グリッドより出土している。石材は流紋岩で、剥片の接合資料である。418を剥離させ、同一打面より406を剥離させている。

③ 3点接合 (Fig.41)

5は7次調査で出土しＡ1グリッドにあたる。261、262は6次調査で出土し、Ｂ1グリッドにあたる。石材は頁岩で、石核とナイフ形石器が接合した資料である。レキを分割した後、262を剥離し、その後打面を転移させ5を剥離させている。5は261の作出面から、不定形の剥片であったと思われ、その素材の主要剥離面より加工を施し、一側縁加工のナイフを作出している。262は一端に打面調整を行い、剥片を一枚剥離させた様子が伺える。

④ 3点接合 (Fig.42)

372、376はＢ2グリッド、409はＢ3グリッドより出土している。石材は流紋岩で、自然面を残す剥片の接合資料である。409を剥離させた後、打面を転移させ376を剥離させている。372 は376を加工しようとし剥離させたのではないかと思われる。

⑤ 3点接合 (Fig.43)

すべてＢ2グリッドより出土している。石材は流紋岩で、剥片の接合資料である。打面を設定し、一定方向に加撃を加え、縦長の剥片を連続的に作出している。

⑥ 5点接合 (Fig.44)

すべて6次調査で出土している。254、259、260、269はＢ1グリッド、432はＣ2グリッドより出土している。石材は頁岩で剥片3点、残核2点の接合資料である。分割した礫のセツリ面を打面と設定し、横長の剥片を作出した後、連続して432、254＋269を剥離させている。254＋269は作出した際セツリにより分割されたと思われる。また、残核についても打面調整を行う際、セツリにより分割されたと思われる。

⑦ 7点接合 (Fig.45)

308はB1グリッド、その他すべてA1グリッドより出土している。石材はホルンフェルスで、剥片の接合資料である。打面を設定し、308、30の剥片を作出している。その後、打面を90度回転させ、18、7、72、16、21と連続した剥離を行っている。

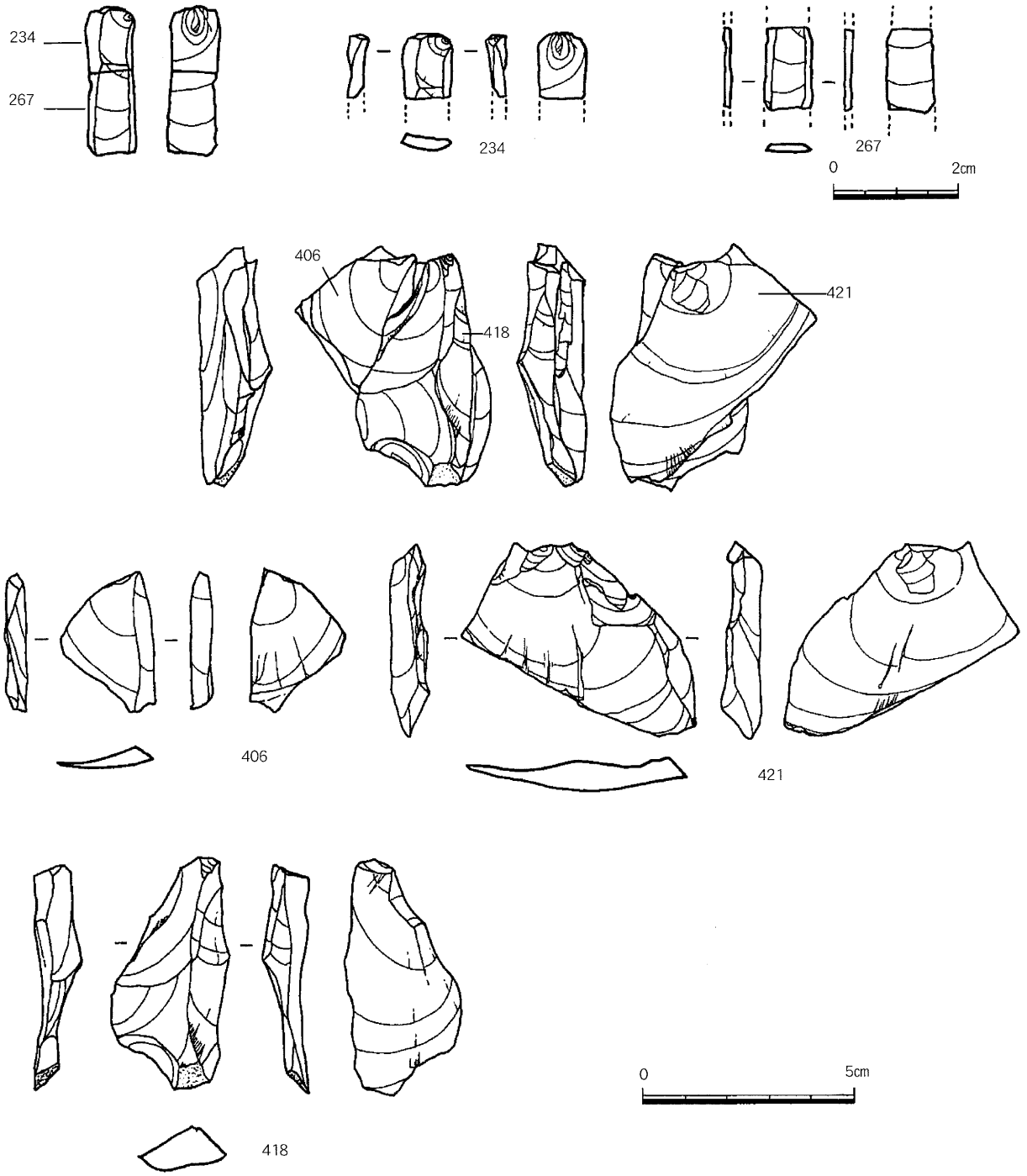


Fig.40 吉野遺跡（第７次）接合資料実測図１（1/1、2/3）

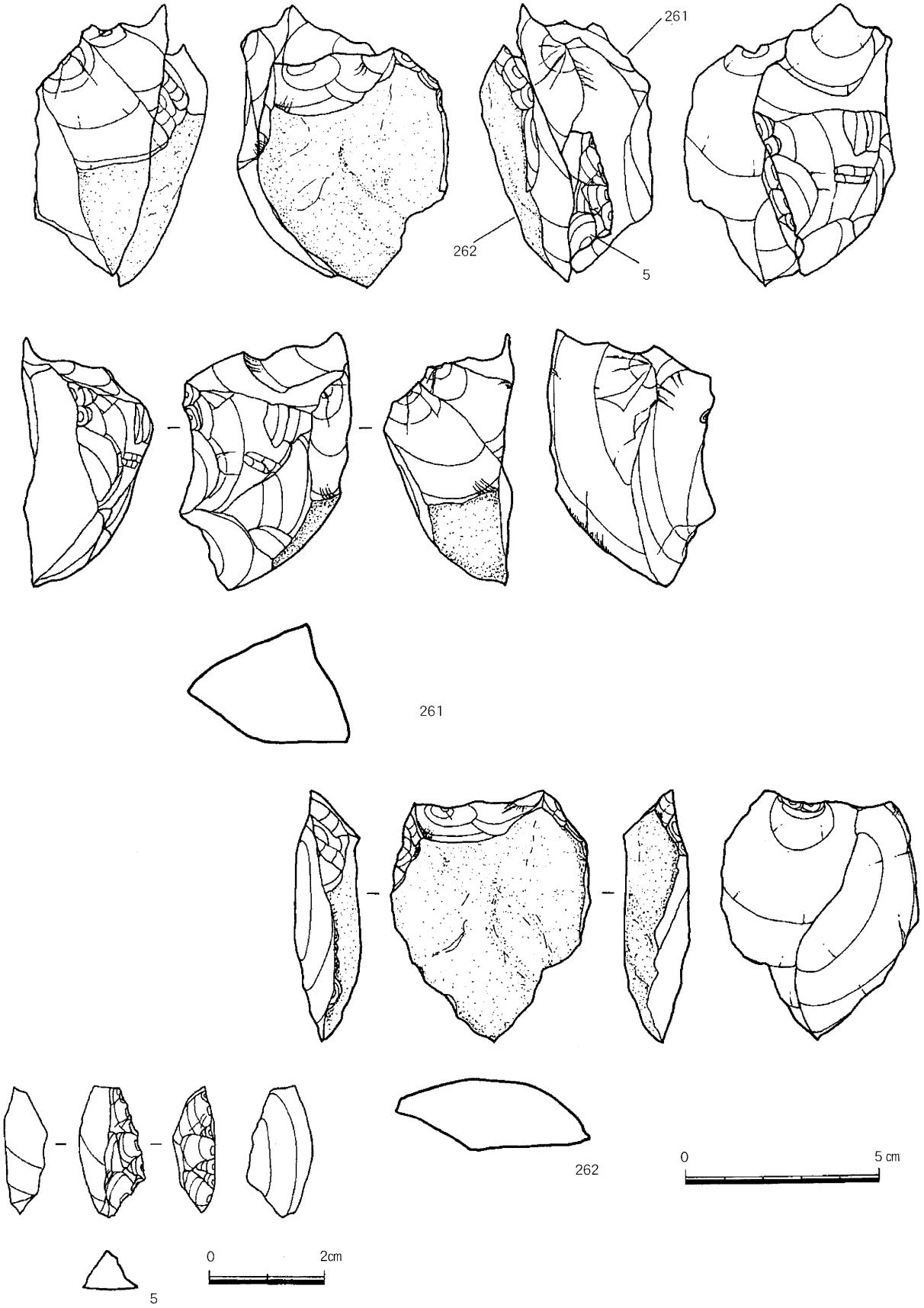


Fig.41　吉野遺跡（第７次）接合資料実測図２（5 - 1/1、2/3）

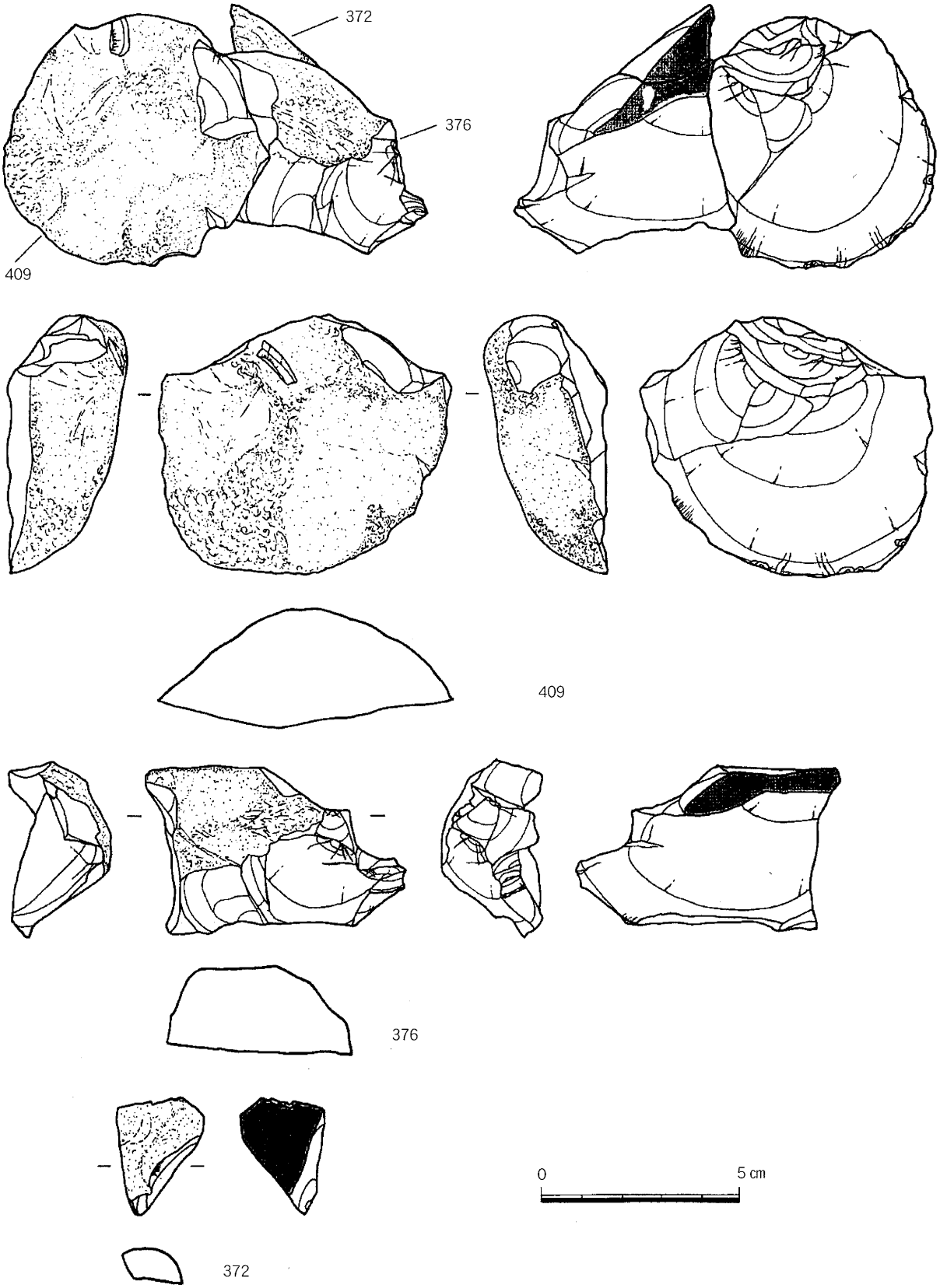


Fig.42　吉野遺跡（第７次）接合資料実測図３（2/3）

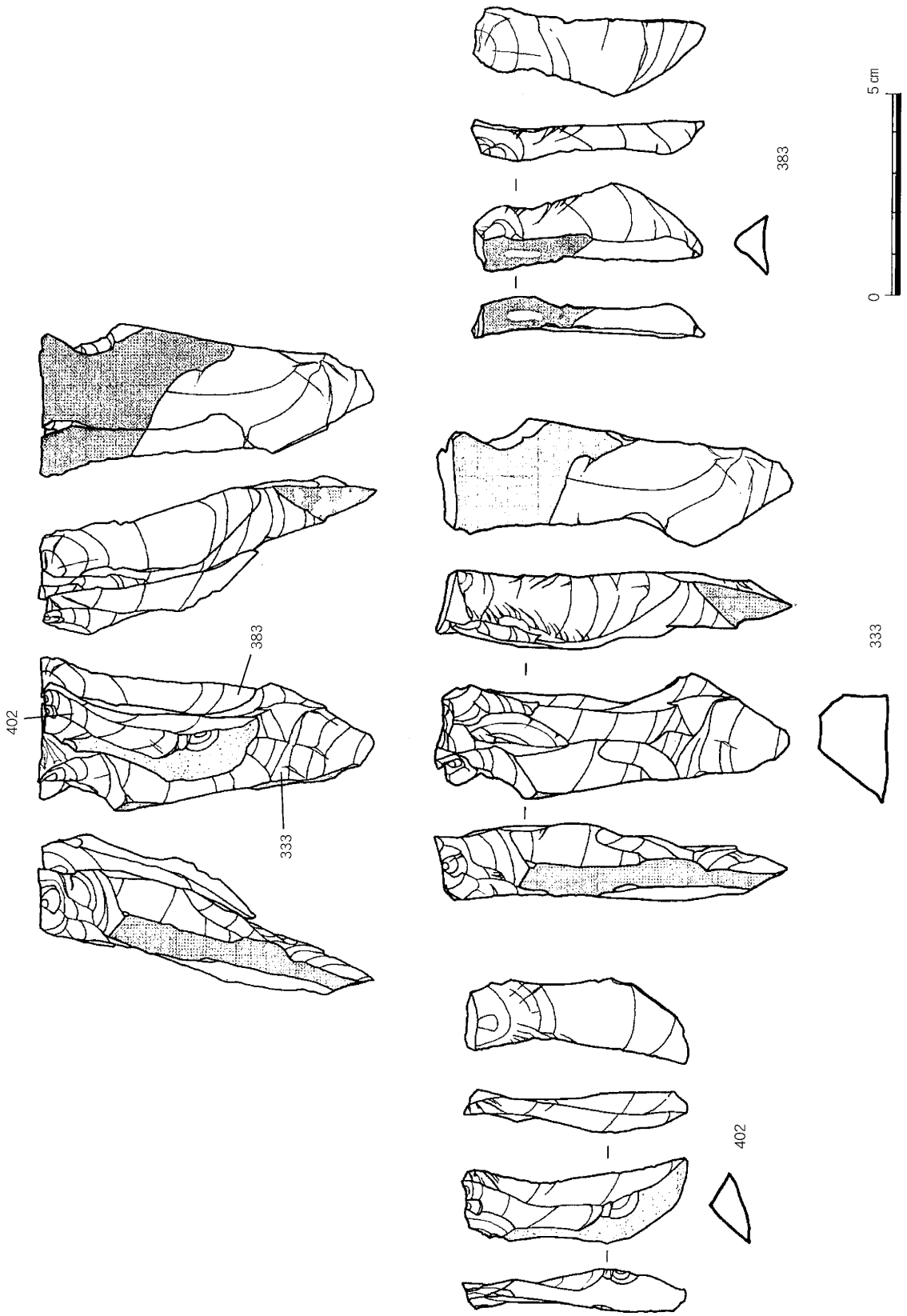


Fig.43　吉野遺跡（第７次）接合資料実測図４（2/3）

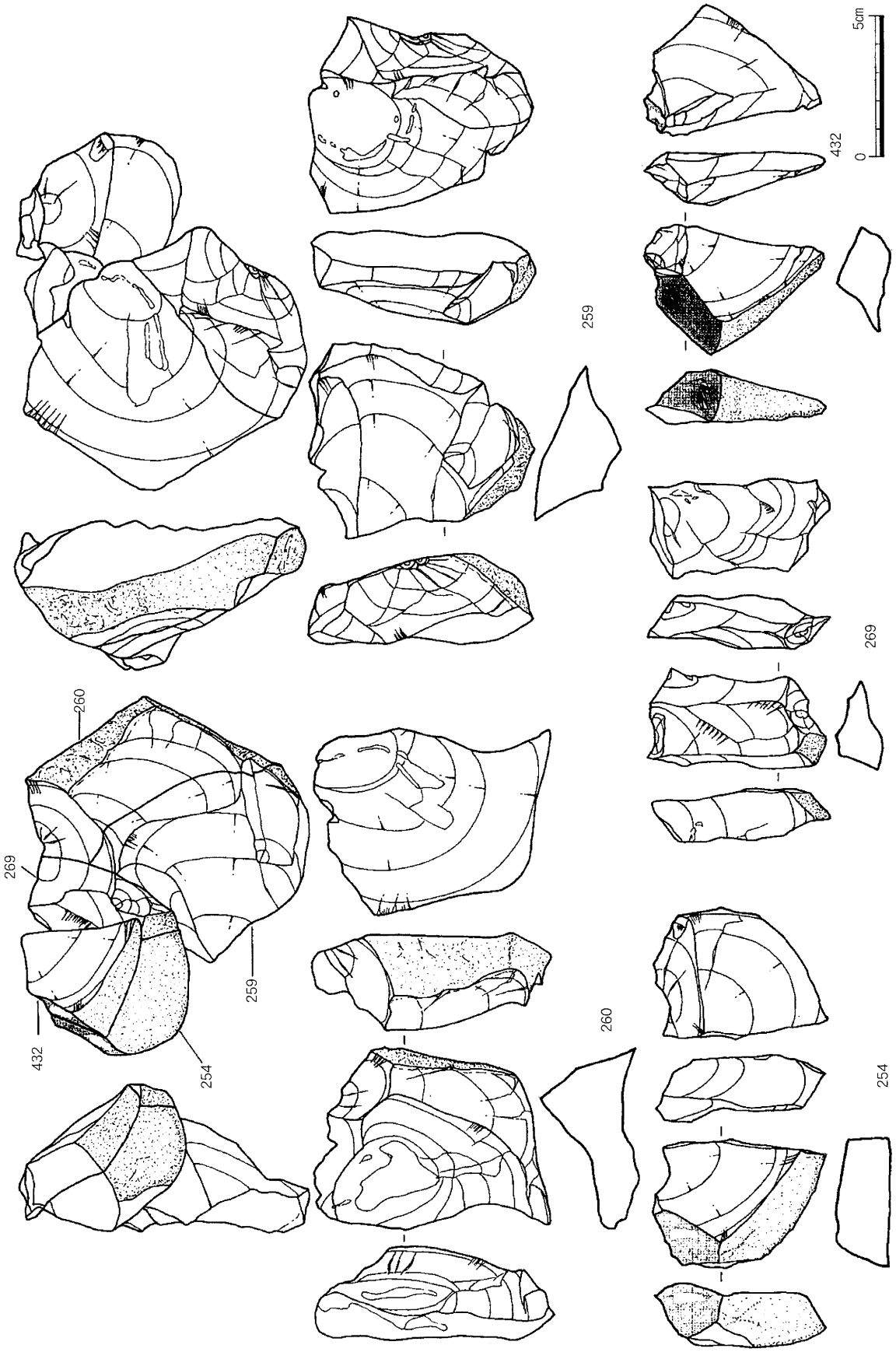
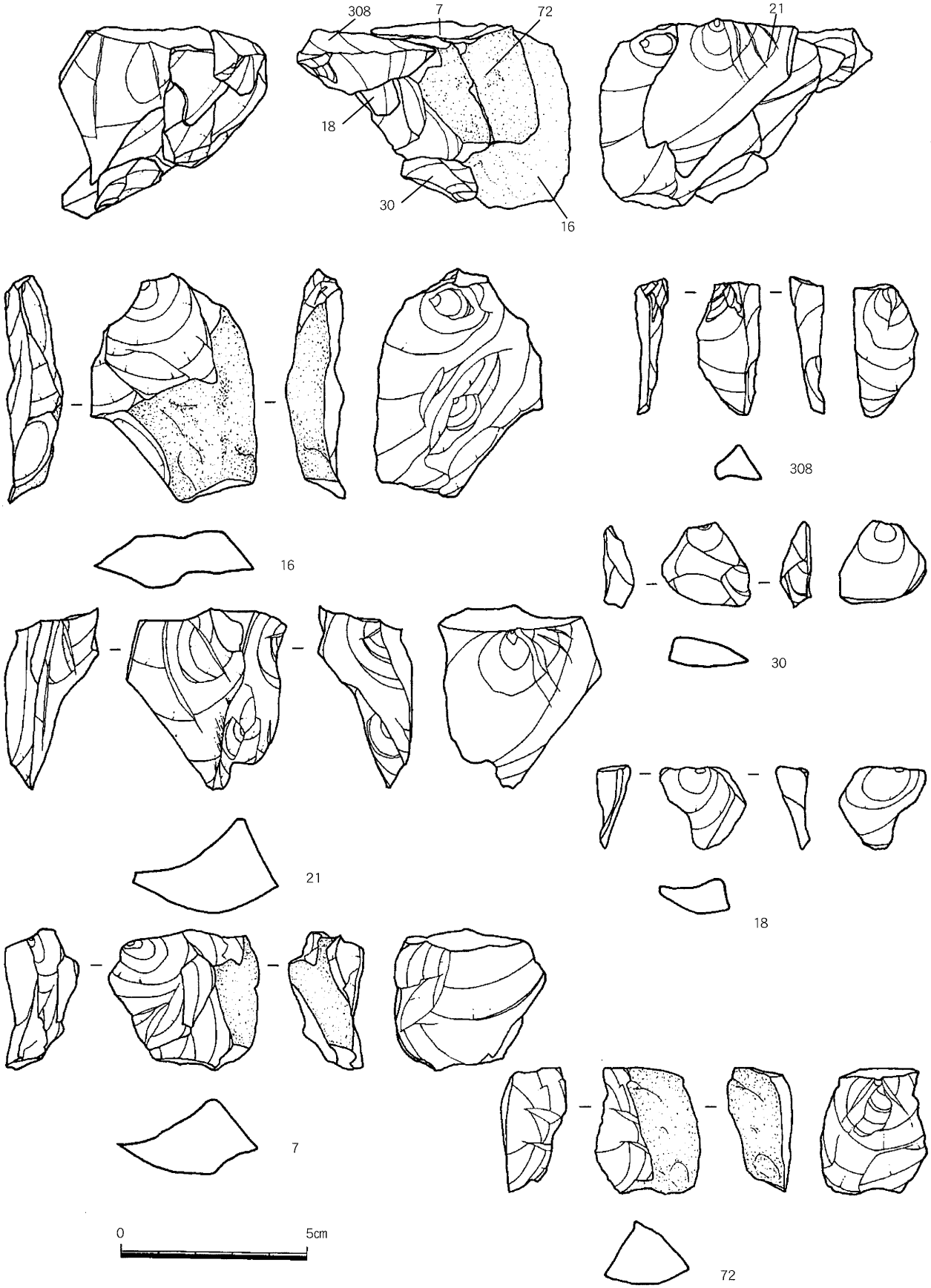


Fig.44　吉野遺跡（第７次）接合資料実測図５（1/2）



Ｆｉｇ．45　吉野遺跡（第７次）接合資料実測図６（2/3）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
1	A 1	剥　片	②	38.965	1.1	0.6	0.1	1	チャート		
2	A 1	剥　片	②	38.938	3.2	3.1	1.2	7.5	頁　　岩	42	
3	A 1	剥　片	②	38.965	2.3	1.2	0.4	0.8	頁　　岩		
4	A 1	剥　片	②	38.976	1.2	6.4	1.2	2	チャート		
5	A 1	ナイフ形石器	②	38.928	3.4	1.7	1.1	4.2	頁　　岩	261,262	実
6	A 1	レキ片	②	38.93	2.5	2.3	1.5	7.5	—		
7	A 1	剥　片	⑤	38.914	3.8	4	2.1	25	ホルンフェルス	16,18,21,30,72,308	実
8	A 1	チップ	②	38.918	1	1.9	0.3	0.4	チャート		
9	A 1	剥　片	②	38.897	1.2	1.6	0.2	0.8	流 紋 岩		
10	A 1	剥　片	②	38.915	2.1	0.8	0.6	1.9	チャート		
11	A 1	剥　片	②	38.926	5.6	2.6	0.9	12.5	ホルンフェルス		
12	A 1	剥　片	②	38.962	7.5	6.6	1.9	100	ホルンフェルス		
13	A 1	剥　片	②	38.808	1.7	2.2	0.2	0.8	流 紋 岩		
14	A 1	レキ片	②	38.81	2.2	1.9	1	6.2	チャート		
15	A 1	剥　片	②	38.884	1.4	1.4	0.2	0.4	チャート		
16	A 1	剥　片	②	38.94	6	4.4	1.6	35	ホルンフェルス	7,18,21,30,72,308	実
17	A 1	剥　片	②	38.89	2	1.6	0.4	1	流 紋 岩		
18	A 1	剥　片	②	38.839	2.2	2.3	0.8	2.5	ホルンフェルス	7,16,21,30,72,308	実
19	A 1	剥　片	⑤	38.875	1.1	1	0.2	0.2	流 紋 岩		
20	A 1	剥　片	③	38.901	4.6	2.3	0.8	7.5	流 紋 岩		
21	A 1	剥　片	③	38.928	4.9	4.3	2.3	32.5	ホルンフェルス	7,16,18,30,72,308	実
22	A 1	剥　片	⑤	38.784	1.4	2	0.4	1.1	チャート		
23	A 1	剥　片	③	38.834	4.7	2.3	0.8	7.5	流 紋 岩		
24	A 1	チップ	⑤	38.727	0.8	0.9	0.1	0.1	チャート		
25	A 1	チップ	⑤	38.732	1	0.8	0.1	0.1	チャート		
26	A 1	レ　キ	⑤	38.773	10.8	7.6	4	500	—		
27	A 1	剥　片	③	38.807	3.6	1.8	0.6	2.3	ホルンフェルス	52,99	
28	A 1	剥　片	⑤	38.717	1.9	1.4	0.3	0.7	チャート		
29	A 1	剥　片	⑤	38.714	2.3	3	0.2	1.5	流 紋 岩		
30	A 1	剥　片	⑤	38.703	2.2	2.3	0.7	5	ホルンフェルス	7,16,18,21,72,308	実
31	A 1	剥　片	⑤	38.7	3.1	2.3	0.6	3.3	チャート		
32	A 1	剥　片	③	38.807	2.4	1.4	0.7	1.5	流 紋 岩		
33	A 1	剥　片	⑤	38.749	1.7	1.1	0.2	0.2	チャート		
34	A 1	剥　片	⑤	38.76	1.5	1.2	0.2	0.2	頁　　岩		
35	A 1	剥　片	⑤	38.744	2.9	1.6	0.9	6	チャート		
36	A 1	剥　片	⑤	38.785	3	2.3	0.9	10	流 紋 岩		
37	A 1	剥　片	⑤	38.878	2.3	2	0.5	1.4	流 紋 岩		
38	A 1	剥　片	⑤	38.887	1.5	0.9	0.2	0.5	チャート		
39	A 1	剥　片	⑤	38.825	1.6	1.1	0.3	0.2	頁　　岩		
40	A 1	剥　片	⑤	38.871	2.3	1.5	0.5	1.5	チャート		
41	A 1	剥　片	⑤	38.872	1.6	1.3	0.2	0.4	チャート		
42	A 1	剥　片	⑤	38.863	2.7	2.4	0.2	2	頁　　岩	2	
43	A 1	チップ	③	38.94	1.8	0.9	0.2	0.2	頁　　岩		
44	A 1	剥　片	⑤	38.822	1.7	1.3	0.2	0.3	流 紋 岩		
45	A 1	剥　片	⑤	38.817	3.9	3.9	0.5	10	頁　　岩		
46	A 1	剥　片	⑤	38.86	5.4	4.8	0.9	17.5	流 紋 岩		
47	A 1	チップ	⑤	38.793	0.8	0.5	0.2	0.1以下	流 紋 岩		
48	A 1	チップ	③	38.824	1.1	1	0.1	0.1	頁　　岩		
49	A 1	チップ	③	38.812	0.8	0.6	0.1	0.1以下	流 紋 岩		
50	A 1	剥　片	⑤	38.745	1.6	2.4	0.5	1.6	頁　　岩		
51	A 1	チップ	⑤	38.773	1.5	1.1	0.2	0.2	頁　　岩		
52	A 1	剥　片	③	38.658	2.5	1.5	0.5	2	ホルンフェルス	27,99	
53	A 1	剥　片	⑤	38.695	3.6	1.6	0.6	3.1	流 紋 岩		
54	A 1	チップ	⑤	38.7	1.3	1	0.2	0.3	流 紋 岩		
55	A 1	レキ片	⑤	38.707	1	1	0.4	0.3	—		

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表１（旧石器）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
56	A 1	剥　片	⑤	38.685	3.7	2.2	0.8	5	ホルンフェルス		
57	A 1	剥　片	⑤	38.737	3.1	1.5	0.4	1.5	頁　　岩		
58	A 1	剥　片	⑤	38.719	1.6	2	0.3	1.1	流 紋 岩		
59	A 1	チップ	⑤	38.755	0.8	0.5	0.2	0.1以下	頁　　岩		
60	A 1	剥　片	⑤	38.754	1.4	1.4	0.3	0.5	頁　　岩		
61	A 1	チップ	⑤	38.739	1.1	1.2	0.2	0.2	チャート		
62	A 1	剥　片	③	38.855	1.6	1.2	0.2	0.5	チャート		
63	A 1	剥　片	③	38.908	2.1	1.3	0.3	0.6	チャート		
64	A 1	剥　片	⑤	38.775	2.7	3.1	0.4	2	頁　　岩		
65	A 1	剥　片	⑤	38.773	1	1.3	0.2	0.3	流 紋 岩		
66	A 1	剥　片	③	38.774	2.2	1.8	0.5	0.9	頁　　岩		
67	A 1	剥　片	③	38.774	4.8	2.9	4.8	7.5	流 紋 岩		
68	A 1	チップ	⑤	38.793	0.5	1.2	0.2	0.1	頁　　岩		
69	A 1	チップ	⑤	38.765	1.4	0.8	0.1	0.1	チャート		
70	A 1	レキ片	③	38.974	8.6	6.3	3.2	192.5	チャート		
71	A 1	剥　片	⑤	38.904	3.3	2.3	1.1	5	頁　　岩		
72	A 1	剥　片	⑤	38.837	3.4	2.8	1.4	15	ホルンフェルス	7,16,18,21,30,308	実
73	A 1	剥　片	⑤	38.85	2.4	2.4	0.4	1.5	流 紋 岩		
74	A 1	剥　片	⑤	38.815	2.4	1.5	0.3	0.8	流 紋 岩		
75	A 1	剥　片	⑤	38.772	2.5	1.8	0.7	2.1	流 紋 岩		
76	A 1	剥　片	⑤	38.774	3.2	2.6	0.4	2.5	流 紋 岩		
77	A 1	チップ	⑤	38.71	1.2	0.5	0.3	0.1	流 紋 岩		
78	A 1	チップ	③	38.692	0.7	0.7	0.2	0.1	流 紋 岩		
79	A 1	チップ	③	38.72	0.8	0.8	0.2	0.1	流 紋 岩		
80	A 1	チップ	⑤	38.747	0.8	0.7	0.1	0.1以下	流 紋 岩		
81	A 1	剥　片	⑤	38.688	2.6	1.2	0.1	0.3	流 紋 岩		
82	A 1	チップ	⑤	38.69	1	0.7	0.4	0.2	流 紋 岩		
83	A 1	剥　片	⑤	38.6	2.6	2.9	0.7	2.5	流 紋 岩		
84	A 1	剥　片	③	38.731	3.1	3.1	0.7	7.5	流 紋 岩		
85	A 1	剥　片	③	38.647	1.4	0.9	0.2	0.2	流 紋 岩		
86	A 1	剥　片	③	38.74	2.1	1.7	0.5	1.7	ホルンフェルス		
87	A 1	チップ	③	38.708	1	0.7	0.2	0.1	流 紋 岩		
88	A 1	剥　片	③	38.705	3.1	3.2	0.8	7.5	流 紋 岩		
89	A 1	剥　片	⑤	38.659	4.2	2.6	2.7	3.3	流 紋 岩		
90	A 1	チップ	⑤	38.63	0.7	0.8	0.1	0.1以下	流 紋 岩		
91	A 1	剥　片	⑤	38.696	1	2	0.2	0.6	流 紋 岩		
92	A 1	剥　片	⑤	38.638	1.6	1.6	0.2	0.5	頁　　岩		
93	A 1	剥　片	⑤	38.65	3.9	1.7	1.7	3.2	頁　　岩		
94	A 1	剥　片	⑤	38.579	1.6	1.1	0.2	0.3	頁　　岩		
95	A 1	剥　片	⑤	38.579	2.1	2.2	0.4	0.8	頁　　岩		
96	A 1	剥　片	⑤	38.529	2.4	0.9	0.4	0.9	流 紋 岩		
97	A 1	剥　片	⑤	38.491	1.5	0.9	0.2	0.2	流 紋 岩	225,230	
98	A 1	チップ	⑤	38.468	0.9	1	0.2	0.1	流 紋 岩		
99	A 1	剥　片	撹乱	—	2.4	0.8	0.3	0.6	ホルンフェルス	27,52	
100	A 2	レキ片	②	38.914	3.3	1.7	0.7	2.5	砂　　岩		
101	A 2	チップ	②	38.731	1.1	0.8	0.2	0.2	チャート		
102	A 2	剥　片	②	38.731	4.9	1.5	0.8	7.5	流 紋 岩		
103	A 2	剥　片	②	38.585	1.9	1.6	0.2	0.5	チャート		
104	A 2	剥　片	②	38.586	1.4	1.4	0.4	1	流 紋 岩		
105	A 2	剥　片	②	38.633	4.4	3.4	1.3	15	流 紋 岩		
106	A 2	剥　片	②	38.714	2.5	1.5	0.2	0.7	チャート		
107	A 2	剥　片	②	38.738	2	1.9	0.4	1.2	チャート		
108	A 2	剥　片	②	38.749	2.2	2.8	0.6	3.6	流 紋 岩		
109	A 2	剥　片	②	38.735	2.2	0.9	0.2	0.4	頁　　岩		
110	A 2	剥　片	②	38.674	1.8	0.9	0.3	0.3	流 紋 岩		

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表２（旧石器）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
111	A 2	剥　片	②	38.485	1.1	1.6	0.3	0.4	頁　岩		
112	A 2	剥　片	②	38.591	2.1	1.6	0.4	0.8	頁　岩		
113	A 2	剥　片	②	38.58	1.8	1.2	0.3	0.4	頁　岩		
114	A 2	剥　片	②	38.557	2.2	1.1	0.5	1.2	流 紋 岩		
115	A 2	剥　片	②	38.801	2.3	2.8	0.3	0.8	流 紋 岩		
116	A 2	剥　片	②	38.849	2.6	1.7	0.6	2	流 紋 岩		
117	A 2	チップ	②	38.753	0.4	0.7	0.1	0.1以下	チャート		
118	A 2	剥　片	②	38.701	1.9	2.6	0.4	2.1	流 紋 岩		
119	A 2	剥　片	②	38.706	2.5	2.3	0.7	1.4	チャート		
120	A 2	剥　片	③	38.731	1.5	0.9	0.3	0.3	流 紋 岩		
121	A 2	剥　片	③	38.684	1.1	1.1	0.3	0.3	頁　岩		
122	A 2	チップ	③	38.643	1.2	0.6	0.2	0.1	流 紋 岩		
123	A 2	チップ	⑤	38.565	0.8	0.7	0.4	0.3	流 紋 岩		
124	A 2	剥　片	⑤	38.593	3.3	2.4	0.5	2.5	頁　岩		
125	A 2	剥　片	⑤	38.63	1.4	1.1	0.4	0.6	流 紋 岩		
126	A 2	ナイフ形石器	⑤	38.627	2.6	1.1	0.6	1.2	頁　岩		実
127	A 2	剥　片	⑤	38.599	4.2	2.2	0.4	1.9	頁　岩		
128	A 2	剥　片	③	38.693	1.8	0.8	0.3	0.1	流 紋 岩		
129	A 2	チップ	⑤	38.53	1.6	0.4	0.2	0.1	流 紋 岩		
130	A 2	剥　片	⑤	38.595	2	1.8	0.3	0.9	頁　岩		
131	A 2	チップ	③	38.485	0.8	1.2	0.2	0.2	頁　岩		
132	A 2	ナイフ形石器	⑤	38.446	3	1	0.4	1	流 紋 岩		実
133	A 2	剥　片	③	38.453	3	2.6	0.5	3.4	流 紋 岩		
134	A 2	剥　片	③	38.466	2.6	2.9	0.5	2.5	流 紋 岩		
135	A 2	剥　片	⑤	38.47	1.8	1.3	0.3	0.6	流 紋 岩		
136	A 2	剥　片	⑤	38.324	2.1	0.9	0.9	0.8	流 紋 岩		
137	A 2	剥　片	⑤	38.355	2.3	2.2	0.4	1.1	流 紋 岩		
138	A 2	剥　片	③	38.459	1.9	1.2	0.3	0.6	流 紋 岩		
139	A 2	チップ	⑤	38.433	1.3	1.1	1.2	0.3	頁　岩		
140	A 2	剥　片	⑤	38.309	1.9	2.7	0.3	1.5	頁　岩		
141	A 2	チップ	⑤	38.303	0.8	0.9	0.1	0.1	チャート		
142	A 2	剥　片	③	38.44	1.4	2.2	0.3	0.8	チャート		
143	A 2	剥　片	⑤	38.54	1.7	2.8	0.3	1.1	チャート		
144	A 2	剥　片	⑤	38.575	5	3.1	3.2	7.5	流 紋 岩		
145	A 2	剥　片	⑤	38.632	2.6	3.2	0.6	2.9	流 紋 岩		
146	A 2	剥　片	⑤	38.602	5.4	2.3	1.3	15	流 紋 岩		
147	A 2	剥　片	⑤	38.655	5.9	3.4	1.2	17.5	流 紋 岩		
148	A 2	チップ	③	38.679	0.9	1.4	0.1	0.1	流 紋 岩		
149	A 2	チップ	⑤	38.564	0.6	1.4	0.2	0.1	流 紋 岩		
150	A 2	剥　片	⑤	38.652	1.3	0.9	0.2	0.2	流 紋 岩		
151	A 2	剥　片	⑤	38.548	1.4	1.2	0.4	0.4	ホルンフェルス		
152	A 2	剥　片	⑤	38.546	1.8	1.3	0.2	0.5	流 紋 岩		
153	A 2	剥　片	⑤	38.47	1.9	1.4	0.3	0.9	頁　岩		
154	A 2	剥　片	⑤	38.519	1.6	1.4	0.2	0.5	頁　岩		
155	A 2	剥　片	⑤	38.356	1.7	1.9	0.4	0.8	流 紋 岩		
156	A 2	剥　片	⑤	38.397	1.6	1.6	0.3	0.9	流 紋 岩		
157	A 2	剥　片	⑤	38.508	3.5	2.1	0.5	2.3	頁　岩		
158	A 2	剥　片	⑤	38.538	1.8	1.7	0.2	0.5	流 紋 岩		
159	A 2	剥　片	⑤	38.567	3	2.5	0.5	5	ホルンフェルス		
160	A 2	チップ	⑤	38.484	1	0.5	0.2	0.1	流 紋 岩		
161	A 2	剥　片	⑤	38.388	1.3	1.4	0.4	1.1	流 紋 岩		
162	A 2	剥　片	③	38.478	3.1	3.2	0.5	3.7	流 紋 岩		
163	A 2	剥　片	⑤	38.396	1.9	0.7	0.3	0.3	頁　岩		
164	A 2	剥　片	⑤	38.372	1.1	1.5	0.2	0.2	流 紋 岩		
165	A 2	剥　片	⑤	38.506	1.9	1.4	1	2.7	流 紋 岩		

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表３（旧石器）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
166	A 2	チップ	③	38.53	1.6	0.5	0.2	0.1	流 紋 岩		
167	A 2	チップ	③	38.523	0.9	0.7	0.2	0.1	流 紋 岩		
168	A 2	剥　片	⑤	38.485	0.9	1.2	0.5	0.6	流 紋 岩		
169	A 2	剥　片	③	38.504	1	1.7	0.4	0.4	流 紋 岩		
170	A 2	剥　片	⑤	38.517	1.6	1.6	0.3	0.5	頁　岩		
171	A 2	剥　片	③	38.49	1.6	1.2	0.1	0.2	流 紋 岩		
172	A 2	剥　片	⑤	38.398	2.8	1.4	0.6	2.2	流 紋 岩		
173	A 2	チップ	⑤	38.398	0.9	0.5	0.1	0.1以下	流 紋 岩		
174	A 2	チップ	③	38.406	0.4	0.4	0.2	0.1以下	流 紋 岩		
175	A 2	剥　片	③	38.402	3.5	1.9	0.5	2.3	頁　岩		
176	A 2	剥　片	⑤	38.367	1.6	1.9	0.3	0.7	流 紋 岩		
177	A 2	剥　片	⑤	38.332	1.9	1.6	0.2	0.6	流 紋 岩		
178	A 2	剥　片	③	38.413	1.5	3.5	0.5	2.1	流 紋 岩		
179	A 2	チップ	③	38.438	1.2	0.9	0.2	0.2	流 紋 岩		
180	A 2	チップ	③	38.438	0.6	1.1	0.2	0.1	流 紋 岩		
181	A 2	剥　片	③	38.448	1.5	2	0.4	0.7	流 紋 岩		
182	A 2	剥　片	⑤	38.377	2.1	1.8	0.4	1.1	流 紋 岩		
183	A 2	剥　片	③	38.511	1.1	1.9	0.2	0.4	流 紋 岩		
184	A 2	チップ	⑤	38.389	0.8	1	0.2	0.1以下	流 紋 岩		
185	A 2	レ　キ	⑤	38.396	0.8	0.8	0.1	0.1以下	—		
186	A 2	チップ	⑤	38.445	0.9	0.6	0.2	0.1以下	流 紋 岩		
187	A 2	剥　片	③	38.472	3.8	2.4	0.7	5	頁　岩		
188	A 2	チップ	⑤	38.469	1	0.7	0.2	0.1	流 紋 岩		
189	A 2	レ　キ	⑤	38.422	1.5	0.5	0.2	0.2	—		
190	A 2	剥　片	⑤	38.375	1.4	1.3	0.3	0.4	チャート		
191	A 2	剥　片	⑤	38.58	1.4	1.4	0.5	0.5	流 紋 岩		
192	A 2	剥　片	⑤	38.492	1.2	0.9	0.3	0.2	チャート		
193	A 2	剥　片	⑤	38.458	1.2	1.7	0.5	0.9	チャート		
194	A 2	ナイフ形石器	⑤	38.388	2.9	0.9	0.4	1.1	流 紋 岩		実
195	A 2	剥　片	③	38.429	1.9	2.2	0.5	1.4	流 紋 岩		
196	A 2	チップ	③	38.778	1	1.2	0.2	0.1	流 紋 岩		
197	A 2	剥　片	⑤	38.762	1.7	2	0.3	0.8	流 紋 岩		
198	A 2	剥　片	③	38.773	1.3	2.4	0.7	2.7	流 紋 岩		
199	A 2	チップ	③	38.611	0.9	0.5	0.2	0.1以下	頁　岩		
200	A 2	剥　片	③	38.636	3.7	2.8	0.6	5	頁　岩		
201	A 2	剥　片	③	38.683	1.8	2.2	0.4	1.7	頁　岩		
202	A 2	チップ	⑤	38.647	1.1	0.6	0.1	0.1以下	流 紋 岩		
203	A 2	剥　片	⑤	38.544	1.3	2.6	0.4	1.1	流 紋 岩		
204	A 2	剥　片	⑤	38.456	2.9	3.5	0.6	5	流 紋 岩		
205	A 2	使用痕剥片	⑤	38.351	4.5	4.7	1.1	20	流 紋 岩		実
206	A 2	チップ	⑤	38.582	1	0.8	0.2	0.1以下	流 紋 岩		
207	A 2	剥　片	⑤	38.682	2.6	1.4	0.3	0.7	流 紋 岩		
208	A 2	チップ	③	38.612	1.2	0.6	0.2	0.1	流 紋 岩		
209	A 2	剥　片	⑤	38.453	1.7	1.3	1.3	0.7	流 紋 岩		
210	A 2	剥　片	⑤	38.549	2.3	1.8	0.4	1	流 紋 岩		
211	A 2	剥　片	⑤	38.376	1.5	1.1	0.4	0.5	チャート		
212	A 2	剥　片	⑤	38.363	2.2	2.1	0.6	2	流 紋 岩		
213	A 2	剥　片	⑤	38.431	1.3	1.9	0.3	0.7	流 紋 岩		
214	A 2	チップ	⑤	38.409	0.8	1.1	0.3	0.2	頁　岩		
215	A 2	剥　片	⑤	38.376	2.5	2.4	0.7	5	チャート		
216	A 2	剥　片	⑤	38.254	1.7	1	0.5	0.7	流 紋 岩		
217	A 2	剥　片	⑤	38.178	0.8	2.6	0.1	0.4	流 紋 岩		
218	A 2	剥　片	⑤	38.59	1.8	1.1	0.4	0.6	頁　岩		
219	A 2	チップ	⑤	38.405	0.8	0.9	0.2	0.2	流 紋 岩		
220	A 2	剥　片	⑤	38.516	2.1	1.9	0.5	1.1	流 紋 岩		

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表４（旧石器）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
221	A 2	剥　片	⑤	38.529	3	1.6	0.4	2.2	頁　岩		
222	A 2	剥　片	⑤	38.519	5.1	2.3	0.6	5	流 紋 岩		
223	A 2	剥　片	⑤	38.549	1.5	1.3	0.3	0.7	頁　岩		
224	A 2	剥　片	⑤	38.54	1.7	0.5	0.7	1.6	流 紋 岩		
225	A 2	剥　片	③	38.54	4.1	2.5	1	10	流 紋 岩	97,230	
226	A·2	剥　片	③	38.331	1.9	1	0.4	0.5	頁　岩		
227	A 2	チップ	⑤	38.311	0.7	0.4	0.1	0.1以下	—		
228	A 2	剥　片	⑤	38.272	1	2.2	0.3	0.6	流 紋 岩		
229	A 2	剥　片	⑤	38.513	1.3	1.2	0.3	0.3	チャート		
230	A 2	剥　片	⑤	38.513	3.2	2.1	0.9	7.5	流 紋 岩	97,225	
231	A 2	剥　片	⑤	38.304	2.1	1.4	0.3	0.8	流 紋 岩		
232	A 2	チップ	⑤	38.35	1.2	1.5	0.3	0.5	流 紋 岩		
233	A 2	チップ	⑤	38.25	1.8	1.1	0.4	0.4	チャート		
234	A 2	細石刃	撹乱	—	1.6	1.2	0.3	0.8	流 紋 岩	267	実
235	A 3	レキ片	②	38.11	2.1	3	0.6	4	砂　岩		
236	A 3	剥　片	②	38.3	2.4	5.7	1.1	10	チャート		
237	A 3	剥　片	②	38.375	3.7	5.7	1.1	20	流 紋 岩		
238	A 3	レ　キ	⑤	38.079	12.8	9.5	3.5	1000	花 崗 岩		
239	B 1	剥　片	②	39.096	4.4	3.1	0.4	5	ホルンフェルス		
240	B 1	剥　片	②	38.94	1.4	2.9	0.9	4.2	チャート		
241	B 1	剥　片	②	38.987	1.2	0.7	0.3	0.2	チャート		
242	B 1	剥　片	②	38.98	4.1	3.5	1.1	12.5	流 紋 岩		
243	B 1	剥　片	②	38.997	3.6	1.9	1.1	10	チャート		
244	B 1	レキ片	②	39.024	4	2	1	7.5	—		
245	B 1	剥　片	②	38.98	4.4	2.3	0.7	3.9	流 紋 岩		
246	B 1	剥　片	②	38.998	2.4	3.4	0.6	5	チャート		
247	B 1	剥　片	②	38.99	1.3	1.3	0.3	0.5	流 紋 岩		
248	B 1	敲　石	②	39.064	12.9	8	3.3	500	砂　岩		
249	B 1	レキ片	⑤	38.905	3.7	2.6	1.4	10	—		
250	B 1	石　核	⑤	38.942	6.9	6	3.2	120	流 紋 岩		実
251	B 1	レキ片	②	38.985	2.4	3.6	1.9	15	—		
252	B 1	剥　片	②	39.009	2.2	1.5	0.6	2.3	チャート		
253	B 1	チップ	②	39.001	1.7	1.2	0.2	0.4	チャート		
254	B 1	剥　片	②	39.099	6	4.7	2.3	70	頁　岩	259,260,269,432	実
255	B 1	剥　片	②	38.978	6	6.7	1.9	51.25	流 紋 岩		
256	B 1	二次加工剥片	②	38.975	4.6	4.4	1	22.5	流 紋 岩		実
257	B 1	剥　片	②	38.96	1.9	2.4	1.2	8.2	チャート		
258	B 1	剥　片	②	39.069	10.1	5.1	2.7	100	ホルンフェルス		
259	B 1	剥　片	②	39.125	7.9	6.9	2.8	152.5	頁　岩	254,260,269,432	実
260	B 1	剥　片	②	39.125	8.3	6.6	2.9	150	頁　岩	254,259,269,432	実
261	B 1	剥　片	②	39.111	6.8	4.3	2.8	77.5	頁　岩	5,262	実
262	B 1	剥　片	②	39.112	6.5	5.1	1.8	55	頁　岩	5,261	実
263	B 1	チップ	②	38.911	0.7	0.5	0.2	0.1以下	チャート		
264	B 1	チップ	②	38.911	1.4	1.4	0.3	0.4	チャート		
265	B 1	剥　片	②	38.949	1.9	2.4	0.6	3.4	頁　岩		
266	B 1	レキ片	②	38.924	3.8	1	1.1	5	砂　岩		
267	B 1	細石刃	②	38.915	2	1.1	0.2	0.8	流 紋 岩	234	実
268	B 1	剥　片	②	38.936	1.5	2.6	0.3	1.5	流 紋 岩		
269	B 1	剥　片	②	38.984	6.3	3.6	1.8	40	頁　岩	254,259,260,432	実
270	B 1	剥　片	②	38.913	2.2	2.4	0.5	2.5	流 紋 岩		
271	B 1	剥　片	②	38.913	2.2	1.5	0.4	1.3	チャート		
272	B 1	剥　片	②	38.958	3.3	2.1	0.7	5	ホルンフェルス		
273	B 1	剥　片	②	38.754	3.5	3.3	1	11	チャート		
274	B 1	剥　片	②	38.831	3.2	2.3	0.6	2.2	流 紋 岩		
275	B 1	剥　片	②	38.846	1.9	1.7	0.2	0.9	流 紋 岩		

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表５（旧石器）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
276	B 1	剥　片	②	38.846	1.2	1.3	0.2	0.5	流 紋 岩		
277	B 1	剥　片	②	38.846	1.2	1.2	0.3	0.5	流 紋 岩		
278	B 1	剥　片	②	38.846	0.9	2.5	0.3	0.4	流 紋 岩		
279	B 1	剥　片	②	38.884	2.1	2	0.2	0.6	流 紋 岩		
280	B 1	剥　片	②	38.884	1.5	1.3	0.2	0.4	流 紋 岩		
281	B 1	剥　片	②	38.884	2	1.6	0.7	1.8	流 紋 岩		
282	B 1	剥　片	②	38.884	1.4	1.8	0.5	0.9	流 紋 岩		
283	B 1	剥　片	②	38.884	1.8	1.4	0.3	0.5	流 紋 岩		
284	B 1	剥　片	②	38.884	1.4	1.3	0.3	0.5	頁　　岩		
285	B 1	剥　片	②	38.883	2.2	2	1.4	1.1	流 紋 岩		
286	B 1	剥　片	②	38.936	1.8	2.4	0.7	2.9	流 紋 岩		
287	B 1	剥　片	②	38.936	1.3	2.7	0.3	0.9	流 紋 岩		
288	B 1	剥　片	②	38.765	5.3	3.1	0.7	5	流 紋 岩		
289	B 1	剥　片	②	38.765	1.7	1.7	0.3	0.7	流 紋 岩		
290	B 1	剥　片	②	38.765	1.7	1.2	0.3	0.4	チャート		
291	B 1	剥　片	②	38.799	2.9	2.5	0.4	2.5	流 紋 岩		
292	B 1	剥　片	②	38.799	1.3	2.4	0.2	0.9	流 紋 岩		
293	B 1	剥　片	②	38.796	2.2	1.3	0.4	1	頁　　岩		
294	B 1	剥　片	②	38.796	1.1	1.2	0.3	0.3	チャート		
295	B 1	チップ	②	38.895	0.9	0.5	0.3	0.1	流 紋 岩		
296	B 1	剥　片	②	38.749	2.1	1.7	0.5	1.8	流 紋 岩		
297	B 1	剥　片	②	38.749	2.1	2	0.4	1.2	流 紋 岩		
298	B 1	剥　片	②	38.749	1.9	2.2	0.5	2	流 紋 岩		
299	B 1	剥　片	②	38.905	5	3.2	1.6	25	流 紋 岩		
300	B 1	剥　片	②	38.759	2	2.3	0.2	1.3	流 紋 岩		
301	B 1	剥　片	②	38.77	2.7	1.9	0.4	0.6	流 紋 岩		
302	B 1	剥　片	②	38.774	2.9	2	0.5	2.1	流 紋 岩		
303	B 1	剥　片	②	38.8	2	2.8	0.3	2.6	流 紋 岩		
304	B 1	剥　片	②	38.772	2.7	1.8	0.4	1.6	流 紋 岩		
305	B 1	剥　片	②	38.765	1.9	3.6	1	7.5	流 紋 岩		
306	B 1	剥　片	③	38.92	5	3.6	0.8	10	流 紋 岩		
307	B 1	レキ片	⑤	38.819	10.2	6.8	5.8	382.5	砂　　岩		
308	B 1	剥　片	⑤	38.76	3.5	1.6	0.7	5	ホルンフェルス	7,16,18,21,30,72	実
309	B 1	剥　片	⑤	38.754	3.7	4.3	0.8	7.5	流 紋 岩		
310	B 1	剥　片	③	38.864	1.7	4.1	0.5	3.3	頁　　岩		
311	B 1	剥　片	③	38.755	3.1	2.7	0.4	2.2	頁　　岩		
312	B 1	チップ	⑤	38.607	1.3	0.5	0.3	0.1	頁　　岩		
313	B 1	剥　片	⑤	38.567	1.7	1.8	0.3	1	チャート		
314	B 1	剥　片	⑤	38.615	1.9	4.2	1	6.8	流 紋 岩		
315	B 2	剥　片	②	38.624	1.9	2.6	1.9	3	流 紋 岩		
316	B 2	チップ	②	38.624	1.1	0.6	0.3	0.1	チャート		
317	B 2	レキ片	②	38.664	6.4	5.7	1.7	87.5	—		
318	B 2	レキ片	②	38.689	6.9	5	4.5	142.5	砂　　岩		
319	B 2	剥　片	②	38.684	1.3	1.2	0.2	0.2	流 紋 岩		
320	B 2	レキ片	②	38.637	20.5	20.4	7.2	3.5	花 崗 岩		
321	B 2	レキ片	②	38.637	19.2	14.1	3.3	1000	花 崗 岩		
322	B 2	レキ片	②	38.637	8.7	5.7	2	70	花 崗 岩		
323	B 2	レキ片	②	38.637	8.9	5.6	1.7	82.5	花 崗 岩		
324	B 2	レキ片	②	38.637	6.8	3.7	1.3	22.5	花 崗 岩		
325	B 2	レキ片	②	38.751	4.9	4.7	1.9	32.5	—	343	
326	B 2	レキ片	②	38.739	7.6	4.3	2.2	72.5	砂　　岩	354	
327	B 2	レキ片	②	38.745	6.7	6.6	0.6	35	—		
328	B 2	剥　片	②	38.76	5.3	3.8	1	17.5	チャート		
329	B 2	レキ片	②	38.784	2.6	5.6	1.7	52.5	砂　　岩		
330	B 2	レ　キ	②	38.808	4.8	5.7	3.7	132.5	砂　　岩		

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表６（旧石器）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
331	B 2	レ　キ	②	38.79	8.1	3.5	2.9	80	砂　岩		
332	B 2	レ　キ	②	38.749	4.8	4.2	3.7	77.5	—		
333	B 2	剥　片	②	38.798	8.8	2.6	1.7	50	流 紋 岩	383,402	実
334	B 2	レ　キ	②	38.772	6.4	3.1	1.4	35	砂　岩		
335	B 2	レキ片	②	38.757	3.3	2.7	0.5	4.2	砂　岩		
336	B 2	レキ片	②	38.789	6.5	1.9	2.6	50	砂　岩		
337	B 2	レ　キ	②	38.774	7.9	6.7	2.3	102.5	砂　岩		
338	B 2	レキ片	②	38.775	5.8	2.4	1.9	27.5	珪 質 岩		
339	B 2	レキ片	②	38.759	2.9	6.1	2.9	47.5	砂　岩		
340	B 2	レ　キ	②	38.757	5	4.9	1.9	42.5	砂　岩		
341	B 2	剥　片	②	38.726	3.2	1.3	0.4	1	流 紋 岩		
342	B 2	剥　片	②	38.679	1.4	1.7	0.5	1	流 紋 岩		
343	B 2	レキ片	②	38.764	6.7	5.5	1.5	50	—	325	
344	B 2	レ　キ	②	38.814	6.9	5	2.3	95	砂　岩		
345	B 2	レ　キ	②	38.799	9.8	5.3	3.2	180	礫　岩		
346	B 2	レ　キ	②	38.737	7	3.5	2	55	砂　岩		
347	B 2	剥片尖頭器	②	38.792	4.4	3.25	1.2	12.5	流 紋 岩		実
348	B 2	レキ片	②	38.717	5.4	1.3	0.8	5	—	358,359	
349	B 2	レキ片	②	38.737	4.3	4.7	2.3	40	砂　岩		
350	B 2	レキ片	②	38.75	5.4	4.5	4.6	105	—		
351	B 2	レ　キ	②	38.751	7.2	4.4	1.9	132.5	砂　岩	353,355	
352	B 2	剥　片	②	38.752	6.3	5.7	2.4	80	ホルンフェルス		
353	B 2	レ　キ	②	38.724	8.4	3.5	3.3	90	砂　岩	351,355	
354	B 2	レ　キ	②	38.734	6.1	3.8	2.1	50	砂　岩	326	
355	B 2	レ　キ	②	38.717	5.5	3.8	3.1	97.5	砂　岩	351,353	
356	B 2	剥　片	②	38.691	0.8	1.9	0.2	0.3	チャート		
357	B 2	レキ片	②	38.757	3.7	3.6	1.7	30	砂　岩		
358	B 2	レ　キ	②	38.757	6.5	4.4	1.3	42.5	—	348,359	
359	B 2	レ　キ	②	38.739	6.2	3.2	2	47.5	—	348,358	
360	B 2	チップ	②	38.657	0.8	1.3	0.2	0.2	流 紋 岩		
361	B 2	レキ片	②	38.732	7.2	3.7	2.5	65	砂　岩		
362	B 2	レキ片	②	38.732	4.7	2.5	1.3	10	砂　岩		
363	B 2	レキ片	②	38.706	4.6	3.4	2.3	20	—		
364	B 2	レキ片	②	38.722	4	4.5	1.1	15	砂　岩		
365	B 2	レ　キ	②	38.725	4.4	6.9	2.3	90	砂　岩		
366	B 2	レ　キ	②	38.446	12.3	7.9	4	500	礫　岩		
367	B 2	レ　キ	②	38.495	13.5	15.9	10.4	2500	砂　岩		
368	B 2	レ　キ	②	38.49	9.4	13.7	6.7	2000	砂　岩		
369	B 2	台　石	②	38.498	20.7	15.5	7.3	3000	花 崗 岩		
370	B 2	レ　キ	②	38.425	11.3	8.2	6.7	1000	—		
371	B 2	敲　石	②	38.433	13.2	6.2	3.9	430	砂　岩		
372	B 2	剥　片	②	38.417	3	2.2	0.9	5	流 紋 岩	376,409	実
373	B 2	レ　キ	②	38.464	17.8	12.6	5.4	2000	砂　岩		
374	B 2	チップ	②	38.455	0.9	0.6	0.2	0.1	チャート		
375	B 2	剥　片	②	38.459	3.3	3	0.6	5.2	流 紋 岩		
376	B 2	剥　片	②	38.497	4.1	6.6	2.1	62	流 紋 岩	372,409	実
377	B 2	剥　片	②	38.406	4.7	3.7	1.7	32.5	流 紋 岩		
378	B 2	レ　キ	②	38.478	7.3	6.5	4.1	275	砂　岩		
379	B 2	敲　石	②	38.518	9	6.3	4.7	385	砂　岩		
380	B 2	敲　石	②	38.55	8.8	5.4	3.5	287.5	砂　岩		実
381	B 2	剥　片	②	38.665	5.1	3.1	1.5	27.5	頁　岩		
382	B 2	剥　片	②	38.616	3.2	2.5	1.3	7.5	流 紋 岩		
383	B 2	剥　片	②	38.59	5.65	1.9	8.5	7.5	流 紋 岩	402,333	実
384	B 2	剥　片	②	38.345	8.2	6.9	2.5	147.5	流 紋 岩		
385	B 2	剥　片	②	38.405	5.5	3.5	0.6	10	流 紋 岩	405	

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表７（旧石器）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	接　合	備考
386	B 2	レキ片	②	38.791	2.2	2.2	1	5	チャート		
387	B 2	チップ	②	38.798	1.3	1.3	0.2	0.2	チャート		
388	B 2	剥　片	②	38.71	2.1	1.4	0.2	0.4	チャート		
389	B 2	剥　片	②	38.71	0.5	1.1	0.4	0.2	流 紋 岩		
390	B 2	剥　片	⑤	38.564	1.6	1.2	0.3	5	頁　　岩		
391	B 2	レキ片	⑤	38.568	3	4	1.6	22.5	砂　　岩		
392	B 2	剥　片	③	38.631	2.8	4.5	0.7	6100	流 紋 岩		
393	B 2	剥　片	⑤	38.456	4.7	2.9	0.8	7500	流 紋 岩		
394	B 2	剥　片	③	38.379	3	4.2	1.3	10	流 紋 岩		
395	B 2	石　核	⑤	38.448	9.3	11.3	7.5	500	流 紋 岩		実
396	B 2	レキ片	⑤	38.215	12.8	9.2	6	1000	礫　　岩		
397	B 2	レキ片	⑤	38.631	2.3	5.4	1	7.5	砂　　岩		
398	B 2	剥　片	⑤	38.601	2.7	2.7	0.6	3.6	流 紋 岩		
399	B 2	剥　片	⑤	38.592	3.8	4.3	0.9	9	流 紋 岩		
400	B 2	剥　片	⑤	38.373	4	2.4	0.8	6.8	流 紋 岩		
401	B 2	レ　キ	⑤	38.594	13.1	10.6	4.2	1000	砂　　岩		
402	B 2	剥　片	①	38.855	5.56	1.78	1	7.5	流 紋 岩	333,383	実
403	B 3	剥　片	②	38.478	3.2	2	1	3.3	チャート		
404	B 3	剥　片	②	38.312	3.3	1.8	0.4	2.2	流 紋 岩		
405	B 3	剥　片	②	38.332	4.6	4.5	1.5	30	流 紋 岩	385	
406	B 3	剥　片	②	38.372	3.3	2.2	0.5	2.5	流 紋 岩	418,421	実
407	B 3	レ　キ	②	38.415	3	2.5	1.5	12.5	水　　晶		
408	B 3	剥　片	②	38.274	2.8	1.6	0.5	2.3	流 紋 岩		
409	B 3	剥　片	②	38.24	6.5	7.3	3.1	142	流 紋 岩	372,376	実
410	B 3	剥　片	③	38.439	2.7	1.3	0.7	1.3	流 紋 岩		
411	B 3	剥　片	③	38.439	1.6	1.2	0.8	1.5	流 紋 岩		
412	B 3	剥　片	⑤	38.187	2.6	2.3	1.1	6.5	流 紋 岩		
413	B 3	剥　片	⑤	38.236	2.5	3.7	0.7	4.7	流 紋 岩		
414	B 3	剥　片	③	38.23	4.2	2.7	1.1	10	ホルンフェルス		
415	B 3	剥　片	⑤	38.159	1.1	2	0.6	1.1	流 紋 岩		
416	B 3	剥　片	⑤	38.246	1.5	0.9	0.4	0.5	流 紋 岩		
417	B 3	剥　片	⑤	38.246	1.6	0.7	0.5	0.6	流 紋 岩		
418	B 3	剥　片	⑤	38.282	5.5	2.4	1	10	流 紋 岩	406,421	実
419	B 3	剥　片	③	38.365	5.5	5	1	22.5	流 紋 岩		
420	B 3	チップ	③	38.395	1.3	0.9	0.2	0.2	頁　　岩		
421	B 3	剥　片	⑤	38.387	5.7	3.1	0.7	15	流 紋 岩	406,418	実
422	B 3	剥　片	③	38.226	3	2.5	1.4	10	ホルンフェルス		
423	B 3	剥　片	③	38.456	2.3	0.4	0.6	1.6	流 紋 岩		
424	B 3	剥　片	⑤	38.072	5.5	5.6	1.9	40	流 紋 岩		
425	B 3	剥　片	⑤	38.09	7.2	9.1	3	182.5	流 紋 岩		
426	B 3	レキ片	⑤	37.882	9.2	5.1	2.9	107.5	—		
427	C 1	剥　片	②	38.848	3	2.1	0.3	1.7	チャート		
428	C 1	チップ	②	38.829	1.1	1.2	0.2	0.3	チャート		
429	C 1	剥　片	②	38.799	5.5	5.2	1.3	27.5	ホルンフェルス		
430	C 1	剥　片	②	38.654	4	4.3	0.8	15	流 紋 岩		
431	C 2	レキ片	②	38.816	4.1	1.4	1.4	20	—		
432	C 2	剥　片	②	38.685	6.3	4.6	1.8	37.5	頁　　岩	254,259,260,269	実
433	C 2	磨　石	②	38.66	7.2	6.9	3.6	212.5	砂　　岩		
434	C 2	レキ片	②	38.525	2.9	1.2	1.3	6.3	—		

第４表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表８（旧石器）

第３節　縄文時代の遺構と遺物

(1) 調査区概要

各地区、巨木・雑木の根や開墾による激しい攪乱を受けていた。そのため縄文時代の遺構の確認はされていない。

(2) 出土遺物

Ａ地区で石器20点・土器片7点、Ｂ地区で石器54点・土器片36点、Ｃ地区で石器8点・土器片21点の、石器合計82点・土器片64点を取り上げている。

縄文土器は攪乱の影響か細片化されており、そのほとんどが無紋の土器であった。

縄文土器 (Fig.46)

11　Ｂ1グリッドより出土している。無紋の土器片で、「く」の字に外反する。外面に指押さえの痕跡が認められる。

35　Ｂ2グリッドより出土している。口縁下に三角形の突帯を貼り付ける。

37　Ｂ2グリッドより出土している。土器の底部であるが、風化が著しく上部と下部の継ぎ目が 欠落している。

石鏃 (Fig.47)

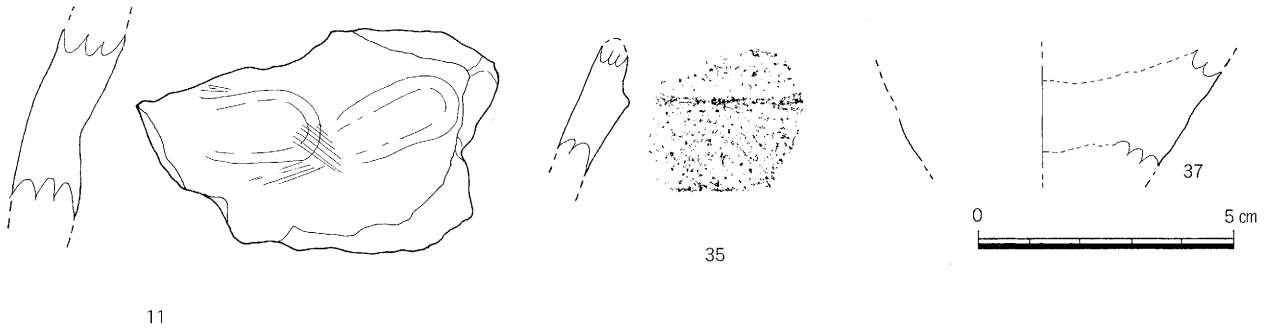
21　6次調査で出土し、Ｂ1グリッドにあたる。チャート製で、全体形が二等辺三角形を呈し基部に抉りをもつ。脚部が尖るタイプである。

34　6次調査で出土し、Ｂ1グリッドにあたる。チャート製で、全体形が二等辺三角形を呈し基 部に抉りをもつ。脚部が平らなタイプである。

36　Ｂ2グリッドより出土している。チャート製で、全体が二等辺三角形を呈し基部が平基式の ものである。下縁がわずかに外湾する。

スクレイパー (Fig.47)

33　Ｂ1グリッドより出土。石材はチャートを使用し、刃部加工が両縁から下縁に及ぶ。



Ｆｉｇ．46　吉野遺跡（第７次）出土遺物実測図４（2/3）

礫器 (Fig.47)

58　6次調査で出土し、B2グリッドにあたる。石材はホルンフェルスを使用している。棒状のレキを素材とし、一端に両面より加工が施され刃部を形成している。

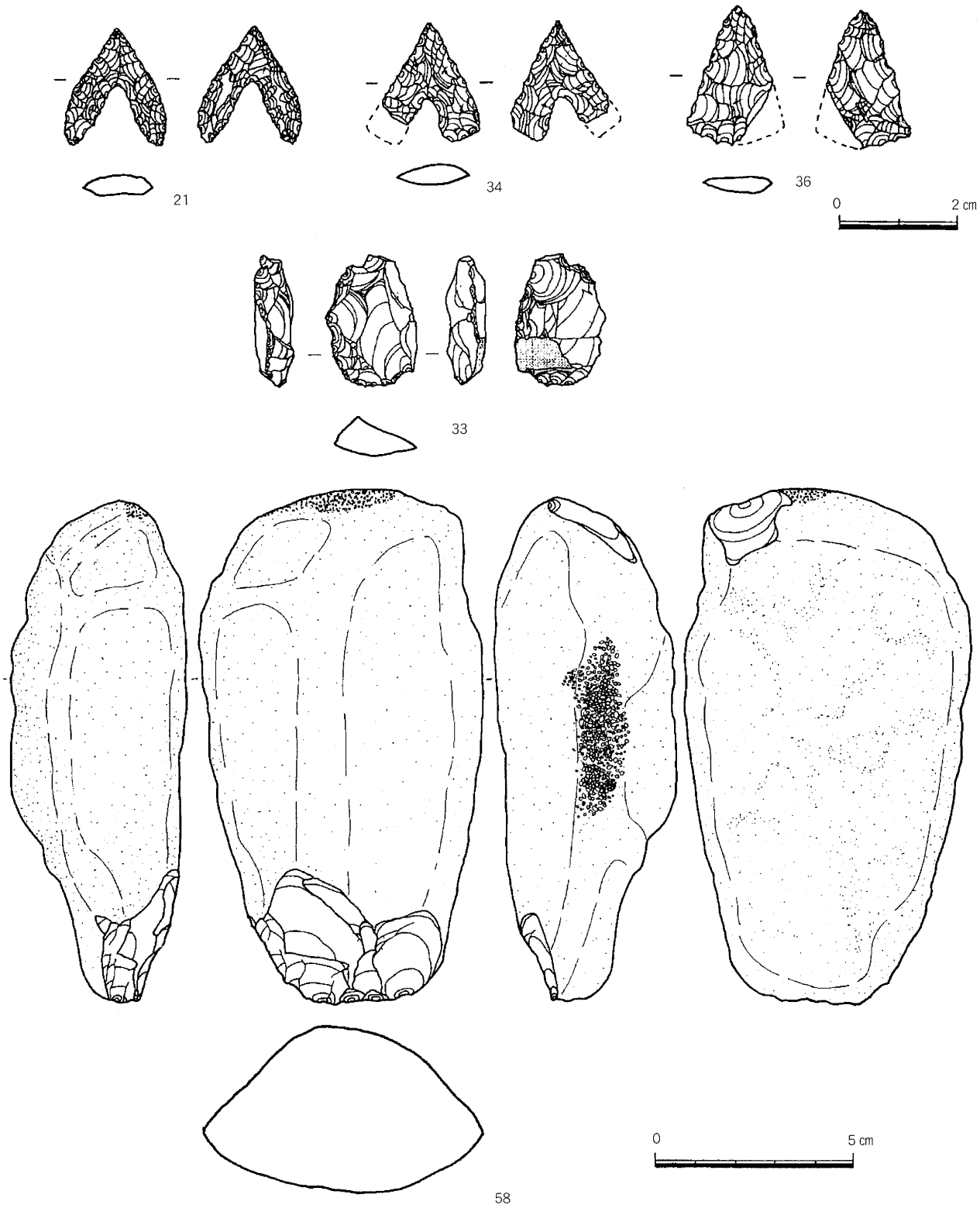
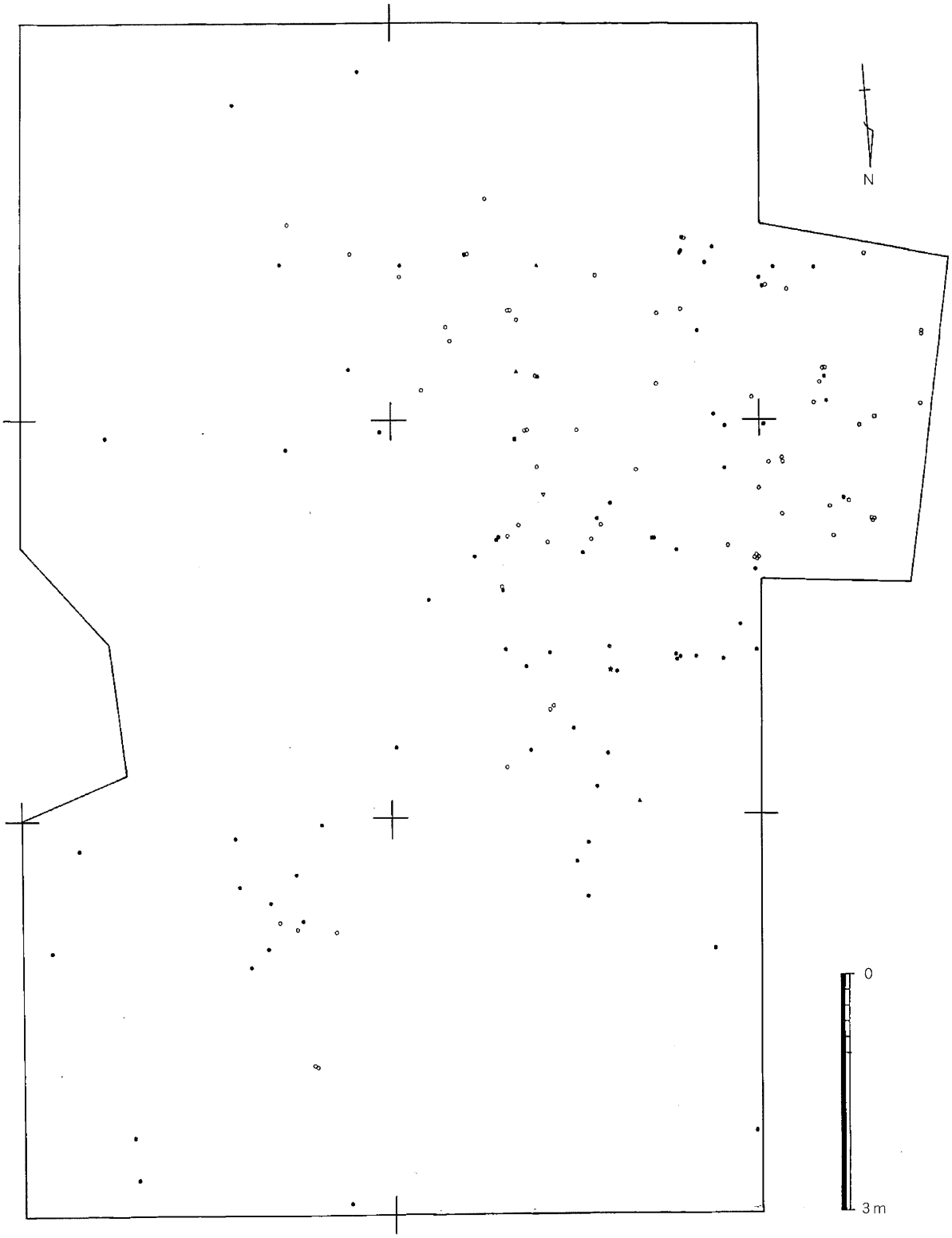


Fig.47　吉野遺跡（第7次）出土遺物実測図5（21～36 - 1/1、58 - 2/3）



○縄文土器　▲石　鏃　▽礫　器　★石　核
■台　石　□磨　石　●剥片・チップ・レキ

Fig.48　吉野遺跡（第７次）出土遺物分布図（縄文）（1/80）

地区	No.	色調		文様	胎土	調整		特記	備考
		内面	外面			内面	外面		
A1	1	茶褐	茶褐	—	角閃石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
A1	2	茶褐	茶褐	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	不明		
A3	3	淡茶褐	淡黄灰	—	角閃石・石英・砂粒を含む	不明	ナデ		
A3	4	暗茶褐	茶褐	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
A3	5	黄灰	黄灰	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
A3	6	暗茶褐	暗茶褐	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
A3	7	茶褐	茶褐	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	8	淡黄茶	淡黄茶	—	石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	9	暗茶褐	暗茶褐	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	10	淡黄茶	淡黄茶	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ヨコナデ		
B1	11	浅黄	淡黄茶	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ、一部指押さえ		実
B1	12	淡茶褐	淡茶褐	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	13	浅黄	浅黄	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	14	暗茶褐	茶褐	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	15	にぶい淡黄	にぶい淡黄	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	16	黄灰	浅黄	—	石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	17	黄灰	浅黄	—	長石・砂粒を含む	ナデ、一部指押さえ	ナデ		
B1	18	にぶい淡黄	淡黄茶	—	長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	19	茶褐	茶褐	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	20	灰黄	淡黄茶	—	長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	21	暗茶褐	淡茶	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	22	浅黄	浅黄	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B1	23	暗茶褐	茶褐	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ、一部指押さえ		
B2	24	淡黄茶	黄灰	—	角閃石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	25	褐	浅黄	—	長石・石英・砂粒を含む	不明	不明		
B2	26	茶褐	淡茶褐	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	不明		
B2	27	淡茶褐	淡灰	—	角閃石・砂粒を含む	ナデ、一部指押さえ	ナデ		
B2	28	淡茶褐	茶褐	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ヨコナデ		
B2	29	淡黄茶	暗茶褐	—	長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	30	褐	にぶい淡黄	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	不明		
B2	31	黄灰	黄灰	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ、一部指押さえ	ナデ、一部指押さえ		
B2	32	浅黄	淡黄茶	—	角閃石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	33	黄灰	黄灰	—	砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	34	暗黄灰	淡黄茶	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	35	浅黄	浅黄	外面に突帯	長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		実
B2	36	淡灰	淡灰	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	37	黄白	黄白	—	長石・砂粒を含む	—	ナデ	底部	実
B2	38	黄灰	淡黄茶	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	39	淡黄茶	淡黄茶	—	石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	40	褐	にぶい淡黄	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	不明		
B2	41	浅黄	にぶい淡黄	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ、一部指押さえ		
B2	42	褐	暗茶褐	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
B2	43	黄白	黄白	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ヨコナデ		
C1	44	黄茶	暗茶褐	—	角閃石・石英・砂粒を含む	不明	ナデ		
C1	45	淡茶褐	淡茶褐	—	角閃石・長石・砂粒	ナデ	ナデ		
C1	46	淡黄茶	暗茶褐	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C1	47	淡黄茶	暗茶褐	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C1	48	浅黄	浅黄	—	角閃石・石英・砂粒を含む	不明	ナデ		
C1	49	茶褐	茶褐	—	長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C1	50	淡黄茶	淡黄茶	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C1	51	暗黄灰	浅黄	—	石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C1	52	淡茶褐	淡茶褐	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C1	53	黄灰	淡茶褐	—	長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C2	54	淡茶褐	淡茶褐	—	石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C2	55	暗黄灰	淡黄茶		角閃石・石英・砂粒を含む				
C2	56	淡茶褐	淡茶褐	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C2	57	淡黄茶	淡黄茶	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ヨコナデ	ナデ		
C2	58	淡黄茶	にぶい淡黄	—	角閃石・石英・砂粒を含む				
C2	59	灰黄	浅黄	—	石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C2	60	浅黄	浅黄	—	角閃石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C2	61	茶褐	暗茶褐	—	角閃石・長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ、一部指押さえ		
C2	62	暗茶褐	茶褐	—	長石・石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ、一部指押さえ		
C2	63	淡茶褐	淡茶褐	—	角閃石・長石・砂粒を含む	ナデ	ナデ		
C2	64	淡茶褐	淡茶褐	—	石英・砂粒を含む	ナデ	ナデ		

第5表 吉野遺跡(第7次)出土遺物観察表1(縄文)

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	備考
1	A 1	剥　片	①	39.019	2.4	2.5	1.2	5	チャート	
2	A 1	剥　片	①	39.01	4.1	1.8	0.5	5	流 紋 岩	
3	A 1	レキ片	①	38.985	14.3	10	6.9	1000	チャート	
4	A 1	レキ片	①	38.994	7.1	3.1	0.8	30	砂　岩	
5	A 2	チップ	①	39.019	0.9	0.6	0.1	0.1以下	チャート	
6	A 2	剥　片	①	38.931	1.9	1.8	0.6	1.7	流 紋 岩	
7	A 2	レキ片	①	38.925	2.9	2.8	1.7	9.4	チャート	
8	A 3	チップ	①	38.454	1.7	0.8	0.2	0.3	流 紋 岩	
9	A 3	チップ	①	38.537	1.9	1.7	0.2	0.8	チャート	
10	A 3	チップ	①	38.603	1.1	0.8	0.2	0.1	チャート	
11	A 3	剥　片	①	38.52	1.8	1.6	0.2	0.6	チャート	
12	A 3	剥　片	①	38.497	1.9	1.7	0.2	0.6	流 紋 岩	
13	A 3	剥　片	①	38.5	1.9	1.6	0.3	0.5	流 紋 岩	
14	A 3	剥　片	①	38.47	2.3	0.4	0.5	1.2	流 紋 岩	
15	A 3	剥　片	①	38.403	5.7	3	2	30	頁　岩	
16	A 3	レキ片	①	38.612	3.1	2.2	1.1	5	頁　岩	
17	A 3	レキ片	①	38.613	4.8	2.8	1.4	12.5	頁　岩	
18	A 3	レキ片	①	38.555	3.7	3.4	0.5	5	砂　岩	
19	A 3	レキ片	①	38.536	2.1	1.5	1	2.5	—	
20	A 3	レキ片	①	38.568	3	3.4	2.3	22.5	チャート	
21	B 1	石　鏃	①	39.01	2.1	1.8	0.3	0.7	チャート	実
22	B 1	チップ	①	39.039	1.5	1.4	0.2	0.5	チャート	
23	B 1	チップ	①	38.915	1.4	1.4	0.3	0.5	頁　岩	
24	B 1	剥　片	①	39.056	0.7	3	0.9	5	チャート	
25	B 1	剥　片	①	39.012	2.1	1.2	0.3	0.6	チャート	
26	B 1	剥　片	①	38.833	2.2	1.3	1.4	0.8	チャート	
27	B 1	剥　片	①	38.899	1.3	0.7	0.2	0.2	流 紋 岩	
28	B 1	剥　片	①	38.924	2.8	1.8	0.5	1.9	流 紋 岩	
29	B 1	剥　片	①	38.912	2.3	1.9	0.4	2.5	流 紋 岩	
30	B 1	レキ片	①	39.032	2.7	2.3	1.1	7.5	—	
31	B 1	レキ片	①	38.909	2.1	1.7	0.4	1.2	砂　岩	
32	B 1	レキ片	①	38.912	2.3	1.6	1.1	3.9	水　晶	
33	B 1	スクレイパー	②	38.993	3.4	2.3	0.9	7.5	チャート	実
34	B 1	石　鏃	撹乱	—	2	1.75	0.35	0.7	チャート	実
35	B 2	石　核	①	38.739	6.5	8.1	4.3	20	頁　岩	
36	B 2	石　鏃	①	38.463	2.3	1.2	0.3	0.9	チャート	実
37	B 2	台　石	①	38.974	18.7	12.5	5.7	1500	砂　岩	
38	B 2	チップ	①	38.684	0.9	0.7	0.2	0.1	チャート	
39	B 2	チップ	①	38.6	0.9	0.6	0.2	0.1	チャート	
40	B 2	チップ	①	38.55	1.9	0.9	0.2	0.4	チャート	
41	B 2	剥　片	①	38.693	1.7	2.5	0.7	4	流 紋 岩	
42	B 2	剥　片	①	38.715	4.5	1.6	0.8	2.5	頁　岩	
43	B 2	剥　片	①	38.833	2.4	1.3	0.3	0.8	チャート	
44	B 2	剥　片	①	38.802	2.8	1.7	0.5	2.3	流 紋 岩	
45	B 2	剥　片	①	38.713	5.5	4.7	1.4	32.5	頁　岩	
46	B 2	剥　片	①	38.713	4.4	3.25	1.2	20	頁　岩	
47	B 2	剥　片	①	38.679	1.2	1.4	0.3	0.8	頁　岩	
48	B 2	剥　片	①	38.926	2.7	3	0.5	2.4	チャート	
49	B 2	剥　片	①	38.814	4.6	2.8	0.8	7.5	流 紋 岩	
50	B 2	剥　片	①	38.849	6.9	5.4	1.2	45	ホルンフェルス	
51	B 2	剥　片	①	38.804	3	1.7	0.4	1.6	チャート	
52	B 2	剥　片	①	38.7	2.4	1.4	0.1	0.5	チャート	
53	B 2	剥　片	①	38.7	2.5	4.6	1.6	12.5	流 紋 岩	
54	B 2	剥　片	①	38.767	3.7	2.1	0.5	2.8	頁　岩	
55	B 2	剥　片	①	38.883	3.9	3.3	1.1	5	流 紋 岩	
56	B 2	レ　キ	①	38.726	6.8	6.1	2.3	117.5	砂　岩	

第５表 吉野遺跡（第７次）出土遺物観察表２（縄文）

No.	地区	器　種	層位	標高(m)	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重さ(g)	石　材	備考
57	B 2	レ　キ	①	38.886	10.1	5.3	3.4	230	砂　岩	
58	B 2	礫　器	①	38.92	13.3	7.2	4.4	500	ホルンフェルス	実
59	B 2	レキ片	①	38.683	10.3	5.4	2.4	130	砂　岩	
60	B 2	レキ片	①	38.674	9.5	8.5	2.4	295	礫　岩	
61	B 2	レキ片	①	38.708	8.8	5.9	2.3	150	砂　岩	
62	B 2	レキ片	①	38.707	7.6	5.3	3.8	185	砂　岩	
63	B 2	レキ片	①	38.661	7.3	5.2	4.1	122.5	礫　岩	
64	B 2	レキ片	①	38.742	2.2	1.7	0.3	1	砂　岩	
65	B 2	レキ片	①	38.854	1.9	1.1	0.6	1.5		
66	B 2	レキ片	①	38.799	7	2.6	1.1	17.5	—	
67	B 2	レキ片	①	38.448	3.6	7.6	5.1	115	砂　岩	
68	B 2	レキ片	①	38.811	3.9	4.5	0.7	7.5	—	
69	B 2	レキ片	①	38.811	2.9	3.4	0.7	5	—	
70	B 3	チップ	①	38.576	1.1	0.7	0.1	0.1	チャート	
71	B 3	剥　片	①	38.391	6.7	4.3	1.4	45	流 紋 岩	
72	B 3	剥　片	①	38.481	2.8	3.7	0.7	7.5	流 紋 岩	
73	B 3	剥　片	①	38.596	2.8	0.8	0.7	3	頁　岩	
74	B 3	剥　片	①	38.599	0.9	1.5	0.4	0.3	チャート	
75	C 1	磨　石	①	38.755	6.4	5.3	2.9	150	砂　岩	
76	C 1	チップ	①	38.946	1.2	1.2	0.1	0.1	チャート	
77	C 1	剥　片	①	38.98	1.8	1.7	0.3	1	流 紋 岩	
78	C 1	剥　片	①	38.921	1.3	1.9	0.5	1.2	チャート	
79	C 1	剥　片	①	38.96	3.3	2.6	0.5	4	チャート	
80	C 1	剥　片	①	38.77	1.4	1.1	0.2	0.3	流 紋 岩	
81	C 2	レキ片	①	38.88	2.1	1.7	1.6	8.8	砂　岩	
82	C 2	レキ片	①	38.855	3.9	6.1	2.5	55	砂　岩	

第 5 表 吉野遺跡（第 7 次）出土遺物観察表 3（縄文）

第5章　結　語

1　旧石器時代

吉野遺跡は五ヶ瀬川流域に位置しており、河川左岸の低丘陵上に立地している。延岡市内にある五ヶ瀬川流域の代表的な遺跡としては、赤木遺跡、地蔵ヶ森遺跡、片田遺跡、林遺跡、黒土田遺跡などが挙げられる。吉野遺跡はそれら遺跡の中間地点に位置する。

吉野遺跡での石器の組成を見てみると石器の総数は434点で、そのうち砕片が約96％を占める。加工・使用製品はナイフ形石器4点、剥片尖頭器1点、二次加工剥片1点、石核2点、細石刃1点、使用痕剥片1点、敲石4点、磨石1点、台石1点の計16点を数え、総数の約3.7％と非常に少ない。石材は流紋岩が主体で全体の48.3％、次いで頁岩の14.9％、チャートの14.5％と多く、これは眼下に流れる五ヶ瀬川の豊富な石材によるものと考えられる。その他にはホルンフェルス、砂岩等が使用されている。また、

遺物の分布状況を見ると、A2グリッドが最も多く、次いでA1、B2、B1である。B2地区は出土した石器87点のうち、レキ(片)が51点と半数を占めており、これらは何らかの準備レキではないかと考えられる。また、AT下位からのナイフ形石器、石核の出土状況や、A3地区での第2層上位を基底とする集石遺構1基の検出状況から、当遺跡における複数期の存在が裏付けられた。

接合状況ではA地区B地区の1区2区での接合が顕著に見られる。また接合資料には、ナイフ形石器を含む資料が得られており、その製作技法を知るうえで貴重な資料が得られている。

東に隣接する吉野遺跡(第4次)でも、同様に集石遺構や石器が検出されており、今後さらに詳細な検討を進めていき、吉野遺跡の分布状況を把握する必要があろう。

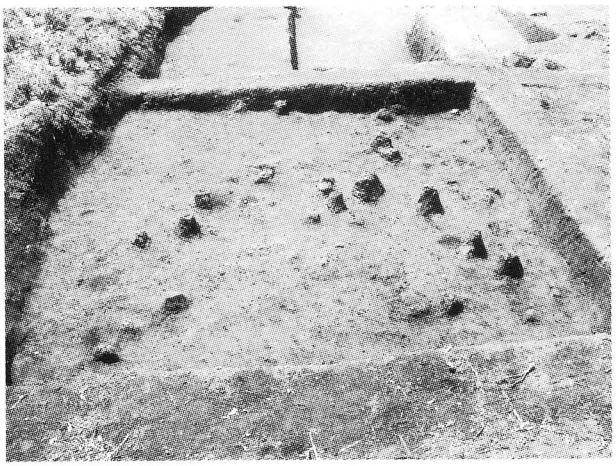
2　縄文時代

縄文時代については、木の根や開墾による攪乱が激しく遺構の検出はなかった。また出土する土器も細片化しており風化も著しかった。土器は64点出土しているが、すべてが無紋の土器であった。東に隣接する吉野遺跡(第4次)では、押形文土器が多数出土しており、時期は同じくするものの土器製作の相違が見られる。また石器は81点出土しているが、主要な石器としては石鏃3点、石核1点、礫器1点と非常に乏しい状況であった。全体的な遺物の出土地点を見ると、丘陵西端の斜面地にあたることから、流れ込みではないかと考えられた。

【参考文献】

『赤木遺跡』延岡市文化財調査報告書Ⅲ延岡市教育委員会1987
『今井野遺跡』延岡市文化財調査報告第4集延岡市教育委員会1990
『片田遺跡』延岡市文化財調査報告書第5集延岡市教育委員会1990
『打扇・早日渡・矢野原・蔵田遺跡』
一般国道218号線椎畑バイパス建設に伴う埋蔵文化財調査報告書宮崎県教育委員会1995

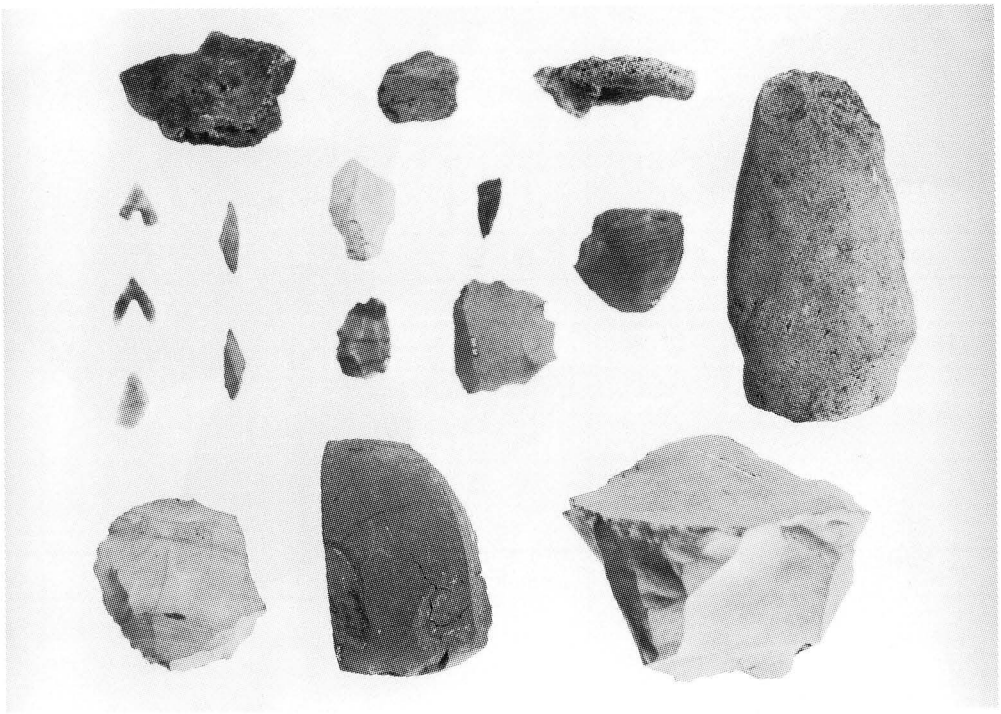
ＰＬ．23　吉野遺跡（第７次）調査風景



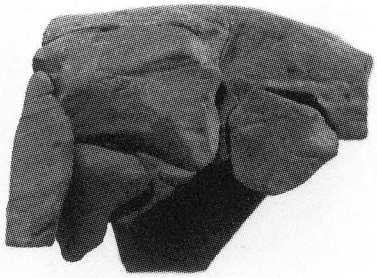
ＰＬ．24　吉野遺跡（第７次）Ａ１グリット遺物出土状況

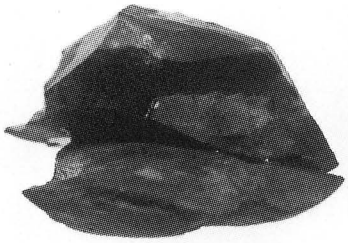
ＰＬ．25　吉野遺跡（第７次）Ｂ２グリット遺物出土状況

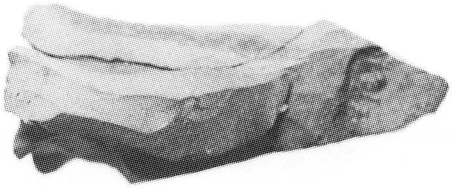
ＰＬ．26　吉野遺跡（第７次）遺物出土状況

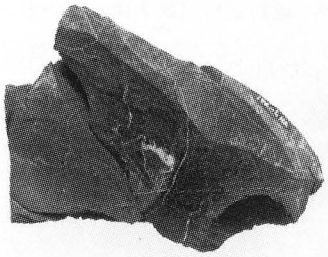


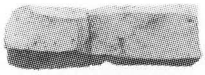
ＰＬ．27　吉野遺跡（第７次）出土遺物











PL.28　吉野遺跡（第７次）接合資料

報 告 書 抄 録

ふりがな	よしの　よしの　のべおかこふんぐん　たたらだいいち　しんぐう　よしの
書　名	吉野遺跡(第6次) 吉野遺跡(第4次) 延岡古墳群第16号墳 多々羅第1遺跡 新宮遺跡 吉野遺跡(第7次)
副書名	平成12年度市内遺跡発掘調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻　次	
シリーズ名	延岡市文化財調査報告書
シリーズ番号	第24集
著者名	山田 聡、尾方農一、高浦 哲
編集機関	延岡市教育委員会
所在地	宮崎県延岡市東本小路2-1
発行年月日	2001年3月31日

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
吉野遺跡(よしの) (第6次)	延岡市吉野町(のべおかし よしのまち) 字吉野(あざよしの)	452033	4053	32° 33′ 54″	131° 37′ 29″	2000/0208 ～ 2000/0307	386.0㎡	宅地造成
種　別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
散布地	旧石器		住居跡		剥片・縄文土器・弥生土器		本発掘調査	

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
吉野遺跡(よしの) (第4次)	延岡市吉野町(のべおかし よしのまち) 字吉野(あざよしの)	452033	4053	32° 33′ 54″	131° 37′ 30″	2000/0113 ～ 2000/0428	124.5㎡	宅地造成
種　別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
散布地	旧石器		集石遺構		剥片・石鏃・縄文土器			

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
延岡古墳群(のべおかこふんぐん) 第16号墳	延岡市大門町(のべおかしおおかどまち) 字五領(あざごりょう)	452033	2509	32° 36′ 59″	131° 41′ 08″	2000/0406 ～ 2000/0612	147.3㎡	社改築工事
種　別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
古　墳	古墳		無		弥生土器・古代・中世土器		県指定史跡	

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
多々羅(たたら) 第1遺跡	延岡市舞野町(のべおかし まいのまち) 字多々羅(あざたたら)	452033	4032	32° 34′ 10″	131° 35′ 41″	2000/0523 ～ 2000/0524	45.0㎡	携帯電話 無線基地局 建設
種　別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
散布地	旧石器		無		無			

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
新宮遺跡(しんぐう)	延岡市高千穂通(のべおかしたかちほどおり) 字新宮(あざしんぐう)	452033		32° 35′ 09″	131° 40′ 09″	2000/1016 ～ 2000/1017	9.6㎡	園路整備 駐車場整備
種　別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
寺　院	近世		無		無			

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
吉野遺跡(よしの) (第7次)	延岡市吉野町(のべおかし よしのまち) 字吉野(あざよしの)	452033	4053	32° 33′ 54″	131° 37′ 29″	2000/0208 ～ 2000/0307	150.0㎡	宅地造成
種　別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
散布地	旧石器		集石遺構		ナイフ形石器・剥片尖頭器 スクレイパー・剥片・石鏃			

平成12年度　市内遺跡発掘調査に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

延岡市文化財調査報告書第24集
2001年 3月31日

■発行：延岡市教育委員会
宮崎県延岡市東本小路2-1

■印刷：株式会社　ながと
宮崎県延岡市出北4-2479